

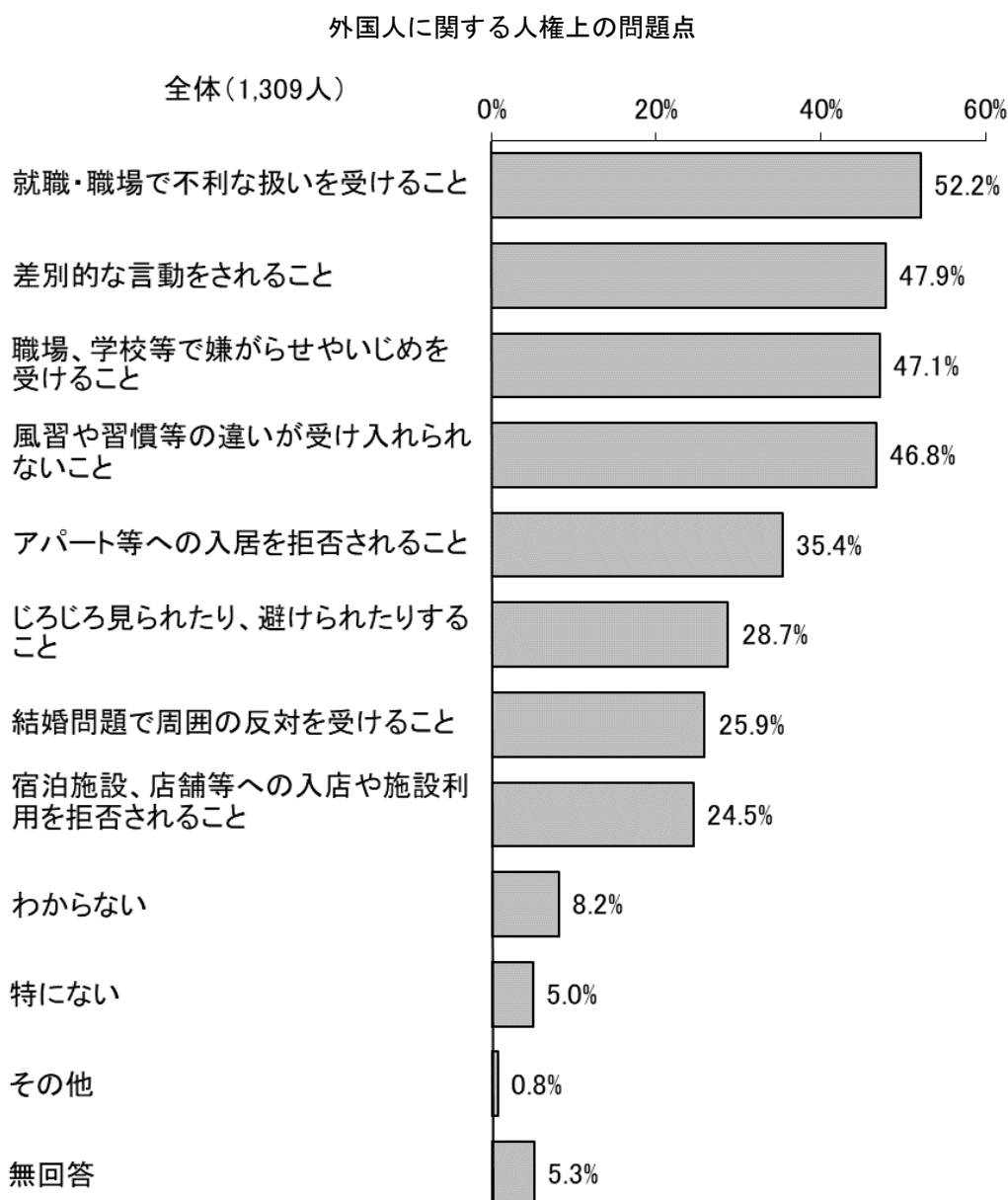
(7) 外国人の人権について

【問 17】外国人に関する人権上の問題点

外国人に関する事柄で、あなたが人権上問題があると思われるのはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

「就職・職場で不利な扱いを受けること」(52.2%)が最も高く、「差別的な言動をされること」(47.9%)、「職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること」(47.1%)が続きます。

「その他」としては、「小学校等で母国語しか分からない子どもへの対応が届かず教育に支障が出ること」「外国人に対する差別を逆手にとって、過剰な権利を主張する活動家が存在すること」などの回答がありました。



外国人に関する人権上の問題点【属性別】

属性		回答内容											
		職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること	結婚問題で周囲の反対を受けること	就職・職場で不利な扱いを受けること	差別的な言動をされること	拒否されること	アパート等への入居を拒否されること	宿泊施設、店舗等への入居を拒否されること	風習や習慣等の違いが受け入れられないこと	避けられられたりすること	その他	特にない	わからない
全体(1,309人)		47.1%	25.9%	52.2%	47.9%	35.4%	24.5%	46.8%	28.7%	0.8%	5.0%	8.2%	5.3%
性別	男性(589人)	43.6%	25.5%	51.6%	44.3%	32.3%	22.2%	45.3%	27.0%	0.7%	6.5%	7.1%	5.4%
	女性(695人)	50.4%	26.3%	53.1%	51.5%	38.3%	26.6%	48.1%	29.8%	1.0%	3.7%	8.9%	4.9%
	その他(4人)	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%	50.0%	50.0%	100.0%	100.0%	—	—	—	—
	無回答(21人)	33.3%	14.3%	33.3%	23.8%	23.8%	14.3%	33.3%	28.6%	—	9.5%	14.3%	14.3%
年代別	29歳以下(127人)	61.4%	34.6%	57.5%	69.3%	32.3%	29.1%	52.0%	35.4%	—	3.9%	6.3%	1.6%
	30歳代(123人)	57.7%	37.4%	59.3%	57.7%	40.7%	34.1%	51.2%	42.3%	1.6%	4.9%	4.9%	0.8%
	40歳代(217人)	52.1%	31.3%	54.8%	51.6%	37.3%	24.4%	49.3%	25.8%	0.9%	4.1%	8.3%	1.8%
	50歳代(213人)	53.1%	22.1%	54.9%	46.5%	34.3%	23.5%	45.5%	25.8%	0.9%	4.7%	6.6%	3.3%
	60歳代(247人)	41.3%	20.6%	51.4%	47.0%	35.6%	20.2%	47.8%	29.6%	1.2%	4.5%	8.9%	4.5%
	70歳以上(364人)	36.5%	21.7%	45.9%	37.1%	34.1%	23.4%	42.3%	24.5%	0.5%	6.3%	9.9%	11.5%
	無回答(18人)	38.9%	22.2%	38.9%	33.3%	33.3%	22.2%	38.9%	33.3%	—	11.1%	16.7%	11.1%
職業別	会社員・公務員など(405人)	49.1%	28.6%	54.8%	51.1%	35.3%	23.7%	51.1%	30.4%	1.0%	5.7%	5.4%	1.5%
	契約・派遣社員など(224人)	51.3%	23.7%	56.3%	45.1%	38.8%	25.4%	44.6%	28.6%	1.3%	4.0%	11.6%	2.7%
	自営業等(78人)	39.7%	19.2%	41.0%	39.7%	28.2%	17.9%	35.9%	25.6%	1.3%	6.4%	12.8%	10.3%
	家事に従事(222人)	49.5%	26.1%	51.4%	51.8%	40.1%	27.9%	46.8%	31.5%	0.5%	4.5%	5.4%	5.9%
	学生(42人)	66.7%	42.9%	71.4%	78.6%	40.5%	38.1%	61.9%	40.5%	—	—	2.4%	2.4%
	その他の職業(23人)	60.9%	17.4%	78.3%	65.2%	34.8%	39.1%	65.2%	30.4%	—	—	—	13.0%
	仕事はしていない(294人)	38.4%	24.5%	45.9%	40.8%	31.3%	21.4%	42.2%	23.5%	0.3%	5.8%	11.2%	9.9%
	無回答(21人)	33.3%	14.3%	28.6%	23.8%	23.8%	19.0%	38.1%	28.6%	4.8%	9.5%	14.3%	14.3%
問3(キ:外国人)「差別や人権侵害の存在の有無」の回答内容別	多く存在する(327人)	61.2%	33.9%	63.6%	63.0%	46.5%	30.0%	56.6%	40.7%	1.5%	1.8%	1.5%	5.2%
	ある程度存在する(826人)	44.7%	24.8%	52.1%	46.5%	33.3%	23.7%	46.2%	25.7%	0.6%	4.1%	9.6%	3.6%
	存在しない(108人)	33.3%	15.7%	32.4%	27.8%	24.1%	19.4%	31.5%	23.1%	0.9%	18.5%	10.2%	10.2%
	無回答(48人)	25.0%	12.5%	20.8%	14.6%	20.8%	12.5%	22.9%	12.5%	—	12.5%	25.0%	22.9%

性別

「特にない」を除く全ての回答内容で女性が男性を上回っており、特に「差別的な言動をされること」では女性（51.5%）が男性（44.3%）を7ポイント上回っています。

年代別

6つの回答内容で30歳代が他の年代に比べて最も高くなっています。

職業別

「その他」「特にない」を除く全ての回答内容で《学生》が他の職業に比べて最も高くなっており、特に「差別的な言動をされること」では他の職業に比べて26ポイント以上高くなっています。

問3（キ：外国人）「差別や人権侵害の存在の有無」の回答内容別

「差別的な言動をされること」では人権侵害が《多く存在する》（63.0%）が《存在しない》（27.8%）を35ポイント上回っています。

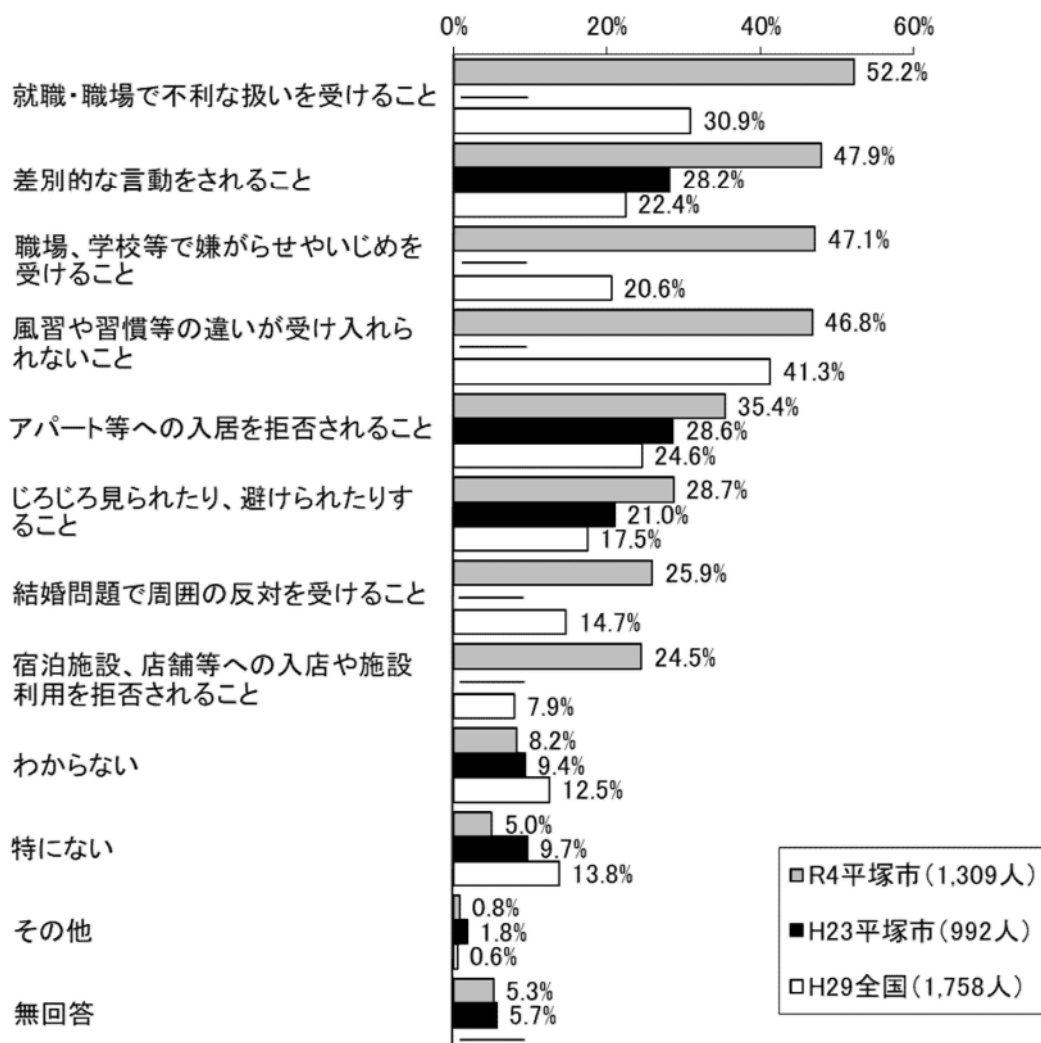


❖ 前回調査・全国調査との比較 ❖

外国人に関する人権上の問題点について、前回調査と比較すると、3つの回答内容で前回から上がっており、特に「差別的な言動をされること」では前回から19ポイント上がっています。

全国調査と比較すると、「特にない」を除く全ての回答内容で平塚市が全国を上回っており、特に「職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること」では平塚市が全国を26ポイント上回っています。

外国人に関する人権上の問題点【比較】

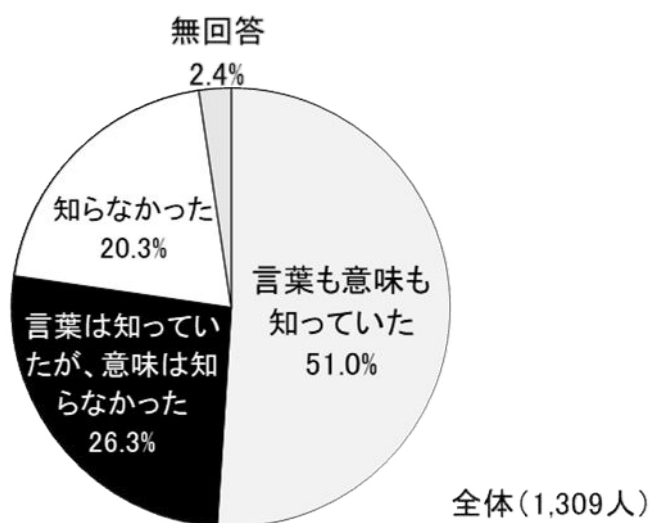


【問 18】ヘイトスピーチについての認知度

あなたは、ヘイトスピーチを知っていますか。(○は1つ)

ヘイトスピーチの「言葉も意味も知っていた」という人が 51.0%、「言葉は知っていたが、意味は知らなかった」という人が 26.3%、「知らなかった」という人が 20.3%となっています。

ヘイトスピーチについての認知度



ヘイトスピーチについての認知度【属性別】

属性		回答内容	言葉も意味も知っていた	言葉は知っていたが、意味は知らなかった	知らなかった	無回答
全体(1,309人)			51.0%	26.3%	20.3%	2.4%
性別	男性(589人)		61.0%	22.9%	13.8%	2.4%
	女性(695人)		42.7%	29.5%	25.9%	1.9%
	その他(4人)		50.0%	25.0%	25.0%	—
	無回答(21人)		47.6%	14.3%	19.0%	19.0%
年代別	29歳以下(127人)		39.4%	29.1%	30.7%	0.8%
	30歳代(123人)		43.1%	33.3%	22.0%	1.6%
	40歳代(217人)		54.8%	27.6%	17.1%	0.5%
	50歳代(213人)		56.3%	26.8%	15.5%	1.4%
	60歳代(247人)		53.0%	25.1%	20.2%	1.6%
	70歳以上(364人)		50.8%	23.4%	20.9%	4.9%
	無回答(18人)		55.6%	11.1%	22.2%	11.1%
職業別	会社員・公務員など(405人)		60.0%	23.2%	16.5%	0.2%
	契約・派遣社員など(224人)		41.1%	31.3%	26.8%	0.9%
	自営業等(78人)		42.3%	26.9%	24.4%	6.4%
	家事に従事(222人)		45.5%	30.2%	22.1%	2.3%
	学生(42人)		45.2%	33.3%	21.4%	—
	その他の職業(23人)		52.2%	30.4%	13.0%	4.3%
	仕事はしていない(294人)		53.1%	23.8%	18.4%	4.8%
	無回答(21人)		57.1%	4.8%	23.8%	14.3%

性別

「言葉も意味も知っていた」では男性（61.0%）が女性（42.7%）を18ポイント上回っています。

年代別

「言葉も意味も知っていた」では30歳代以上で4割を超えており、50歳代（56.3%）が他の年代に比べて最も高くなっています。

一方、「知らなかった」では29歳以下（30.7%）が他の年代に比べて最も高くなっています。

職業別

「言葉も意味も知っていた」では《会社員・公務員・団体職員》（60.0%）が他の職業に比べて6ポイント以上高くなっています。

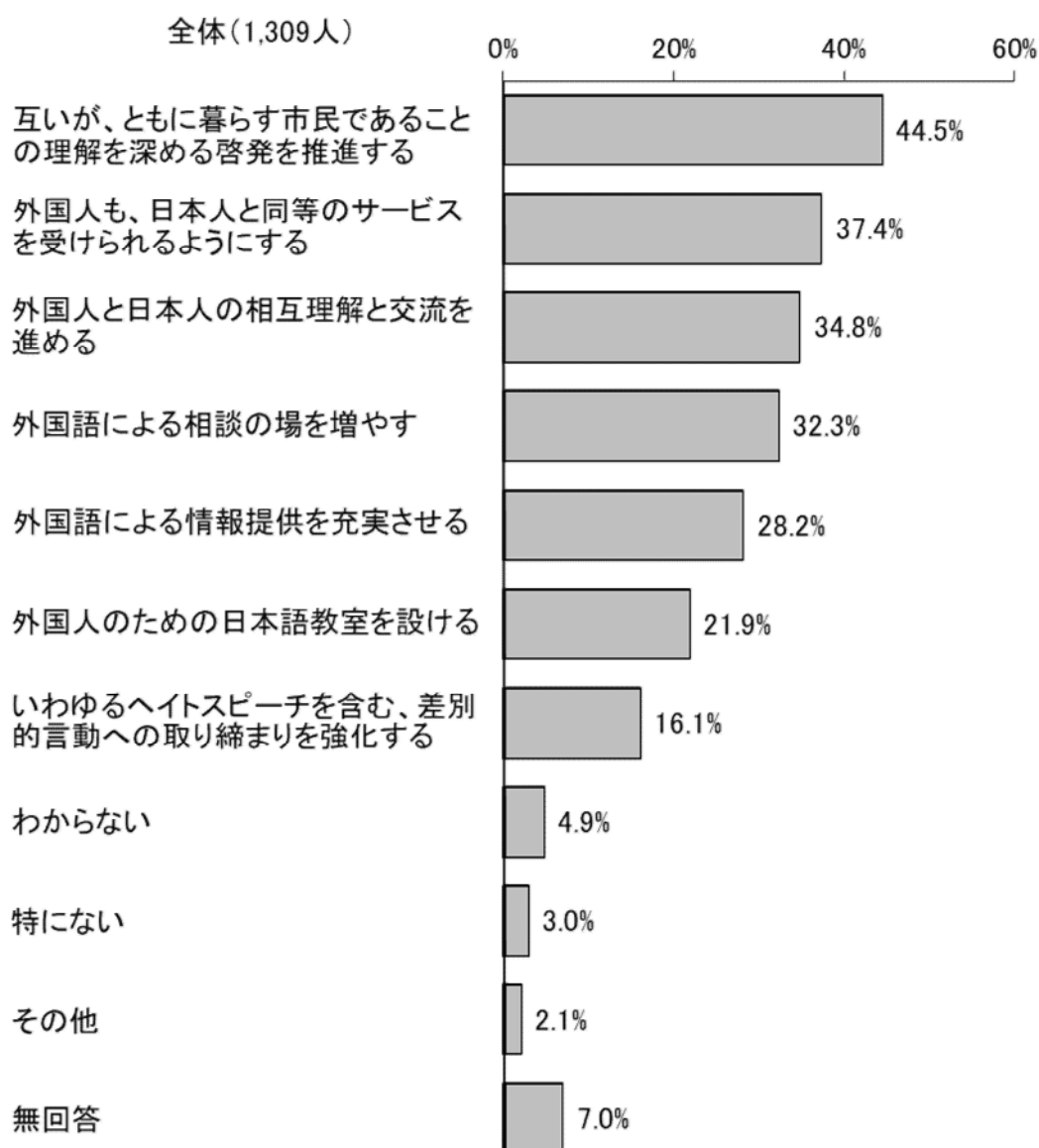
【問 19】外国人の人権を守るために必要なこと

外国人の人権を守るために、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

「互いが、ともに暮らす市民であることへの理解を深める啓発を推進する」(44.5%)が最も高く、「外国人も、日本人と同等のサービス(医療、福祉、教育等)を受けられるようにする」(37.4%)、「外国人と日本人の相互理解と交流を進める」(34.8%)が続きます。

「その他」としては、「日本人への外国語教育を充実させる」「多様性を重視し、雇用などに影響が出ないようにする」などの回答がありました。

外国人の人権を守るために必要なこと



外国人の人権を守るために必要なこと【属性別】

属性		回答内容	啓発を推進する 互いが、ともに暮らす市民であることの理解を深める	外国語による情報提供を充実させる	外国語による相談の場を増やす	外国人のための日本語教室を設ける	外国人も、日本人と同等のサービスを受けられるようにする	外国人と日本人の相互理解と交流を進める	含む、差別的言動への取り締まりを強化する	その他	特にない	わからない	無回答
全体 (1,309人)			44.5%	28.2%	32.3%	21.9%	37.4%	34.8%	16.1%	2.1%	3.0%	4.9%	7.0%
性別	男性 (589人)		44.8%	24.3%	29.9%	23.6%	36.2%	34.5%	18.7%	2.9%	4.1%	5.3%	6.6%
	女性 (695人)		44.7%	31.8%	34.5%	21.2%	38.6%	35.3%	14.2%	1.6%	2.2%	4.6%	6.5%
	その他 (4人)		25.0%	50.0%	50.0%	25.0%	50.0%	75.0%	25.0%	—	—	—	—
	無回答 (21人)		28.6%	14.3%	23.8%	—	28.6%	23.8%	4.8%	—	—	4.8%	38.1%
年代別	29歳以下 (127人)		30.7%	31.5%	33.9%	21.3%	41.7%	36.2%	14.2%	1.6%	3.1%	7.9%	7.9%
	30歳代 (123人)		38.2%	27.6%	31.7%	20.3%	35.0%	39.0%	19.5%	4.9%	2.4%	3.3%	7.3%
	40歳代 (217人)		45.2%	34.6%	34.1%	19.4%	28.1%	45.2%	14.3%	2.3%	3.2%	7.4%	2.3%
	50歳代 (213人)		39.4%	34.3%	40.4%	20.2%	33.8%	30.0%	22.1%	2.3%	2.8%	4.7%	5.6%
	60歳代 (247人)		47.8%	26.7%	32.8%	22.7%	36.8%	34.0%	17.0%	2.0%	3.2%	4.0%	6.1%
	70歳以上 (364人)		52.2%	21.4%	26.6%	25.8%	45.3%	30.5%	13.5%	1.4%	3.0%	3.6%	9.1%
	無回答 (18人)		33.3%	16.7%	16.7%	—	22.2%	27.8%	—	—	—	5.6%	44.4%
職業別	会社員・公務員など (405人)		40.2%	28.6%	32.8%	21.7%	34.8%	37.8%	19.0%	2.7%	3.7%	4.7%	5.4%
	契約・派遣社員など (224人)		46.9%	31.7%	35.3%	21.9%	36.6%	36.6%	16.1%	2.7%	2.2%	5.8%	3.1%
	自営業等 (78人)		43.6%	26.9%	29.5%	15.4%	29.5%	43.6%	10.3%	3.8%	3.8%	9.0%	7.7%
	家事に従事 (222人)		48.2%	30.2%	33.8%	19.8%	40.1%	38.7%	15.8%	0.9%	3.2%	2.3%	5.9%
	学生 (42人)		28.6%	38.1%	35.7%	21.4%	40.5%	47.6%	14.3%	—	2.4%	2.4%	9.5%
	その他の職業 (23人)		56.5%	30.4%	43.5%	17.4%	56.5%	17.4%	13.0%	—	—	—	17.4%
	仕事はしていない (294人)		48.0%	23.5%	28.9%	26.5%	40.5%	24.1%	15.6%	2.0%	2.7%	6.1%	9.5%
	無回答 (21人)		33.3%	9.5%	14.3%	14.3%	23.8%	28.6%	—	—	—	4.8%	38.1%
問3(キ:外国人)「差別や人権侵害の存在の有無」の回答内容別	多く存在する (327人)		46.8%	31.5%	38.8%	20.8%	40.4%	36.1%	16.8%	3.1%	0.9%	3.7%	7.0%
	ある程度存在する (826人)		44.1%	29.2%	31.8%	22.0%	36.8%	34.9%	17.1%	1.5%	3.3%	4.7%	6.2%
	存在しない (108人)		42.6%	21.3%	23.1%	25.0%	36.1%	35.2%	9.3%	4.6%	7.4%	6.5%	6.5%
	無回答 (48人)		39.6%	4.2%	16.7%	20.8%	29.2%	25.0%	10.4%	2.1%	2.1%	12.5%	22.9%

性別

「外国語による情報提供を充実させる」では女性（31.8%）が男性（24.3%）を7ポイント上回っています。

年代別

「互いが、ともに暮らす市民であることへの理解を深める啓発を推進する」「外国人のための日本語教室を設ける」「外国人も、日本人と同等のサービス（医療、福祉、教育等）を受けられるようにする」では70歳以上が他の年代に比べて最も高くなっています。

職業別

「互いが、ともに暮らす市民であることへの理解を深める啓発を推進する」では《学生》を除く全ての職業で4割を超えています。

問3（キ：外国人）「差別や人権侵害の存在の有無」の回答内容別

「互いが、ともに暮らす市民であることへの理解を深める啓発を推進する」では人権侵害が《存在しない》（42.6%）でも4割を超えています。

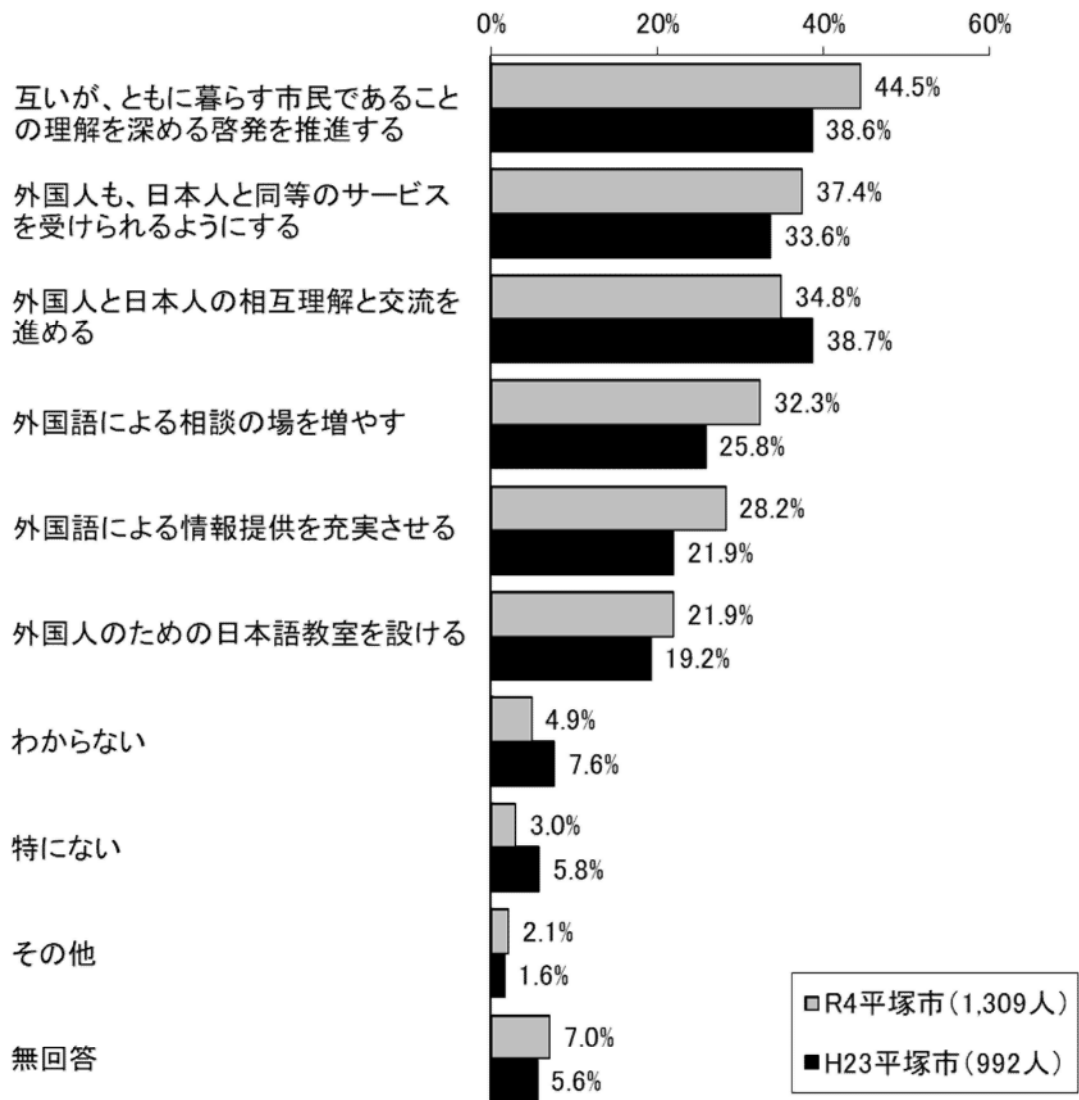
また、「外国人のための日本語教室を設ける」では人権侵害が《存在しない》（25.0%）の割合が最も高くなっています。



❖ 前回調査との比較 ❖

外国人の人権を守るために必要なことについて、「外国人と日本人の相互理解と交流を進める」「特にない」を除く全ての回答内容で前回から上がっており、特に「外国語による相談の場を増やす」「外国語による情報提供を充実させる」では前回からそれぞれ6ポイント上がっています。

外国人の人権を守るために必要なこと【比較】



(8) 疾病等にかかる人権侵害について

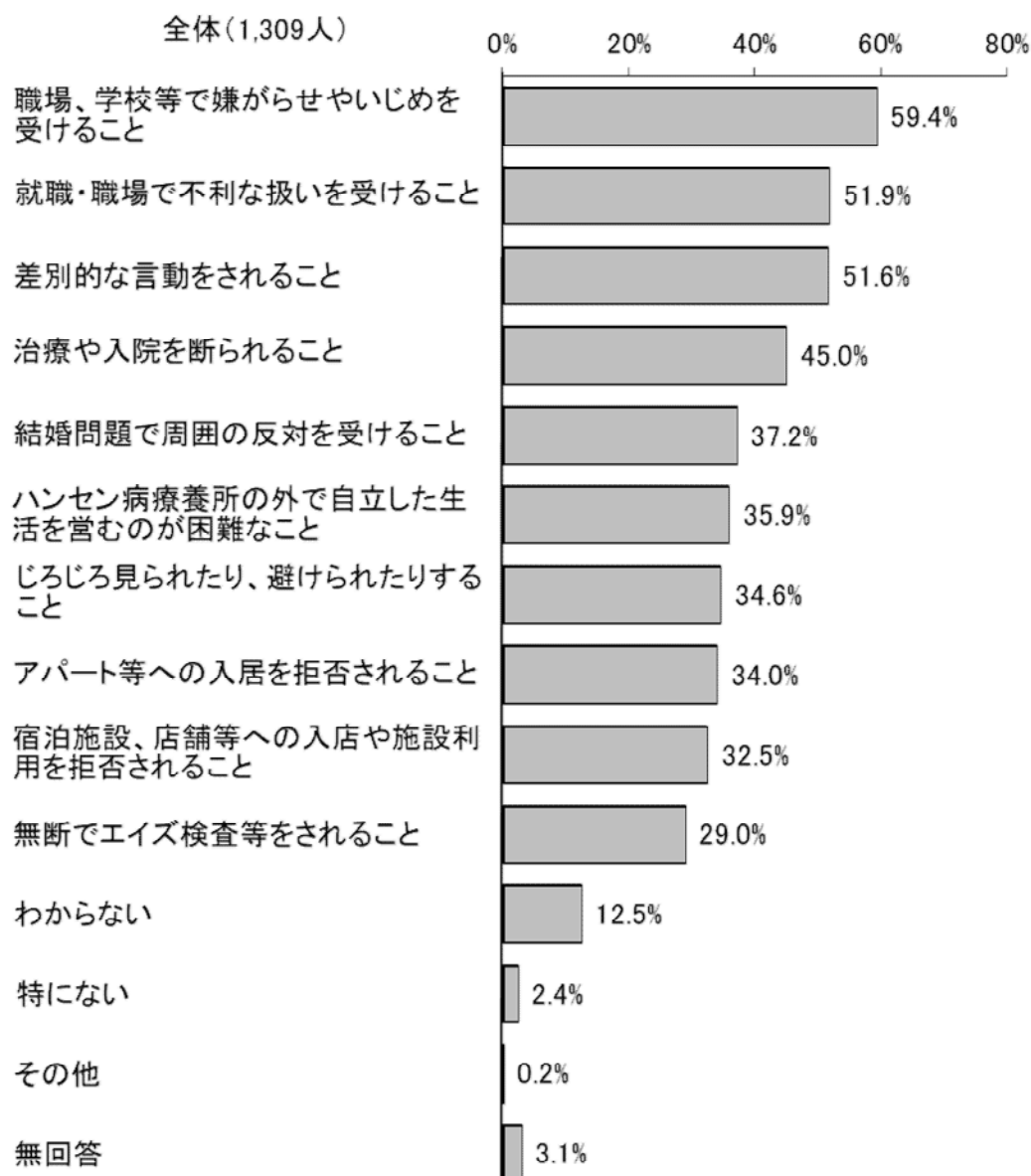
【問 20】 エイズ患者やH I V感染者、ハンセン病患者等に関する人権上の問題点

エイズ患者やH I V（エイズウィルス）感染者、ハンセン病患者等に関する事柄で、あなたが人権上問題があると思われるのはどのようなことですか。（あてはまるものすべてに○）

「職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること」（59.4%）が最も高く、「就職・職場で不利な扱いを受けること」（51.9%）、「差別的な言動をされること」（51.6%）が続きます。

「その他」としては、「感染源や症状について、知らない人が多いこと」などの回答がありました。

エイズ患者やH I V感染者、ハンセン病患者等に関する人権上の問題点



エイズ患者やHIV感染者、ハンセン病患者等に関する人権上の問題点【属性別】

属性		回答内容	や職場、学校等 で嫌がらせ を受けられること	結婚問題で 周囲の反対を 受けること	就職・職場で 不利な扱い を受けること	治療や入院を 断られること	無断でエイズ 検査等をさせ られること	差別的な言動を されること	ハンセン病療養 所の外で自立 した生活を営む のが困難なこと	アパート等への 入居を拒否され ること	宿泊施設、店舗 等への入店や施 設利用を拒否さ れること	けろろ見られたり 避けられること	その他	特になし	わからない	無回答
全体(1,309人)			59.4%	37.2%	51.9%	45.0%	29.0%	51.6%	35.9%	34.0%	32.5%	34.6%	0.2%	2.4%	12.5%	3.1%
性別	男性(589人)		58.2%	34.5%	50.8%	42.3%	24.6%	48.4%	33.6%	31.1%	31.7%	30.4%	0.2%	4.1%	12.4%	2.5%
	女性(695人)		60.9%	39.9%	52.8%	47.5%	33.1%	54.5%	38.1%	36.4%	33.5%	38.0%	0.3%	1.2%	12.8%	2.7%
	その他(4人)		75.0%	75.0%	75.0%	100.0%	25.0%	100.0%	75.0%	100.0%	75.0%	75.0%	—	—	—	—
	無回答(21人)		38.1%	19.0%	47.6%	28.6%	19.0%	38.1%	19.0%	23.8%	14.3%	33.3%	—	—	9.5%	28.6%
年代別	29歳以下(127人)		60.6%	37.8%	42.5%	46.5%	25.2%	60.6%	33.1%	29.1%	30.7%	34.6%	—	2.4%	15.0%	0.8%
	30歳代(123人)		67.5%	43.1%	52.8%	49.6%	34.1%	63.4%	35.0%	34.1%	37.4%	36.6%	—	1.6%	7.3%	1.6%
	40歳代(217人)		64.1%	41.5%	52.5%	45.2%	32.3%	53.9%	35.0%	32.7%	31.8%	32.3%	0.5%	2.3%	15.2%	0.5%
	50歳代(213人)		61.0%	32.4%	57.3%	50.7%	30.0%	50.7%	35.7%	28.6%	28.6%	32.9%	0.5%	1.9%	11.7%	0.9%
	60歳代(247人)		57.9%	35.6%	53.8%	41.7%	25.9%	50.6%	39.3%	35.6%	32.4%	36.8%	0.4%	2.8%	10.1%	2.8%
	70歳以上(364人)		54.1%	36.8%	50.0%	42.3%	28.3%	44.8%	36.0%	38.5%	34.9%	34.6%	—	3.0%	14.0%	6.3%
	無回答(18人)		44.4%	27.8%	50.0%	33.3%	27.8%	44.4%	27.8%	33.3%	22.2%	38.9%	—	—	11.1%	22.2%
職業別	会社員・公務員など(405人)		61.2%	38.5%	51.4%	42.7%	28.6%	52.1%	35.3%	28.9%	29.4%	32.3%	0.2%	3.0%	12.3%	0.5%
	契約・派遣社員など(224人)		60.7%	37.1%	52.2%	48.7%	33.5%	54.5%	36.6%	35.7%	38.4%	37.5%	0.9%	1.3%	13.4%	1.3%
	自営業等(78人)		59.0%	35.9%	47.4%	46.2%	24.4%	46.2%	33.3%	38.5%	29.5%	29.5%	—	1.3%	17.9%	6.4%
	家事に従事(222人)		61.7%	35.6%	53.6%	44.1%	28.4%	53.6%	37.4%	37.8%	32.0%	39.6%	—	2.3%	9.5%	3.2%
	学生(42人)		69.0%	42.9%	50.0%	57.1%	28.6%	73.8%	31.0%	35.7%	35.7%	28.6%	—	2.4%	2.4%	—
	その他の職業(23人)		60.9%	47.8%	78.3%	65.2%	43.5%	52.2%	47.8%	52.2%	52.2%	47.8%	—	—	4.3%	8.7%
	仕事はしていない(294人)		53.7%	36.1%	51.0%	43.5%	27.6%	46.3%	36.4%	34.0%	32.7%	32.7%	—	3.4%	15.0%	5.4%
	無回答(21人)		42.9%	28.6%	42.9%	28.6%	19.0%	42.9%	23.8%	33.3%	19.0%	38.1%	—	—	14.3%	23.8%
問3(ク:疾病等) 「差別や人権侵害の存在の有無」 の回答内容別	多く存在する(416人)		71.4%	46.4%	60.3%	50.7%	35.1%	62.5%	45.7%	39.9%	38.2%	43.5%	0.5%	0.7%	6.3%	2.6%
	ある程度存在する(734人)		57.4%	35.1%	51.6%	45.4%	28.6%	50.0%	33.7%	33.4%	32.0%	31.1%	0.1%	1.9%	13.2%	1.8%
	存在しない(109人)		42.2%	23.9%	37.6%	33.9%	17.4%	35.8%	25.7%	25.7%	24.8%	29.4%	—	11.0%	23.9%	4.6%
	無回答(50人)		26.0%	20.0%	16.0%	16.0%	10.0%	20.0%	10.0%	12.0%	10.0%	24.0%	—	6.0%	30.0%	22.0%

性別

「特にない」を除く全ての回答内容で女性が男性を上回っており、特に「無断でエイズ検査等をされること」では女性（33.1%）が男性（24.6%）を8ポイント上回っています。

年代別

「職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること」では30歳代から年代が上がるとともに減少していますが、60歳代以上を除く全ての年代で6割を超えています。

職業別

4つの回答内容で《学生》が最も高くなっており、特に「差別的な言動をされること」では他の職業に比べて19ポイント以上高くなっています。

問3（ク：疾病等）「差別や人権侵害の存在の有無」の回答内容別

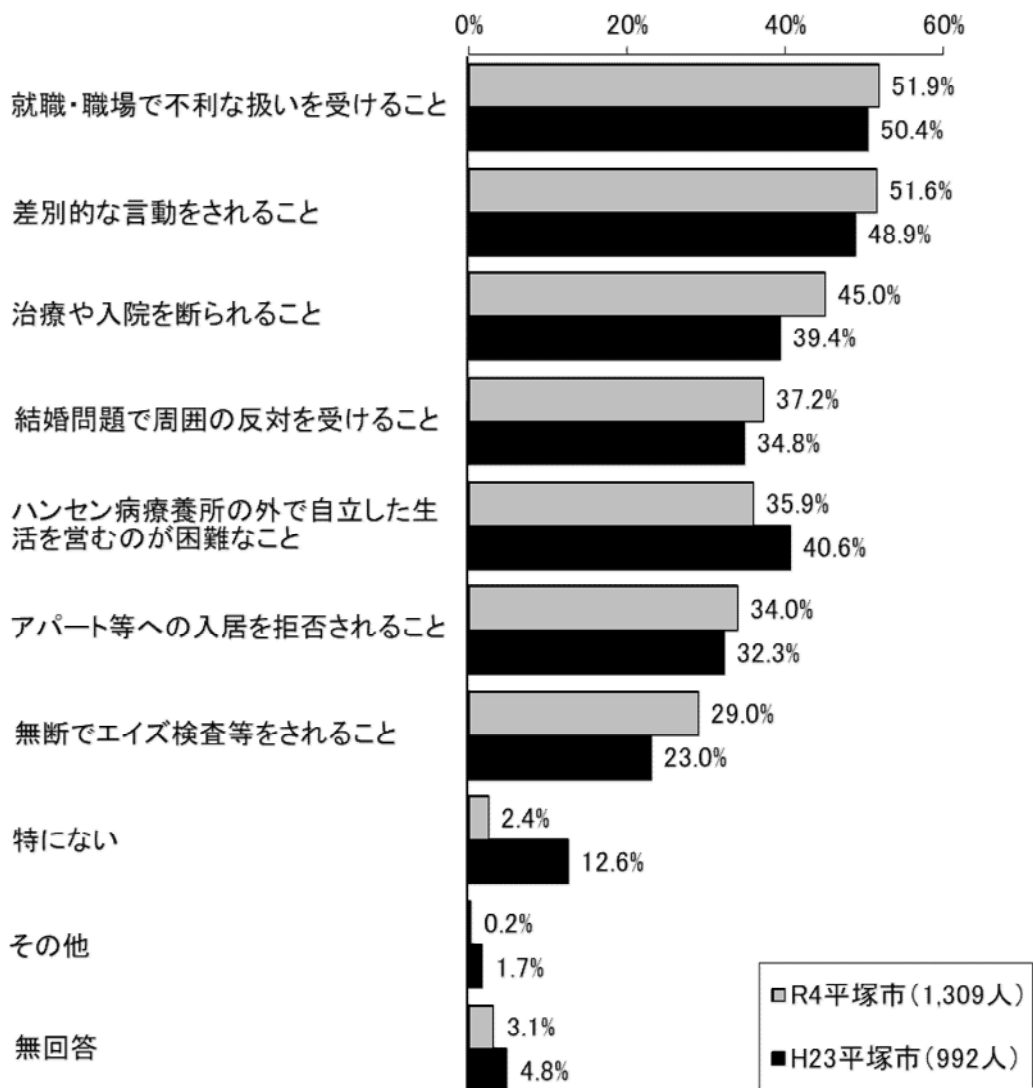
特に「職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること」では人権侵害が《多く存在する》（71.4%）が《存在しない》（42.2%）を29ポイント上回っています。



❖ 前回調査との比較 ❖

エイズ患者やH I V感染者、ハンセン病患者等に関する人権上の問題点について、6つの回答内容で前回から上がっており、特に「無断でエイズ検査等をされること」では前回から6ポイント上がっています。

エイズ患者やH I V感染者、ハンセン病患者等に関する人権上の問題点【比較】

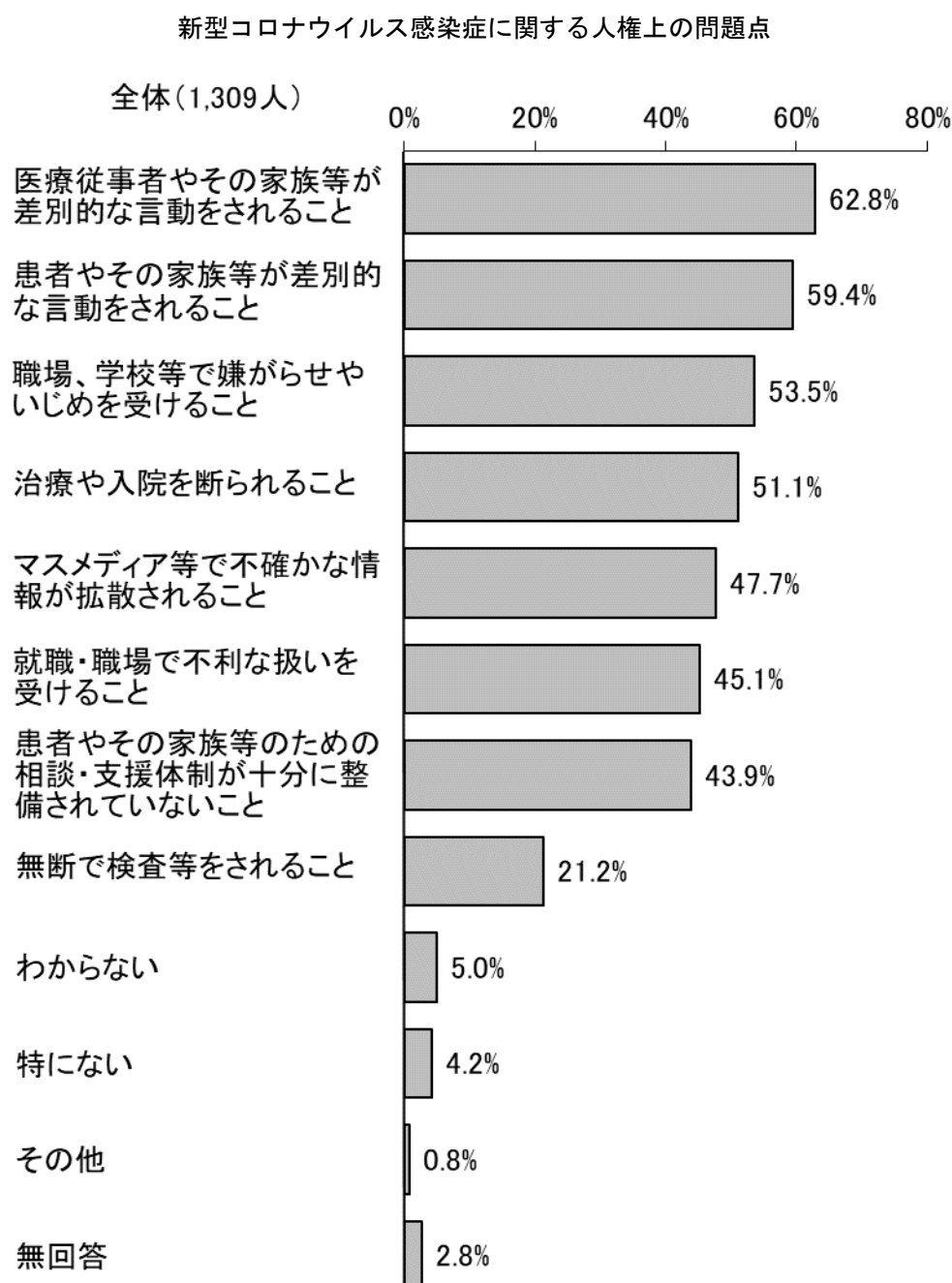


【問 21】新型コロナウイルス感染症に関する人権上の問題点

新型コロナウイルス感染症に関する事柄で、あなたが人権上問題があると思われるのはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

「医療従事者やその家族等が差別的な言動をされること」(62.8%)が最も高く、「患者やその家族等が差別的な言動をされること」(59.4%)、「職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること」(53.5%)が続きます。

「その他」としては、「マスクは義務ではないのに強制しようとする社会」「ワクチン接種の有無に関して、考えの押し付けがあること」などの回答がありました。



新型コロナウイルス感染症に関する人権上の問題点【属性別】

属性		回答内容	る ら 職 場 や 学 校 等 で 嫌 げ が 受 け ら れ る こ と	扱 い を 受 け る こ と が 不 利 な こ と	就 職 ・ 職 場 で 不 利 な こ と	治 療 や 入 院 を 断 ら れ る こ と	無 断 で 検 査 等 を さ れ る こ と	差 別 的 な 言 動 を さ れ る こ と	患 者 や そ の 家 族 等 が 不 利 な こ と	を さ れ る こ と	医 療 従 事 者 や そ の 家 族 等 が 不 利 な こ と	患 者 や そ の 家 族 等 の た め に 支 援 体 制 が 十 分 に 整 わ な い こ と	相 談 ・ 支 援 体 制 が 十 分 に 整 わ な い こ と	患 者 や そ の 家 族 等 の た め に 支 援 体 制 が 十 分 に 整 わ な い こ と	確 かな 情 報 が 拡 散 さ れ る こ と	マ ス メ デ ィ ア 等 で 不 利 な こ と	そ の 他	特 に な い	わ か ら な い	無 回 答
全体(1,309人)			53.5%	45.1%	51.1%	21.2%	59.4%	62.8%	43.9%	47.7%	0.8%	4.2%	5.0%	2.8%						
性別	男性(589人)		51.4%	43.1%	47.4%	19.2%	56.0%	53.7%	42.3%	44.8%	0.8%	6.6%	6.1%	2.4%						
	女性(695人)		55.7%	46.9%	54.7%	22.4%	62.4%	71.2%	45.2%	50.6%	0.9%	2.3%	4.3%	2.4%						
	その他(4人)		75.0%	75.0%	100.0%	50.0%	100.0%	75.0%	100.0%	100.0%	—	—	—	—						
	無回答(21人)		33.3%	38.1%	28.6%	33.3%	47.6%	38.1%	33.3%	19.0%	—	—	—	23.8%						
年代別	29歳以下(127人)		56.7%	48.8%	44.9%	20.5%	62.2%	61.4%	41.7%	54.3%	0.8%	0.8%	8.7%	0.8%						
	30歳代(123人)		65.0%	57.7%	51.2%	25.2%	65.0%	76.4%	41.5%	61.0%	1.6%	1.6%	3.3%	1.6%						
	40歳代(217人)		59.4%	53.5%	49.3%	20.7%	61.8%	60.8%	39.6%	50.7%	0.9%	5.1%	7.8%	0.5%						
	50歳代(213人)		53.1%	45.5%	48.4%	20.7%	61.5%	67.6%	41.8%	46.5%	0.9%	2.8%	4.2%	0.5%						
	60歳代(247人)		51.4%	39.3%	55.5%	20.6%	58.3%	62.8%	45.3%	46.2%	—	5.7%	4.9%	2.8%						
	70歳以上(364人)		47.3%	38.7%	53.6%	20.3%	54.9%	58.0%	48.6%	42.0%	1.1%	5.8%	3.3%	5.5%						
	無回答(18人)		38.9%	38.9%	38.9%	38.9%	55.6%	44.4%	33.3%	22.2%	—	—	5.6%	22.2%						
職業別	会社員・公務員など(405人)		51.6%	47.2%	46.7%	21.0%	57.8%	64.2%	38.3%	49.1%	0.5%	4.7%	5.4%	0.2%						
	契約・派遣社員など(224人)		57.6%	49.1%	51.3%	18.8%	66.5%	63.8%	49.6%	50.4%	1.3%	3.6%	4.9%	1.3%						
	自営業等(78人)		51.3%	42.3%	53.8%	17.9%	50.0%	52.6%	37.2%	42.3%	2.6%	5.1%	9.0%	2.6%						
	家事に従事(222人)		58.1%	43.7%	58.6%	23.0%	59.5%	68.5%	45.0%	50.0%	0.5%	2.7%	3.2%	3.6%						
	学生(42人)		71.4%	47.6%	52.4%	21.4%	71.4%	61.9%	50.0%	59.5%	—	—	—	—						
	その他の職業(23人)		73.9%	69.6%	69.6%	47.8%	60.9%	78.3%	73.9%	52.2%	4.3%	—	—	8.7%						
	仕事はしていない(294人)		47.3%	39.8%	50.3%	20.4%	57.5%	59.5%	45.9%	43.5%	0.3%	6.1%	5.8%	5.1%						
	無回答(21人)		33.3%	33.3%	33.3%	28.6%	52.4%	33.3%	28.6%	14.3%	4.8%	—	9.5%	23.8%						
問3(ク:疾病等)「差別や人権侵害の存在の有無」の回答内容別	多く存在する(416人)		59.6%	50.5%	54.8%	24.8%	67.1%	71.4%	49.0%	58.7%	1.2%	1.9%	2.2%	2.2%						
	ある程度存在する(734人)		53.7%	45.1%	51.8%	21.1%	59.3%	62.5%	44.1%	45.1%	0.7%	4.4%	4.9%	1.5%						
	存在しない(109人)		40.4%	32.1%	39.4%	13.8%	42.2%	46.8%	27.5%	33.0%	0.9%	11.9%	11.9%	3.7%						
	無回答(50人)		28.0%	30.0%	36.0%	10.0%	36.0%	30.0%	32.0%	26.0%	—	4.0%	16.0%	24.0%						

性別

「特にない」を除く全ての回答内容で女性が男性を上回っており、特に「医療従事者やその家族等が差別的な言動をされること」では女性（71.2%）が男性（53.7%）を17ポイント上回っています。

年代別

「職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること」「就職・職場で不利な扱いを受けること」「患者やその家族等が差別的な言動をされること」「マスメディア等で不確かな情報が拡散されること」では30歳代が他の年代に比べて最も高く、年代が上がるとともに減少しています。

職業別

4つの回答内容で《学生》が最も高くなっており、特に「職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること」では他の職業に比べて13ポイント以上高くなっています。

問3（ク：疾病等）「差別や人権侵害の存在の有無」の回答内容別

「職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること」「患者やその家族等が差別的な言動をされること」「医療従事者やその家族等が差別的な言動をされること」では人権侵害が《存在しない》でも4割を超えています。



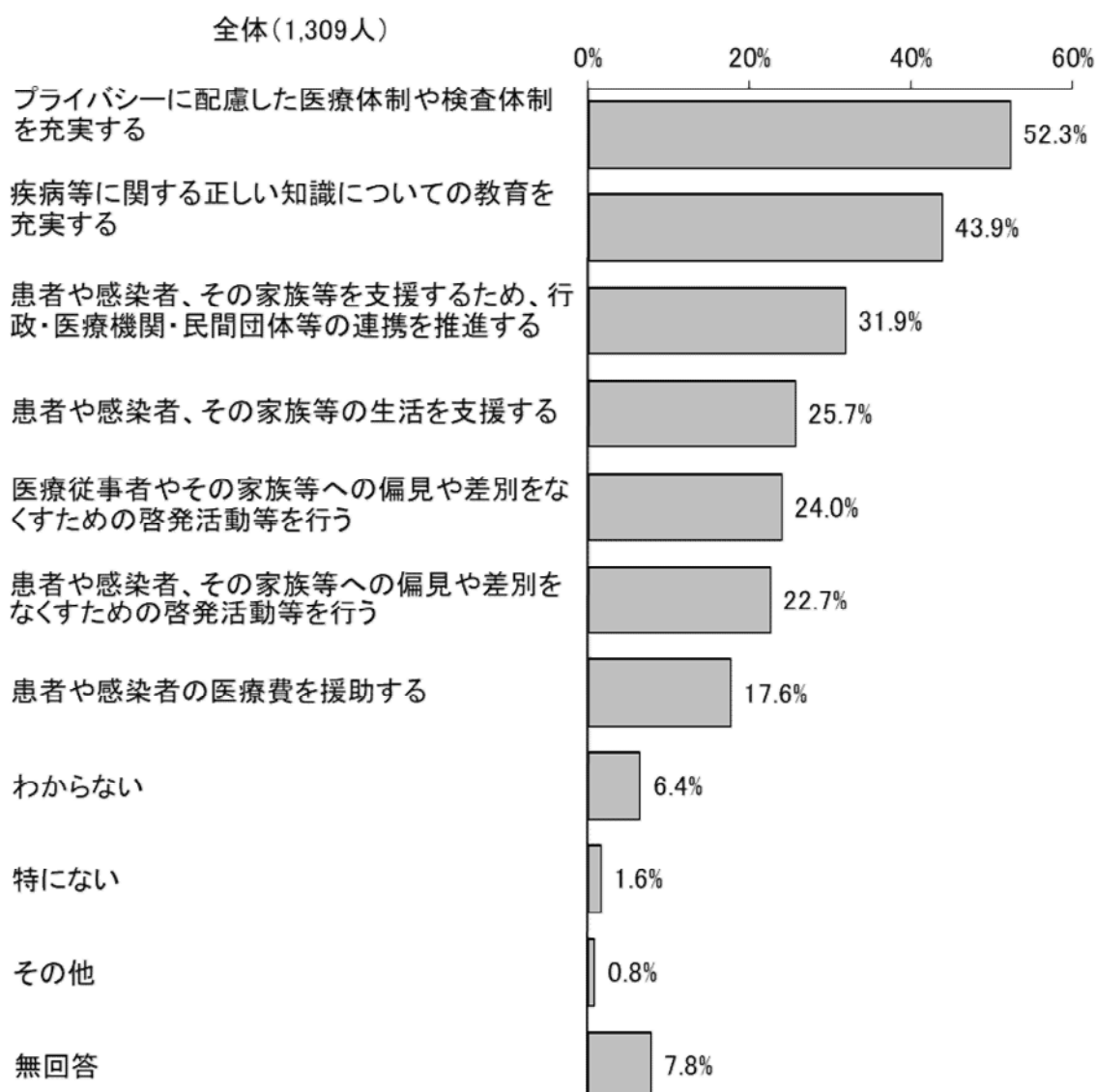
【問 22】 疾病等にかかる人権侵害を防ぐために必要なこと

疾病等にかかる人権侵害を防ぐために、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

「プライバシーに配慮した医療体制や検査体制を充実する」(52.3%)が最も高く、「疾病等に関する正しい知識についての教育を充実する」(43.9%)、「患者や感染者、その家族等を支援するため、行政・医療機関・民間団体等の連携を推進する」(31.9%)が続きます。

「その他」としては、「メディアの情報だけでなく、多くの情報から各個人が精査する」「身近な人が感染症にかかったら他言しない」などの回答がありました。

疾病等にかかる人権侵害を防ぐために必要なこと



疾病等にかかる人権侵害を防ぐために必要なこと【属性別】

属性		回答内容	患者や感染者、その家族等への啓発活動等を行う	患者や感染者、その家族等への偏見や差別をなくすための啓発活動等を行う	医療従事者やその家族等への偏見や差別をなくすための啓発活動等を行う	知識に関する正しい教育を充実する	患者や感染者、その家族等を支援するため、行政・医療機関・民間団体等の連携を推進する	患者や感染者、その家族等の生活を支援する	患者や感染者の医療費を援助する	その他	特になし	わからない	無回答
全体(1,309人)			52.3%	22.7%	24.0%	43.9%	31.9%	25.7%	17.6%	0.8%	1.6%	6.4%	7.8%
性別	男性(589人)		52.8%	23.6%	24.6%	40.1%	28.2%	26.0%	17.5%	0.8%	2.4%	6.6%	8.1%
	女性(695人)		52.2%	21.9%	24.0%	47.3%	35.7%	25.9%	18.0%	0.7%	1.0%	6.2%	6.8%
	その他(4人)		75.0%	25.0%	—	75.0%	50.0%	25.0%	50.0%	—	—	—	—
	無回答(21人)		38.1%	23.8%	9.5%	28.6%	9.5%	14.3%	4.8%	—	—	9.5%	33.3%
年代別	29歳以下(127人)		57.5%	22.8%	18.9%	44.1%	25.2%	25.2%	18.1%	—	1.6%	10.2%	5.5%
	30歳代(123人)		48.0%	30.1%	28.5%	46.3%	29.3%	25.2%	21.1%	1.6%	—	4.1%	4.9%
	40歳代(217人)		57.6%	24.9%	24.9%	47.0%	29.5%	22.6%	19.8%	1.4%	1.4%	7.4%	3.2%
	50歳代(213人)		46.9%	21.1%	24.4%	39.0%	37.6%	23.0%	16.4%	0.9%	1.4%	7.0%	8.9%
	60歳代(247人)		54.7%	22.3%	21.9%	45.7%	32.0%	26.3%	15.8%	0.8%	3.2%	6.1%	7.7%
	70歳以上(364人)		51.1%	19.8%	25.8%	43.1%	34.6%	29.4%	17.6%	0.3%	1.4%	4.7%	10.7%
	無回答(18人)		38.9%	27.8%	5.6%	33.3%	5.6%	22.2%	5.6%	—	—	16.7%	27.8%
職業別	会社員・公務員など(405人)		52.3%	24.0%	26.2%	47.4%	30.6%	23.5%	16.3%	1.2%	2.0%	6.4%	5.4%
	契約・派遣社員など(224人)		53.6%	20.5%	24.1%	40.6%	35.3%	33.0%	21.4%	1.3%	2.2%	5.8%	6.3%
	自営業等(78人)		43.6%	23.1%	26.9%	48.7%	25.6%	17.9%	11.5%	—	1.3%	6.4%	12.8%
	家事に従事(222人)		55.0%	20.7%	23.4%	49.1%	36.0%	26.6%	17.6%	0.5%	0.5%	5.0%	6.3%
	学生(42人)		71.4%	33.3%	16.7%	42.9%	21.4%	19.0%	23.8%	—	—	4.8%	4.8%
	その他の職業(23人)		43.5%	34.8%	26.1%	34.8%	39.1%	34.8%	17.4%	—	—	—	17.4%
	仕事はしていない(294人)		51.0%	21.8%	22.8%	38.1%	32.3%	25.5%	18.0%	0.3%	2.0%	8.2%	9.9%
	無回答(21人)		33.3%	19.0%	4.8%	28.6%	9.5%	19.0%	9.5%	—	—	14.3%	33.3%
問3(ク:疾病等)「差別や人権侵害の存在の有無」の回答内容別	多く存在する(416人)		58.4%	24.3%	26.0%	47.6%	37.7%	27.2%	19.7%	1.0%	1.0%	3.4%	6.0%
	ある程度存在する(734人)		51.4%	23.3%	24.0%	44.4%	30.4%	24.9%	16.6%	0.7%	1.1%	6.4%	8.3%
	存在しない(109人)		44.0%	16.5%	22.9%	33.0%	23.9%	22.9%	15.6%	0.9%	7.3%	14.7%	6.4%
	無回答(50人)		34.0%	14.0%	10.0%	28.0%	24.0%	32.0%	20.0%	—	2.0%	14.0%	18.0%

性別

6つの回答内容で男性が女性を上回っています。

また、「疾病等に関する正しい知識についての教育を充実する」（男性 40.1%、女性 47.3%）、「患者や感染者、その家族等を支援するため、行政・医療機関・民間団体等の連携を推進する」（男性 28.2%、女性 35.7%）では女性が男性をそれぞれ7ポイント上回っています。

年代別

「プライバシーに配慮した医療体制や検査体制を充実する」では30歳代、50歳代を除く全ての年代で5割を超えています。

職業別

3つの回答内容で《学生》が最も高くなっており、特に「プライバシーに配慮した医療体制や検査体制を充実する」では他の職業に比べて16ポイント以上高くなっています。

問3（ク：疾病等）「差別や人権侵害の存在の有無」の回答内容別

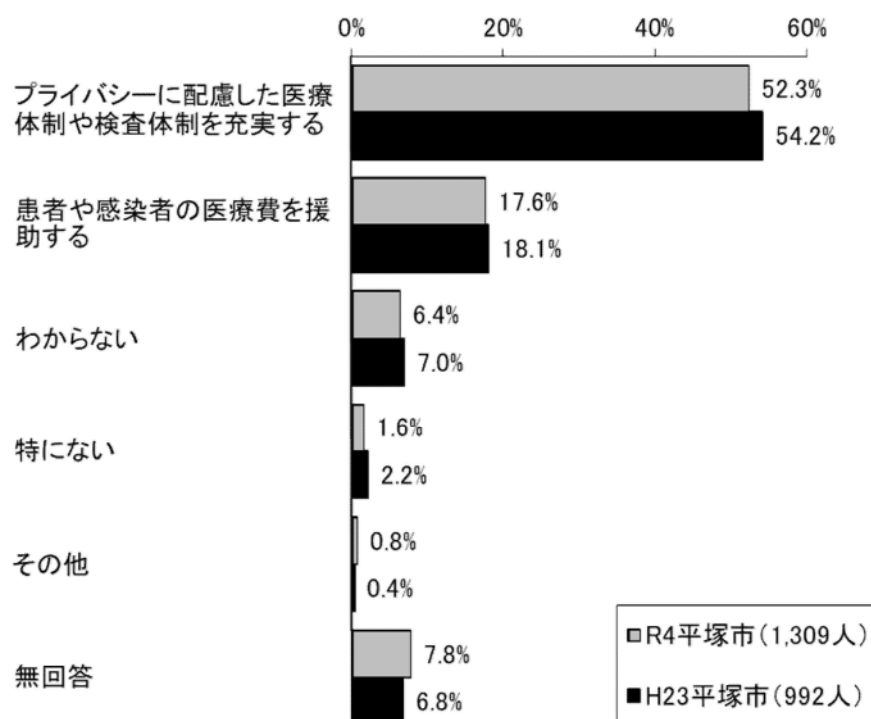
「プライバシーに配慮した医療体制や検査体制を充実する」では人権侵害が《存在しない》（44.0%）でも4割を超えています。



❖ 前回調査との比較 ❖

疾病等にかかる人権侵害を防ぐために必要なことについて、3つの回答内容で前回から下がっています。

疾病等にかかる人権侵害を防ぐために必要なこと【比較】



(9) インターネットによる人権侵害について

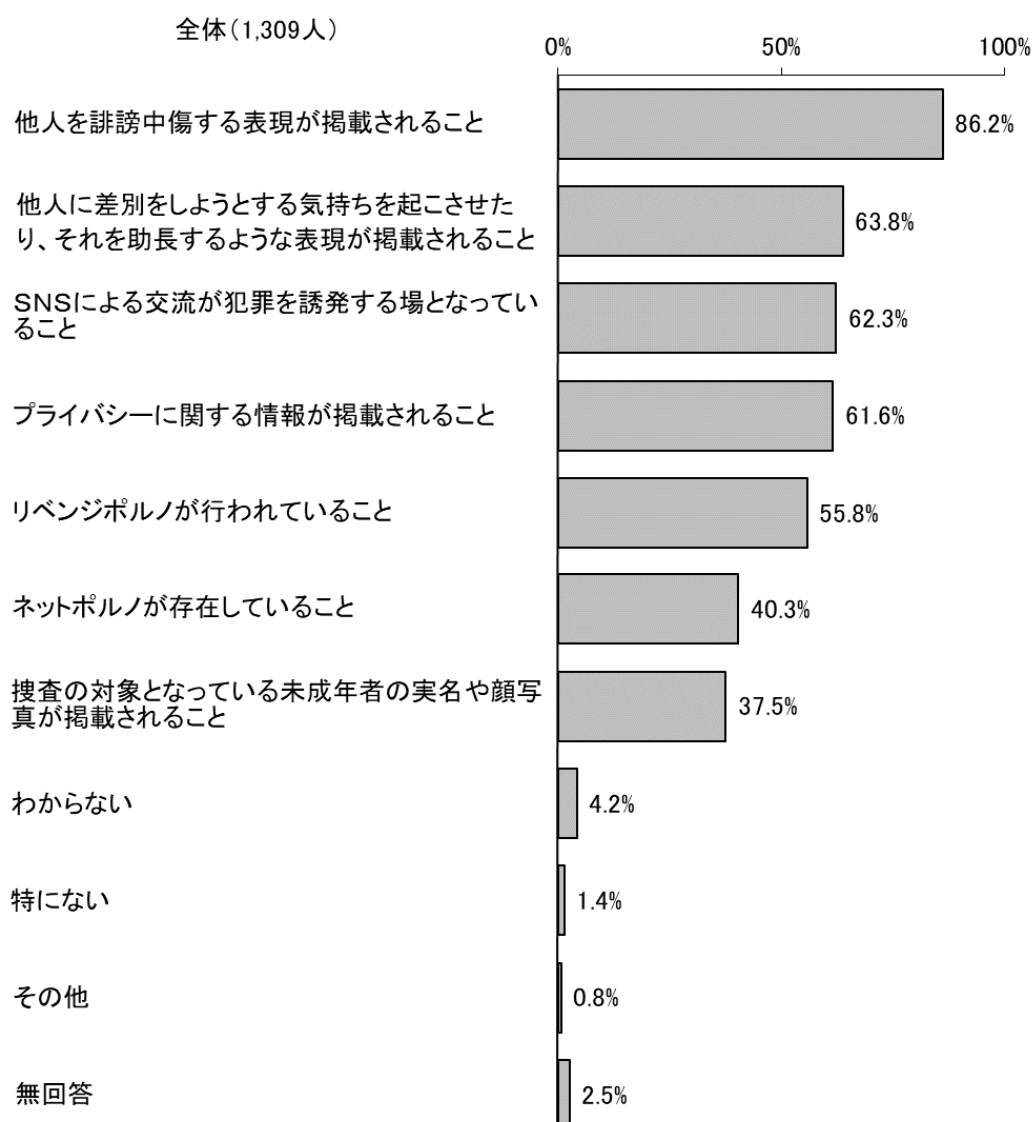
【問23】 インターネットによる人権侵害に関する問題点

インターネットによる人権侵害に関する事柄で、あなたが人権上問題があると思われるのはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

「他人を誹謗中傷する表現が掲載されること」(86.2%)が特に高く、「他人に差別をしようとする気持ちを起こさせたり、それを助長するような表現が掲載されること」(63.8%)、「SNSによる交流が犯罪を誘発する場となっていること」(62.3%)が続きます。

「その他」としては、「匿名で何でも言えること」「影響力の大きい人や企業が間違っ
た情報を流していること」などの回答がありました。

インターネットによる人権侵害に関する問題点



インターネットによる人権侵害に関する問題点【属性別】

属性		回答内容										
		他人を誹謗中傷する表現が掲載されること	他人に差別をしようとする気持ちを起させたり、それを助長するような表現が掲載されること	SNSによる交流が犯罪を誘発する場となっていること	成人者の実名や顔写真が掲載されること	捜査の対象となっていないこと	ネットポルノが存在していること	プライバシーに関する情報が掲載されること	リベンジポルノが行われていること	その他	特になし	わからない
全体(1,309人)		86.2%	63.8%	62.3%	37.5%	40.3%	61.6%	55.8%	0.8%	1.4%	4.2%	2.5%
性別	男性(589人)	86.2%	62.6%	61.8%	32.3%	34.8%	57.6%	53.1%	0.7%	1.7%	3.6%	2.5%
	女性(695人)	86.8%	65.0%	63.5%	42.2%	44.9%	65.0%	58.7%	0.9%	1.2%	4.6%	1.9%
	その他(4人)	100.0%	100.0%	75.0%	75.0%	100.0%	75.0%	75.0%	—	—	—	—
	無回答(21人)	61.9%	47.6%	33.3%	23.8%	33.3%	57.1%	33.3%	—	—	9.5%	23.8%
年代別	29歳以下(127人)	85.0%	65.4%	59.8%	38.6%	46.5%	64.6%	55.9%	—	2.4%	4.7%	0.8%
	30歳代(123人)	89.4%	72.4%	71.5%	45.5%	48.0%	67.5%	63.4%	1.6%	0.8%	1.6%	0.8%
	40歳代(217人)	90.3%	65.9%	61.8%	41.0%	40.6%	63.6%	59.0%	0.9%	1.4%	1.8%	0.5%
	50歳代(213人)	89.7%	64.8%	63.4%	39.9%	41.3%	67.1%	58.7%	0.9%	0.5%	3.3%	1.4%
	60歳代(247人)	86.2%	66.4%	64.4%	32.8%	35.6%	59.1%	54.7%	—	1.6%	4.0%	2.8%
	70歳以上(364人)	81.9%	57.1%	59.1%	34.3%	37.9%	55.5%	51.1%	1.1%	1.6%	6.6%	4.7%
	無回答(18人)	66.7%	55.6%	44.4%	33.3%	44.4%	66.7%	44.4%	—	—	11.1%	16.7%
職業別	会社員・公務員など(405人)	90.4%	65.9%	67.7%	39.0%	40.2%	62.7%	56.5%	0.5%	1.5%	2.5%	0.5%
	契約・派遣社員など(224人)	85.3%	64.7%	60.3%	42.9%	39.7%	61.6%	56.7%	0.9%	1.8%	4.0%	2.2%
	自営業等(78人)	87.2%	56.4%	61.5%	25.6%	33.3%	62.8%	57.7%	2.6%	1.3%	3.8%	3.8%
	家事に従事(222人)	85.1%	64.9%	60.4%	41.0%	43.2%	67.6%	57.2%	—	1.4%	5.4%	2.3%
	学生(42人)	97.6%	71.4%	61.9%	42.9%	52.4%	71.4%	64.3%	—	—	—	—
	その他の職業(23人)	73.9%	65.2%	60.9%	34.8%	47.8%	60.9%	65.2%	4.3%	4.3%	—	4.3%
	仕事はしていない(294人)	82.3%	60.5%	59.5%	32.0%	38.8%	54.4%	52.4%	1.0%	1.0%	6.8%	4.4%
	無回答(21人)	66.7%	57.1%	42.9%	28.6%	33.3%	52.4%	33.3%	—	—	4.8%	19.0%
問3(サ:インターネット)「差別や人権侵害の存在の有無」の回答内容別	多く存在する(864人)	93.2%	70.4%	70.0%	41.9%	46.6%	67.6%	62.2%	0.6%	0.5%	1.2%	1.3%
	ある程度存在する(349人)	79.9%	56.4%	50.4%	32.1%	30.9%	55.6%	49.0%	1.1%	1.4%	7.7%	2.9%
	存在しない(52人)	46.2%	34.6%	40.4%	21.2%	19.2%	28.8%	26.9%	1.9%	13.5%	11.5%	7.7%
	無回答(44人)	45.5%	27.3%	29.5%	13.6%	15.9%	29.5%	20.5%	—	4.5%	27.3%	18.2%

性別

「特にない」を除く全ての回答内容で女性が男性を上回っており、特に「ネットポルノが存在していること」では女性（44.9%）が男性（34.8%）を10ポイント上回っています。

年代別

7つの回答内容で30歳代が他の年代に比べて最も高くなっており、特に「SNSによる交流が犯罪を誘発する場となっていること」（71.5%）では他の年代に比べて7ポイント以上高くなっています。

職業別

5つの回答内容で《学生》が他の職業に比べて高くなっており、特に「ネットポルノが存在していること」（52.4%）では他の職業に比べて9ポイント以上高くなっています。

問3（サ：インターネットによる人権侵害）「差別や人権侵害の存在の有無」の回答内容別

「他人を誹謗中傷する表現が掲載されること」では人権侵害が《多く存在する》（93.2%）が《存在しない》（46.2%）を47ポイント上回っています。

また、「他人を誹謗中傷する表現が掲載されること」「SNSによる交流が犯罪を誘発する場となっていること」では人権侵害が《存在しない》でも4割を超えています。

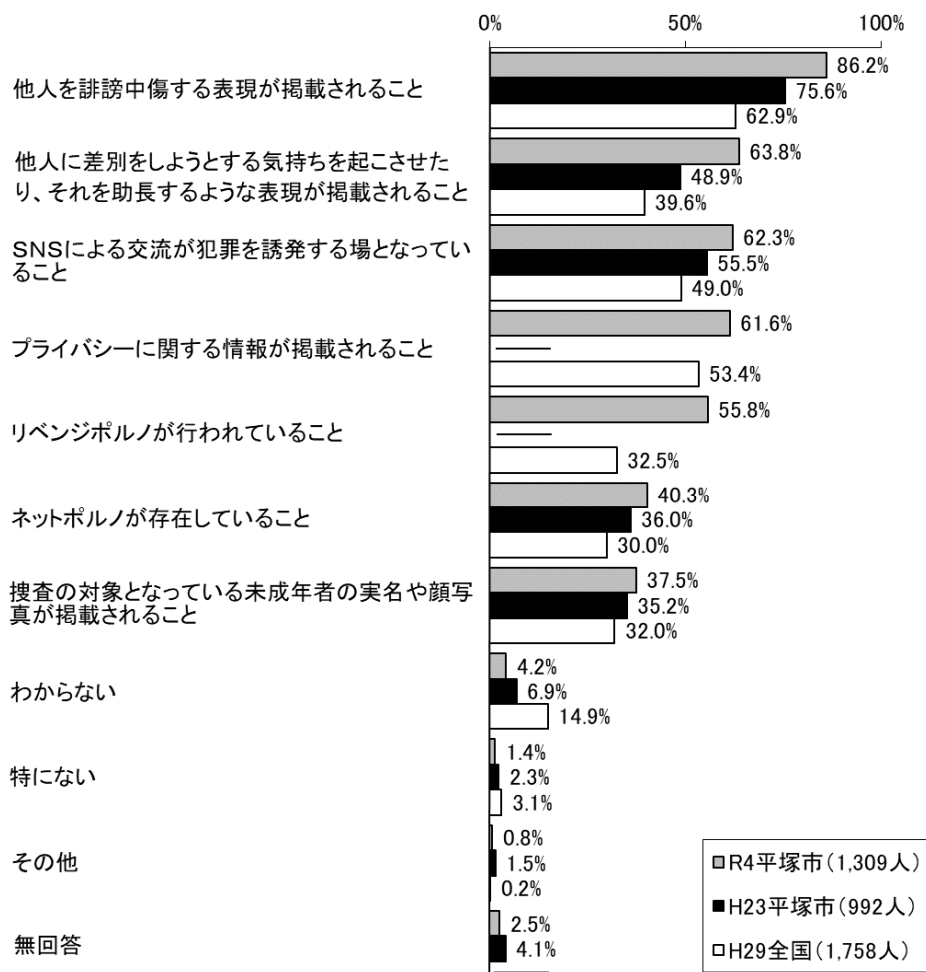


❖ 前回調査・全国調査との比較 ❖

インターネットによる人権侵害に関する問題点について、前回調査と比較すると、「特
にない」「その他」を除く全ての回答内容で前回から上がっており、特に「他人に差別を
しようとする気持ちを起こさせたり、それを助長するような表現が掲載されること」で
は前回から 14 ポイント上がっています。

全国調査と比較すると、「特にない」「その他」を除く全ての回答内容で平塚市が全国
を上回っており、特に「他人に差別をしようとする気持ちを起こさせたり、それを助長
するような表現が掲載されること」では平塚市が全国を 24 ポイント上回っています。

インターネットによる人権侵害に関する問題点【比較】



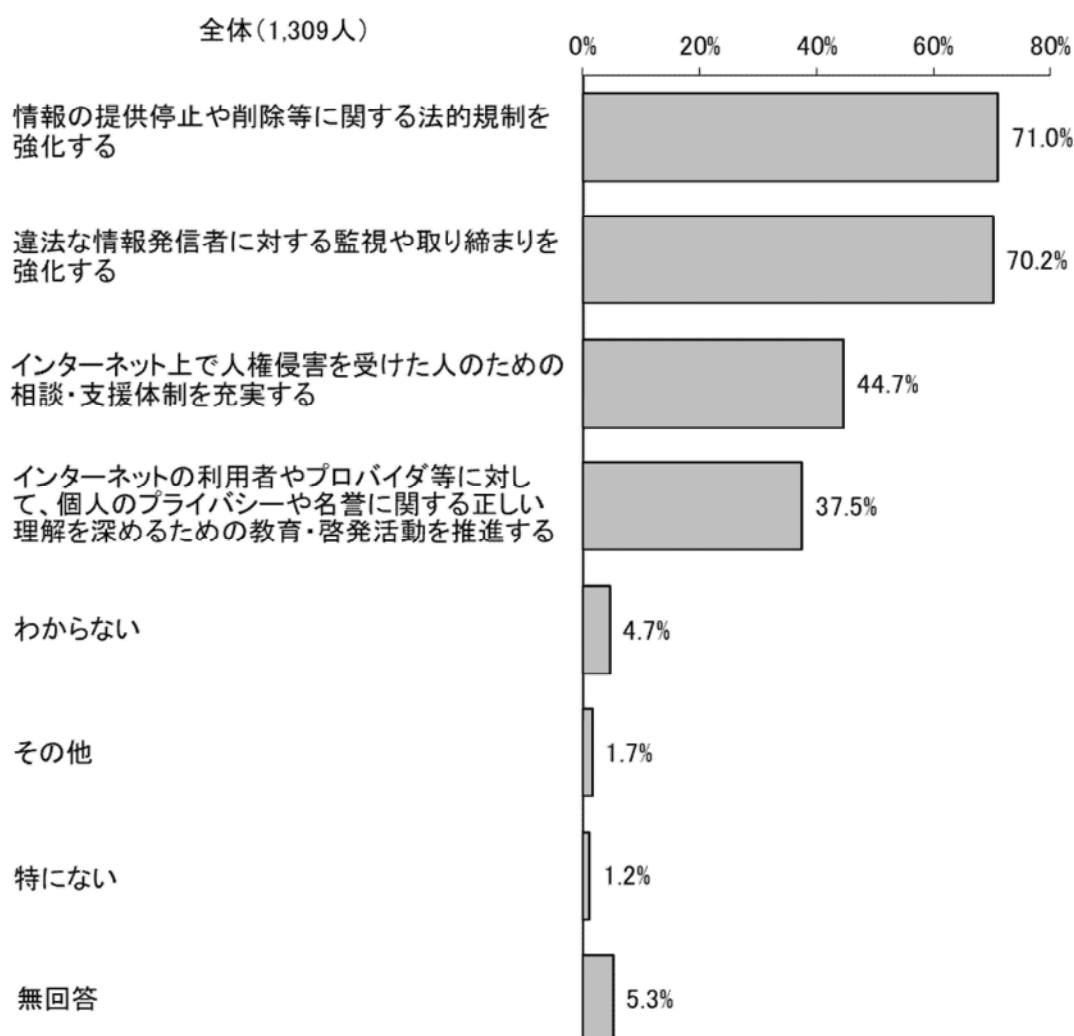
【問 24】 インターネットによる人権侵害を防ぐために必要なこと

インターネットによる人権侵害を防ぐために、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

「情報の提供停止や削除等に関する法的規制を強化する」(71.0%)、「違法な情報発信者に対する監視や取り締まりを強化する」(70.2%)が特に高く、「インターネット上で人権侵害を受けた人のための相談・支援体制を充実する」(44.7%)が続きます。

「その他」としては、「SNS等での匿名性を制限する」「自分のプライバシーをたやすく人に教えない、見せない」などの回答がありました。

インターネットによる人権侵害を防ぐために必要なこと



インターネットによる人権侵害を防ぐために必要なこと【属性別】

属性		回答内容	インターネット上で人権侵害を受けた人のために相手を支援した体制を充実させる	インターネットの利用者やプライバシーなどに関する教育・啓発活動を推進する	インターネットの利用者やプライバシーに関する法的規制を強化する	情報の提供停止や削除等に関する法的規制を強化する	違法な情報発信者に対する監視や取り締まりを強化する	その他	特にない	わからない	無回答
全体(1,309人)			44.7%	37.5%	71.0%	70.2%	1.7%	1.2%	4.7%	5.3%	
性別	男性(589人)		44.8%	37.0%	72.2%	70.5%	1.7%	1.7%	4.4%	4.8%	
	女性(695人)		44.7%	38.4%	70.6%	70.6%	1.6%	0.9%	5.0%	5.0%	
	その他(4人)		50.0%	50.0%	100.0%	75.0%	—	—	—	—	
	無回答(21人)		38.1%	19.0%	47.6%	47.6%	4.8%	—	4.8%	28.6%	
年代別	29歳以下(127人)		33.9%	44.1%	65.4%	64.6%	0.8%	3.1%	5.5%	3.9%	
	30歳代(123人)		40.7%	39.0%	73.2%	74.8%	4.1%	0.8%	1.6%	1.6%	
	40歳代(217人)		41.9%	35.9%	76.5%	80.6%	2.3%	0.9%	1.8%	2.8%	
	50歳代(213人)		46.5%	38.0%	73.7%	70.9%	1.9%	0.5%	2.8%	5.2%	
	60歳代(247人)		50.2%	38.9%	70.9%	68.0%	0.8%	2.0%	4.9%	4.5%	
	70歳以上(364人)		47.0%	35.2%	68.7%	66.5%	1.1%	0.8%	8.0%	8.2%	
	無回答(18人)		38.9%	22.2%	50.0%	50.0%	5.6%	—	11.1%	22.2%	
職業別	会社員・公務員など(405人)		41.5%	37.5%	76.0%	75.3%	2.2%	1.5%	2.5%	2.5%	
	契約・派遣社員など(224人)		43.3%	38.8%	70.5%	73.2%	2.2%	2.2%	4.5%	4.5%	
	自営業等(78人)		43.6%	25.6%	73.1%	70.5%	1.3%	—	6.4%	7.7%	
	家事に従事(222人)		50.5%	37.4%	68.5%	70.3%	0.9%	0.9%	5.9%	3.6%	
	学生(42人)		38.1%	54.8%	64.3%	64.3%	—	—	2.4%	4.8%	
	その他の職業(23人)		56.5%	34.8%	69.6%	65.2%	—	4.3%	4.3%	8.7%	
	仕事はしていない(294人)		46.9%	38.8%	68.7%	63.9%	1.4%	0.7%	7.1%	8.5%	
	無回答(21人)		33.3%	19.0%	47.6%	42.9%	4.8%	—	4.8%	28.6%	
問3(サ:インターネット)「差別や人権侵害の有無」の回答内容別	多く存在する(864人)		45.5%	39.7%	77.1%	76.3%	1.9%	0.3%	2.0%	4.3%	
	ある程度存在する(349人)		47.3%	36.4%	64.5%	63.6%	1.4%	1.4%	7.4%	4.9%	
	存在しない(52人)		26.9%	28.8%	42.3%	40.4%	1.9%	13.5%	11.5%	11.5%	
	無回答(44人)		29.5%	13.6%	38.6%	38.6%	—	2.3%	29.5%	20.5%	

性別

全体的な傾向に大きな差はありません。

年代別

「インターネット上で人権侵害を受けた人のための相談・支援体制を充実する」では年代が上がるとともに増加しており、60歳代（50.2%）が他の年代に比べて最も高くなっています。

職業別

「インターネットの利用者やプロバイダ等に対して、個人のプライバシーや名誉に関する正しい理解を深めるための教育・啓発活動を推進する」では《学生》（54.8%）が他の職業に比べて16ポイント以上高くなっています。

問3（サ：インターネットによる人権侵害）「差別や人権侵害の存在の有無」の回答内容別

「違法な情報発信者に対する監視や取り締まりを強化する」では人権侵害が《多く存在する》（76.3%）が《存在しない》（40.4%）を35ポイント上回っています。

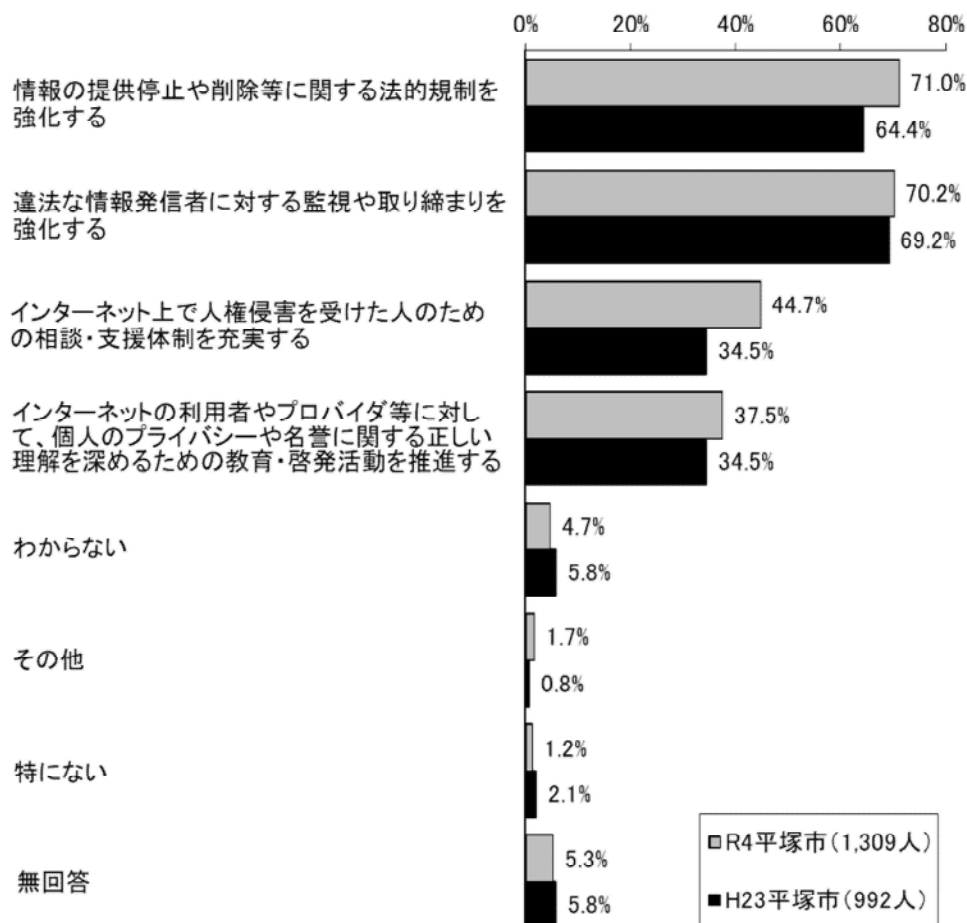
また、「情報の提供停止や削除等に関する法的規制を強化する」「違法な情報発信者に対する監視や取り締まりを強化する」では人権侵害が《存在しない》でも4割を超えています。



❖ 前回調査との比較 ❖

インターネットによる人権侵害を防ぐために必要なことについて、「特にない」を除く全ての回答内容で前回から上がっています。

インターネットによる人権侵害を防ぐために必要なこと【比較】



(10) セクシュアルマイノリティの人権について

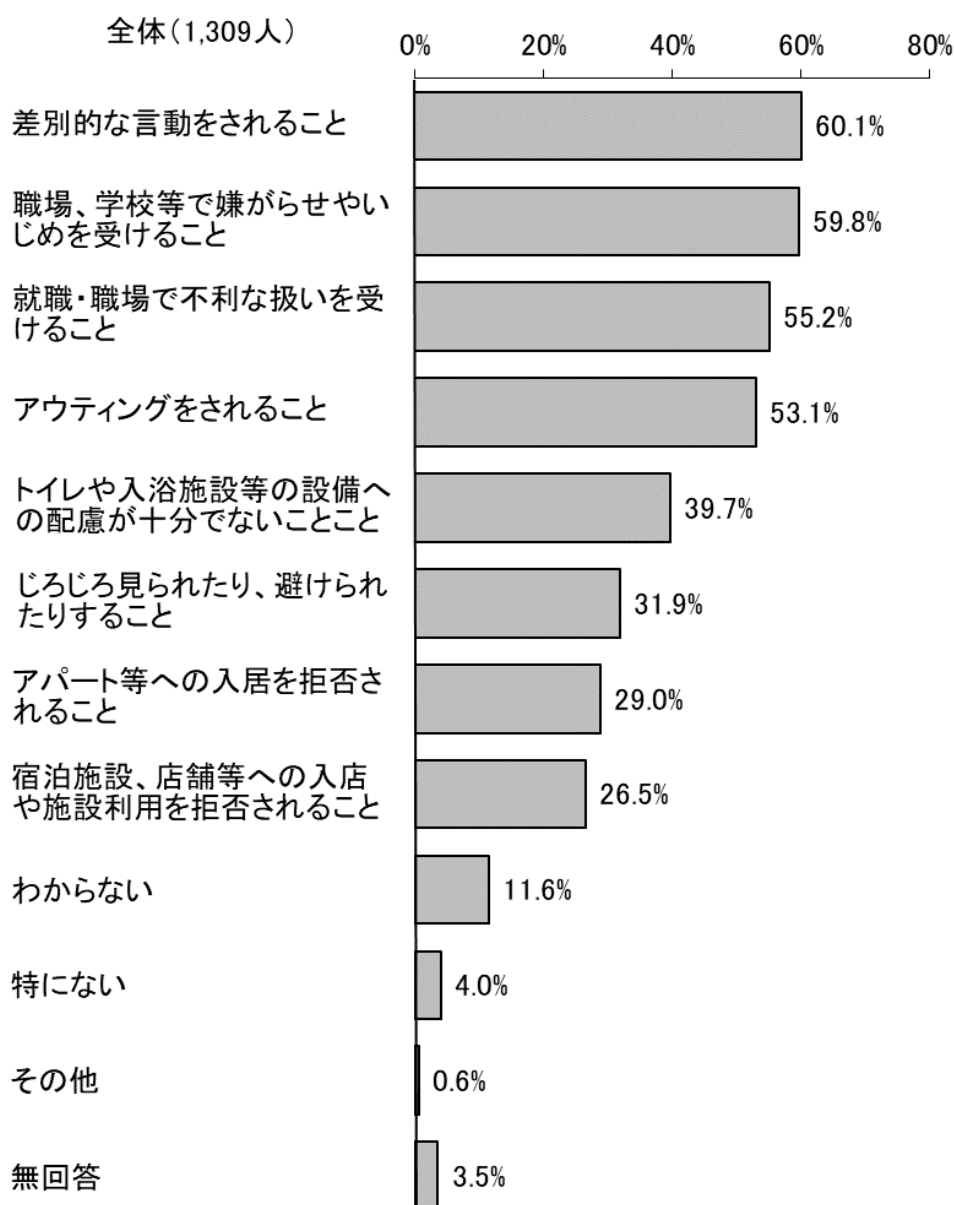
【問 25】 セクシュアルマイノリティに関する人権上の問題点

セクシュアルマイノリティに関する事柄で、あなたが人権上問題があると思われるのはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

「差別的な言動をされること」(60.1%)が最も高く、「職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること」(59.8%)、「就職・職場で不利な扱いを受けること」(55.2%)が続きます。

「その他」としては、「結婚ができないこと」などの回答がありました。

セクシュアルマイノリティに関する人権上の問題点



セクシュアルマイノリティに関する人権上の問題点【属性別】

属性		回答内容	る	職	扱	就	差	る	ア	を	拒	の	宿	り	じ	分	の	ト	その他	特	わ	無
			ら	場	い	職	的	ア	ア	入	泊	り	ろ	で	レ	せ	や	校				
全体(1,309人)			59.8%	55.2%	60.1%	53.1%	29.0%	26.5%	31.9%	39.7%	0.6%	4.0%	11.6%	3.5%								
性別	男性(589人)		58.9%	52.1%	55.9%	48.0%	24.8%	23.3%	29.4%	35.5%	0.7%	4.4%	12.4%	3.7%								
	女性(695人)		61.0%	58.6%	64.3%	57.7%	32.7%	29.4%	34.1%	43.6%	0.6%	3.6%	11.1%	2.6%								
	その他(4人)		100.0%	50.0%	100.0%	75.0%	50.0%	75.0%	75.0%	75.0%	—	—	—	—								
	無回答(21人)		38.1%	33.3%	33.3%	38.1%	19.0%	14.3%	23.8%	23.8%	—	9.5%	9.5%	28.6%								
年代別	29歳以下(127人)		66.9%	47.2%	71.7%	63.8%	29.9%	28.3%	37.8%	48.8%	1.6%	2.4%	11.0%	2.4%								
	30歳代(123人)		72.4%	62.6%	66.7%	64.2%	32.5%	31.7%	39.8%	37.4%	1.6%	3.3%	7.3%	2.4%								
	40歳代(217人)		61.3%	56.7%	63.6%	58.1%	28.6%	24.0%	27.6%	46.5%	0.5%	2.3%	10.1%	0.5%								
	50歳代(213人)		63.8%	60.6%	62.9%	54.9%	32.4%	28.2%	34.3%	38.0%	—	2.8%	10.3%	0.9%								
	60歳代(247人)		57.5%	59.9%	63.2%	54.7%	26.3%	25.9%	31.6%	40.1%	—	4.5%	10.9%	2.0%								
	70歳以上(364人)		52.2%	49.2%	48.9%	40.9%	27.5%	25.3%	28.8%	34.3%	0.8%	6.0%	15.4%	7.7%								
	無回答(18人)		44.4%	38.9%	44.4%	44.4%	27.8%	22.2%	27.8%	33.3%	—	11.1%	11.1%	22.2%								
職業別	会社員・公務員など(405人)		62.2%	54.6%	61.7%	56.0%	27.2%	24.0%	33.1%	42.5%	1.0%	3.0%	9.9%	1.0%								
	契約・派遣社員など(224人)		62.1%	58.0%	63.4%	54.0%	28.1%	29.9%	36.2%	41.5%	0.9%	4.9%	11.2%	0.9%								
	自営業等(78人)		57.7%	62.8%	64.1%	46.2%	26.9%	17.9%	24.4%	25.6%	—	—	11.5%	9.0%								
	家事に従事(222人)		62.2%	62.2%	63.5%	58.1%	33.8%	29.3%	32.0%	38.7%	—	5.4%	11.3%	2.3%								
	学生(42人)		78.6%	54.8%	85.7%	76.2%	40.5%	40.5%	38.1%	54.8%	—	—	—	2.4%								
	その他の職業(23人)		69.6%	65.2%	69.6%	47.8%	65.2%	43.5%	30.4%	56.5%	—	4.3%	8.7%	4.3%								
	仕事はしていない(294人)		51.7%	47.3%	48.6%	44.6%	24.8%	24.8%	28.9%	36.4%	0.7%	5.4%	16.0%	7.1%								
	無回答(21人)		38.1%	38.1%	42.9%	38.1%	23.8%	19.0%	23.8%	28.6%	—	4.8%	19.0%	23.8%								
問3(ス:セク シュアルマイ ノリティ)「差 別や人権侵 害の存在の 有無」の回 答内容別	多く存在する(403人)		74.7%	68.7%	73.0%	66.5%	37.2%	31.0%	37.5%	52.9%	1.0%	1.2%	5.0%	1.5%								
	ある程度存在する(744人)		57.5%	52.8%	58.7%	52.3%	26.6%	27.0%	31.0%	36.4%	0.4%	4.4%	12.0%	2.7%								
	存在しない(93人)		31.2%	30.1%	37.6%	24.7%	17.2%	9.7%	21.5%	21.5%	1.1%	9.7%	28.0%	6.5%								
	無回答(69人)		36.2%	36.2%	30.4%	21.7%	21.7%	17.4%	23.2%	23.2%	—	8.7%	24.6%	20.3%								

性別

「その他」「特にない」を除く全ての回答内容で女性が男性を上回っており、特に「アウティングをされること」では女性（57.7%）が男性（48.0%）を9ポイント上回っています。

年代別

7つの回答内容で30歳代が他の年代に比べて最も高くなっています。

職業別

7つの回答内容で《学生》が他の職業に比べて最も高くなっており、特に「差別的な言動をされること」では他の職業に比べて21ポイント以上高くなっています。

問3（ス：セクシュアルマイノリティ）「差別や人権侵害の存在の有無」の回答内容別

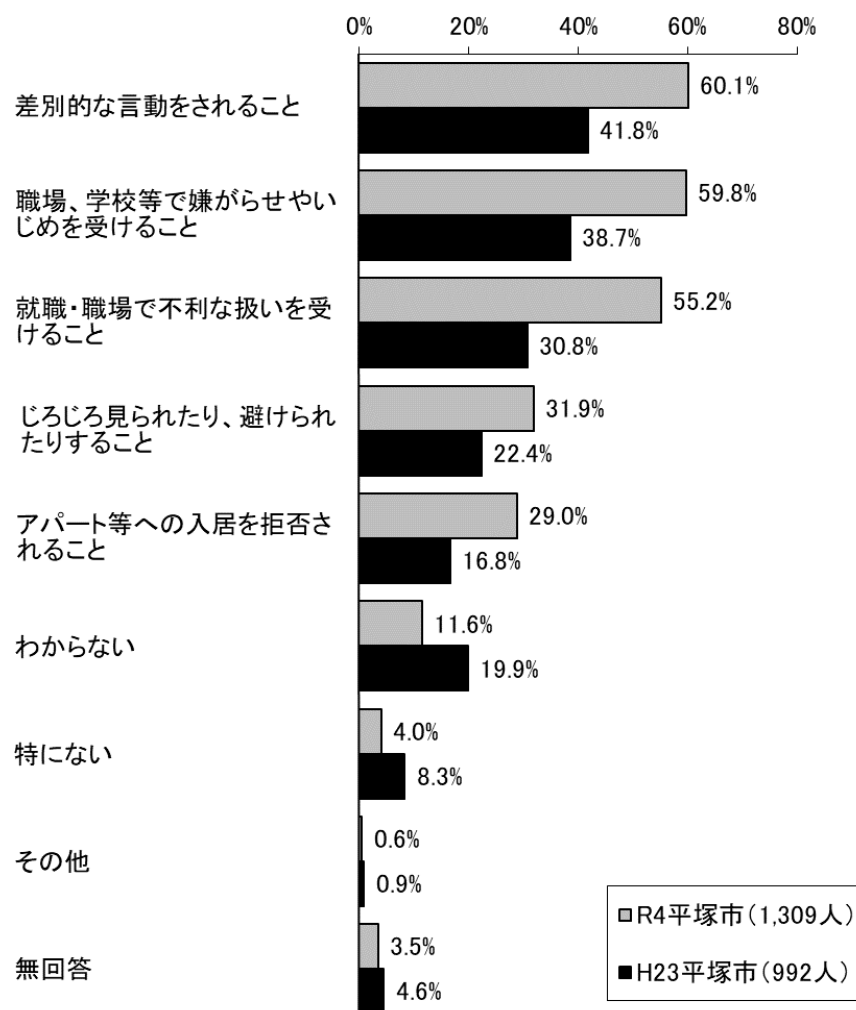
「職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること」では人権侵害が《多く存在する》（74.7%）が《存在しない》（31.2%）を43ポイント上回っています。



❖ 前回調査との比較 ❖

セクシュアルマイノリティに関する人権上の問題点について、「特にない」「その他」を除く全ての回答内容で前回から上がっており、特に「就職・職場で不利な扱いを受けること」では前回から24ポイント上がっています。

セクシュアルマイノリティに関する人権上の問題点【比較】



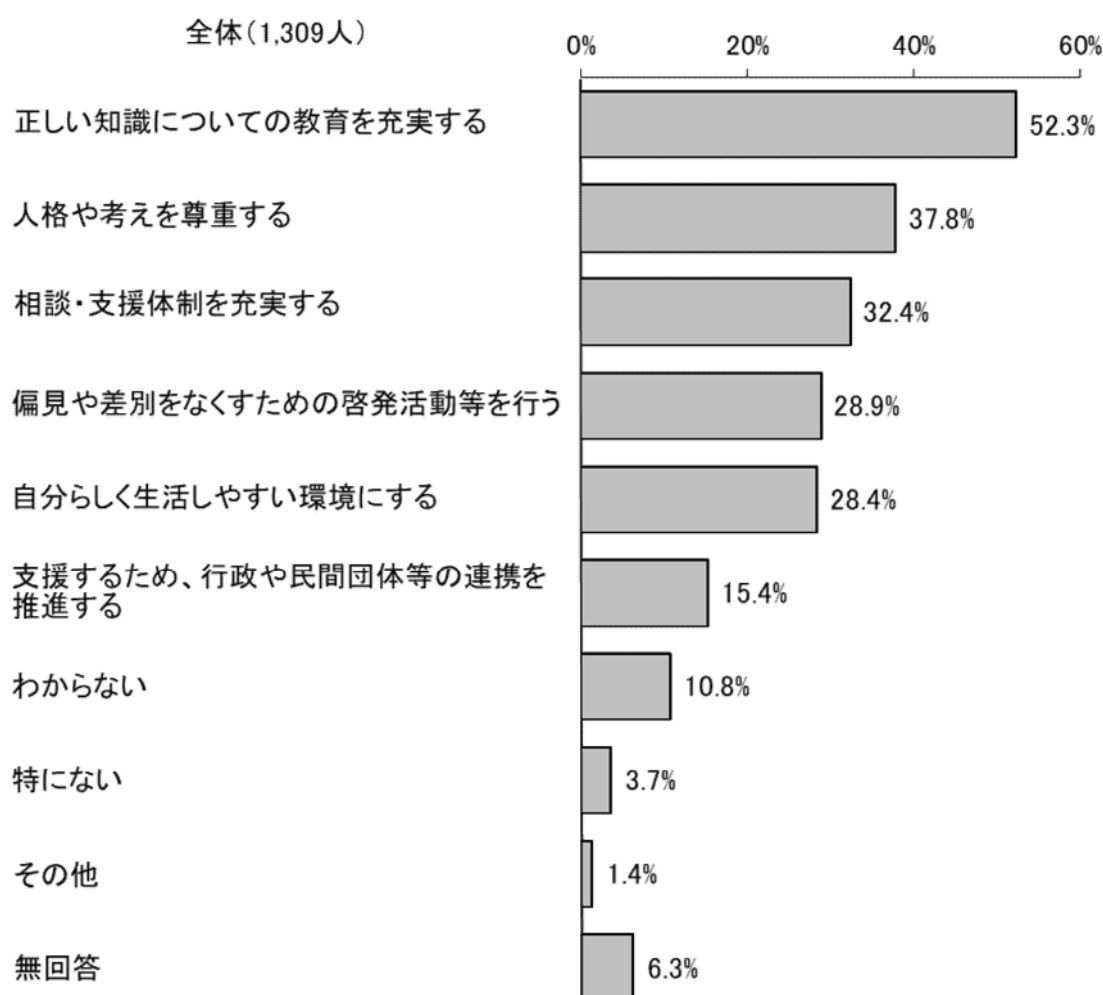
【問 26】 セクシュアルマイノリティの人権を守るために必要なこと

セクシュアルマイノリティの人権を守るために、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

「セクシュアルマイノリティに関する正しい知識についての教育を充実する」(52.3%)が最も高く、「セクシュアルマイノリティの人格や考えを尊重する」(37.8%)、「セクシュアルマイノリティのための相談・支援体制を充実する」(32.4%)が続きます。

「その他」としては、「マジョリティ、マイノリティ間の話し合いの場を作る」「学校、職場等の制服の種類を男・女だけでなく、多様な性に対応した物を選択できるようにする」などの回答がありました。

セクシュアルマイノリティの人権を守るために必要なこと



セクシュアルマイノリティの人権を守るために必要なこと

属性		回答内容	実相 談す る・ 支 援 体 制 を 充 つ	偏見 や 差 別 を なく す た め の 啓 発 活 動 等 を 行 う	正 し い 知 識 に つ い て 充 実 す る	自 分 ら し く 生 活 し や す る 環 境 に す る	民 間 団 体 等 の 連 携 を 推 進 す る	支 援 す る た め 、 行 政 や 支 援 団 体 等 の 連 携 を 推 進 す る	人 格 や 考 え を 尊 重 す る	そ の 他	特 に な い	わ か ら な い	無 回 答
全体(1,309人)			32.4%	28.9%	52.3%	28.4%	15.4%	37.8%	1.4%	3.7%	10.8%	6.3%	
性別	男性(589人)		34.1%	30.1%	49.4%	23.9%	18.0%	33.8%	1.4%	4.9%	11.2%	6.5%	
	女性(695人)		31.2%	27.9%	55.4%	32.7%	12.9%	41.4%	1.4%	2.6%	10.4%	5.6%	
	その他(4人)		50.0%	25.0%	50.0%	50.0%	50.0%	75.0%	—	—	—	—	
	無回答(21人)		19.0%	28.6%	33.3%	9.5%	14.3%	23.8%	—	4.8%	14.3%	28.6%	
年代別	29歳以下(127人)		26.0%	25.2%	43.3%	48.0%	15.7%	44.9%	3.1%	2.4%	11.0%	5.5%	
	30歳代(123人)		29.3%	30.9%	56.1%	34.1%	17.1%	42.3%	4.1%	4.9%	4.9%	5.7%	
	40歳代(217人)		28.6%	25.3%	62.2%	35.5%	15.2%	45.2%	1.4%	1.8%	8.3%	2.3%	
	50歳代(213人)		32.4%	28.6%	55.4%	29.1%	11.3%	37.1%	0.9%	2.8%	9.4%	4.2%	
	60歳代(247人)		37.7%	32.8%	53.8%	23.5%	17.8%	37.2%	0.8%	4.5%	10.1%	5.3%	
	70歳以上(364人)		34.6%	29.1%	45.9%	19.2%	15.4%	31.0%	0.5%	4.4%	15.4%	10.4%	
	無回答(18人)		27.8%	27.8%	44.4%	11.1%	16.7%	22.2%	—	11.1%	11.1%	22.2%	
職業別	会社員・公務員など(405人)		27.7%	27.4%	56.8%	34.1%	15.3%	42.2%	2.5%	3.5%	7.7%	3.7%	
	契約・派遣社員など(224人)		34.8%	32.1%	57.1%	28.6%	15.6%	35.3%	1.8%	3.6%	11.6%	2.2%	
	自営業等(78人)		23.1%	28.2%	55.1%	24.4%	11.5%	39.7%	1.3%	1.3%	10.3%	12.8%	
	家事に従事(222人)		36.9%	27.5%	51.4%	25.2%	16.2%	39.2%	—	4.1%	12.2%	5.4%	
	学生(42人)		28.6%	35.7%	47.6%	52.4%	19.0%	52.4%	—	—	2.4%	7.1%	
	その他の職業(23人)		43.5%	30.4%	43.5%	26.1%	17.4%	34.8%	4.3%	4.3%	4.3%	17.4%	
	仕事はしていない(294人)		36.4%	28.6%	45.2%	22.1%	14.6%	31.3%	0.7%	4.8%	14.6%	9.9%	
	無回答(21人)		23.8%	28.6%	33.3%	9.5%	19.0%	23.8%	—	4.8%	19.0%	23.8%	
問3(ス:セク シュアルマイ ノリティ)「差別 や人権侵害の 存在の有無」 の回答内容別	多く存在する(403人)		39.0%	32.8%	59.8%	34.2%	18.9%	46.2%	1.5%	1.7%	4.2%	5.7%	
	ある程度存在する(744人)		31.9%	29.6%	53.5%	27.6%	14.2%	38.0%	1.3%	3.6%	10.6%	4.8%	
	存在しない(93人)		22.6%	17.2%	29.0%	19.4%	12.9%	16.1%	2.2%	9.7%	28.0%	7.5%	
	無回答(69人)		13.0%	14.5%	27.5%	15.9%	10.1%	15.9%	—	7.2%	27.5%	24.6%	

性別

4つの回答内容で男性が女性を上回っています。

また、「セクシュアルマイノリティが自分らしく生活しやすい環境にする」では女性(32.7%)が男性(23.9%)を8ポイント上回っています。

年代別

3つの回答内容で60歳代が他の年代に比べて最も高くなっています。

また、「セクシュアルマイノリティが自分らしく生活しやすい環境にする」では29歳以下(48.0%)が他の年代に比べて12ポイント以上高くなっています。

職業別

4つの回答内容で《学生》が他の職業に比べて最も高くなっており、特に「セクシュアルマイノリティが自分らしく生活しやすい環境にする」では他の職業に比べて18ポイント以上高くなっています。

問3 (ス:セクシュアルマイノリティ)「差別や人権侵害の存在の有無」の回答内容別

「セクシュアルマイノリティに関する正しい知識についての教育を充実する」「セクシュアルマイノリティの人格や考えを尊重する」では人権侵害が《多く存在する》が《存在しない》をそれぞれ30ポイント上回っています。



(11) 刑を終えて出所した人の人権について

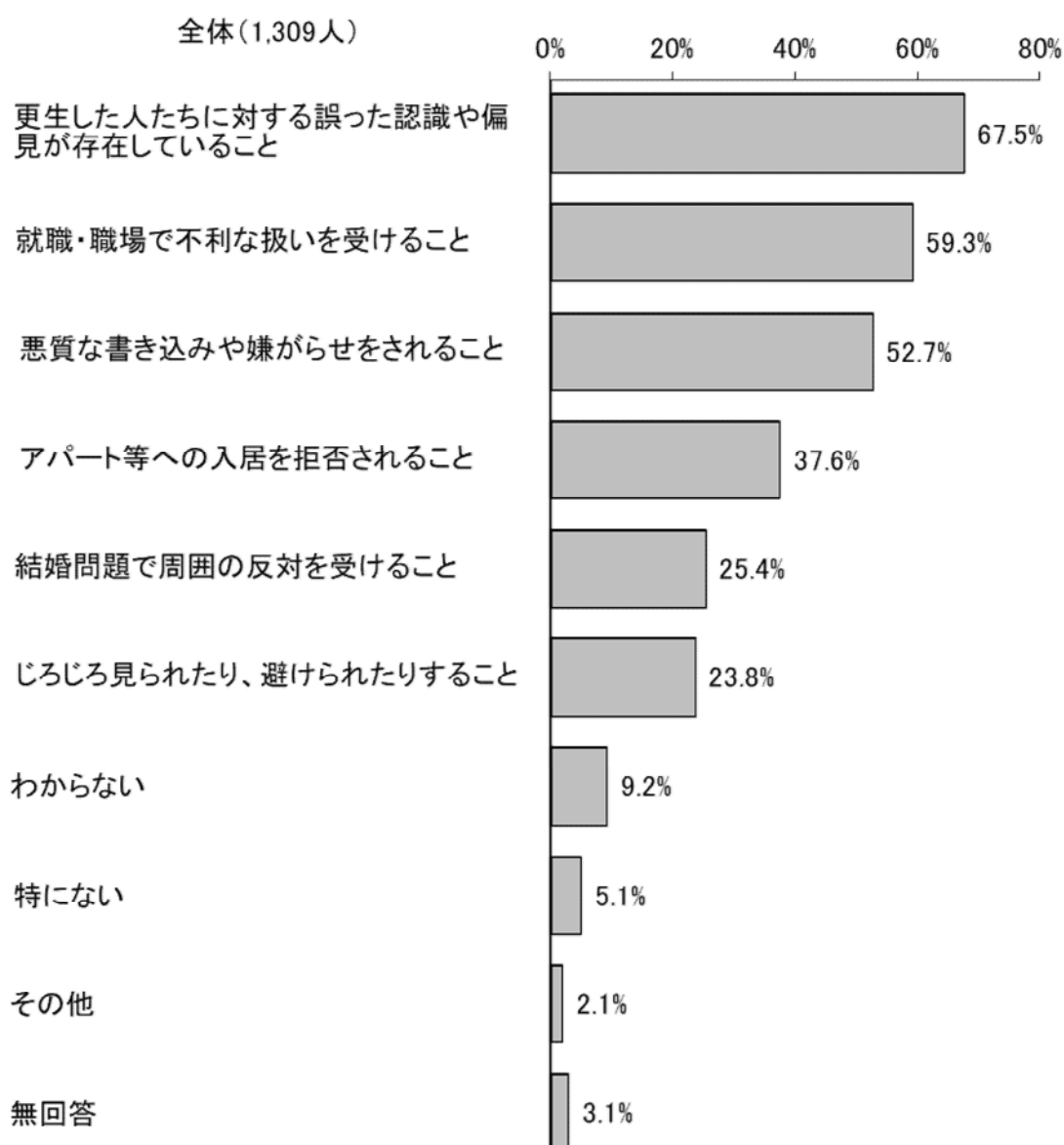
【問27】 刑を終えて出所した人に関する人権上の問題点

罪や非行を犯した後に、罪をつぐなって社会の一員として立ち直ろうとしている人に関する事柄で、あなたが人権上問題があると思われるのはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

「更生した人たちに対する誤った認識や偏見が存在していること」(67.5%)が最も高く、「就職・職場で不利な扱いを受けること」(59.3%)、「悪質な書き込みや嫌がらせをされること」(52.7%)が続きます。

「その他」としては、「当人の家族に対する嫌がらせ」「個人情報を漏らしている人がいること」などの回答がありました。

刑を終えて出所した人に関する人権上の問題点



刑を終えて出所した人に関する人権上の問題点【属性別】

属性		回答内容	更生した人に対する認識や偏見が 存在していること	結婚問題で周囲の 反対を受けること	就職・職場で不利 な扱いを受けること	アパート等への入 居を拒否されること	アルバイト等への入 事拒否されること	り、避けられたり する見られたり	じろ見られたり こと	悪質な書き込みや 嫌がらせをされる こと	その他	特 に ない	わ か ら な い	無 回 答
全体(1,309人)			67.5%	25.4%	59.3%	37.6%	23.8%	52.7%	2.1%	5.1%	9.2%	3.1%		
性別	男性(589人)		66.6%	25.3%	57.0%	34.8%	22.1%	46.5%	2.4%	7.1%	9.2%	3.1%		
	女性(695人)		69.1%	25.8%	61.4%	40.3%	24.7%	58.1%	1.9%	3.6%	9.4%	2.4%		
	その他(4人)		100.0%	75.0%	100.0%	75.0%	75.0%	100.0%	—	—	—	—		
	無回答(21人)		38.1%	9.5%	42.9%	19.0%	28.6%	38.1%	—	—	9.5%	23.8%		
年代別	29歳以下(127人)		64.6%	31.5%	52.8%	29.1%	26.0%	63.8%	0.8%	5.5%	9.4%	2.4%		
	30歳代(123人)		58.5%	27.6%	49.6%	37.4%	21.1%	49.6%	5.7%	8.9%	9.8%	3.3%		
	40歳代(217人)		62.2%	25.3%	52.1%	37.3%	20.3%	53.0%	2.3%	9.2%	12.0%	0.9%		
	50歳代(213人)		63.4%	19.7%	59.2%	31.5%	23.0%	51.6%	1.4%	3.8%	11.3%	1.9%		
	60歳代(247人)		74.9%	21.1%	63.2%	41.7%	26.3%	50.6%	1.2%	3.2%	6.9%	2.4%		
	70歳以上(364人)		73.6%	29.7%	67.3%	42.3%	24.5%	52.5%	2.2%	3.6%	7.4%	4.9%		
	無回答(18人)		38.9%	11.1%	44.4%	22.2%	27.8%	38.9%	—	—	16.7%	16.7%		
職業別	会社員・公務員など(405人)		64.2%	24.0%	51.6%	33.3%	21.5%	50.6%	2.7%	7.7%	9.6%	1.2%		
	契約・派遣社員など(224人)		67.4%	24.6%	59.8%	37.5%	24.6%	54.5%	2.2%	4.0%	9.8%	1.8%		
	自営業等(78人)		69.2%	17.9%	62.8%	38.5%	17.9%	46.2%	3.8%	7.7%	5.1%	5.1%		
	家事に従事(222人)		73.4%	26.6%	66.7%	41.4%	27.0%	57.2%	0.5%	3.6%	8.6%	2.7%		
	学生(42人)		69.0%	40.5%	54.8%	31.0%	31.0%	73.8%	—	2.4%	2.4%	2.4%		
	その他の職業(23人)		78.3%	43.5%	82.6%	60.9%	30.4%	60.9%	—	—	8.7%	—		
	仕事はしていない(294人)		68.0%	26.9%	62.6%	40.5%	23.8%	50.0%	2.0%	4.1%	10.5%	5.4%		
	無回答(21人)		42.9%	9.5%	47.6%	23.8%	23.8%	38.1%	4.8%	—	14.3%	19.0%		
問3(ケ:刑を終えて出所した人)「差別や人権侵害の存在の有無」の回答内容別	多く存在する(590人)		74.6%	31.4%	66.1%	45.3%	26.3%	60.2%	2.4%	3.1%	6.4%	1.9%		
	ある程度存在する(605人)		65.6%	21.7%	56.7%	34.0%	22.6%	49.4%	1.8%	5.5%	10.2%	2.6%		
	存在しない(65人)		43.1%	18.5%	40.0%	15.4%	18.5%	30.8%	3.1%	20.0%	13.8%	7.7%		
	無回答(49人)		38.8%	10.2%	34.7%	18.4%	14.3%	32.7%	—	6.1%	24.5%	16.3%		

性別

「その他」「特にない」を除く全ての回答内容で女性が男性を上回っており、特に「悪質な書き込みや嫌がらせをされること」では女性（58.1%）が男性（46.5%）を11ポイント上回っています。

年代別

「悪質な書き込みや嫌がらせをされること」では29歳以下（63.8%）が他の年代に比べて8ポイント以上高くなっています。

職業別

3つの回答内容で《学生》が他の職業に比べて最も高くなっており、特に「悪質な書き込みや嫌がらせをされること」では他の職業に比べて16ポイント以上高くなっています。

問3（ケ：刑を終えて出所した人）「差別や人権侵害の存在の有無」の回答内容別

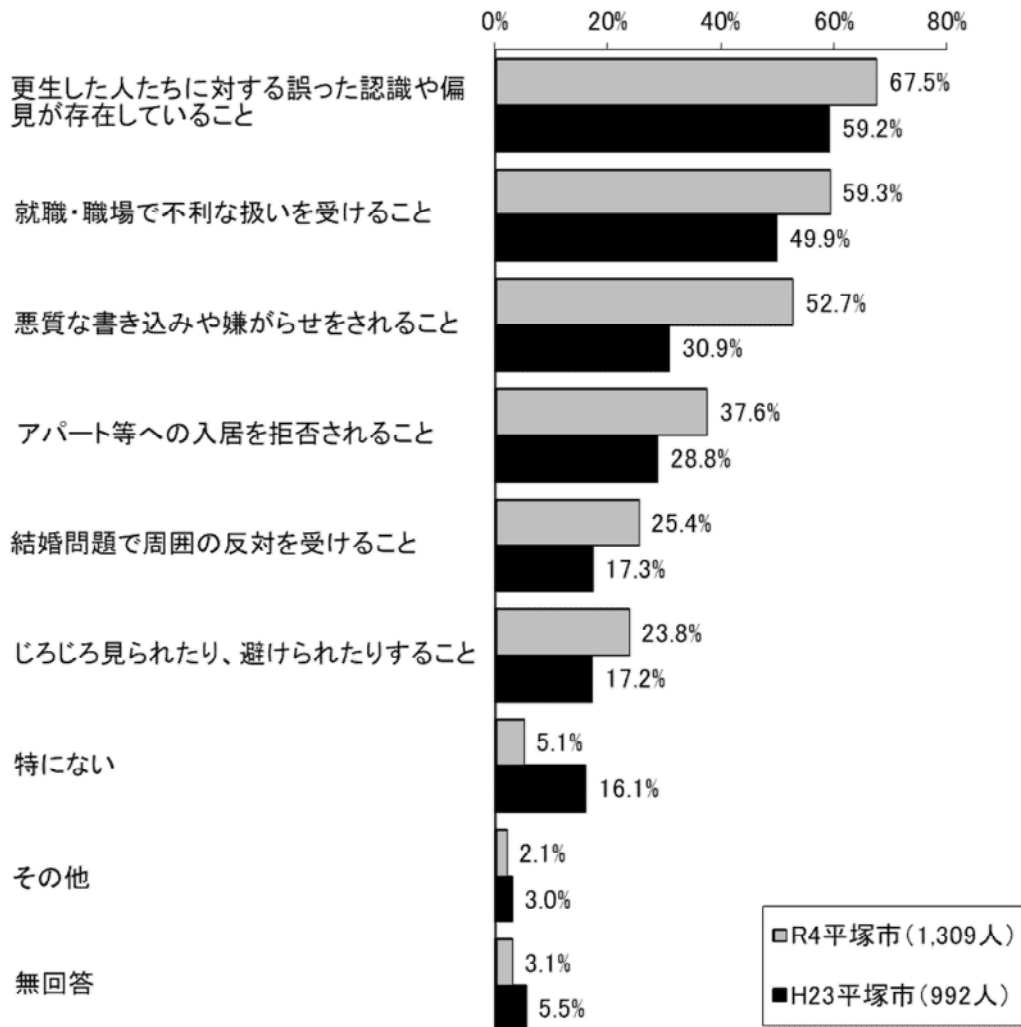
「更生した人たちに対する誤った認識や偏見が存在していること」では人権侵害が《多く存在する》（74.6%）が《存在しない》（43.1%）を31ポイント上回っています。



❖ 前回調査との比較 ❖

刑を終えて出所した人に関する人権上の問題点について、「特にない」「その他」を除く全ての回答内容で前回から上がっており、特に「悪質な書き込みや嫌がらせをされること」は前回から 21 ポイント上がっています。

刑を終えて出所した人に関する人権上の問題点【比較】



(12) 犯罪被害者やその家族の人権について

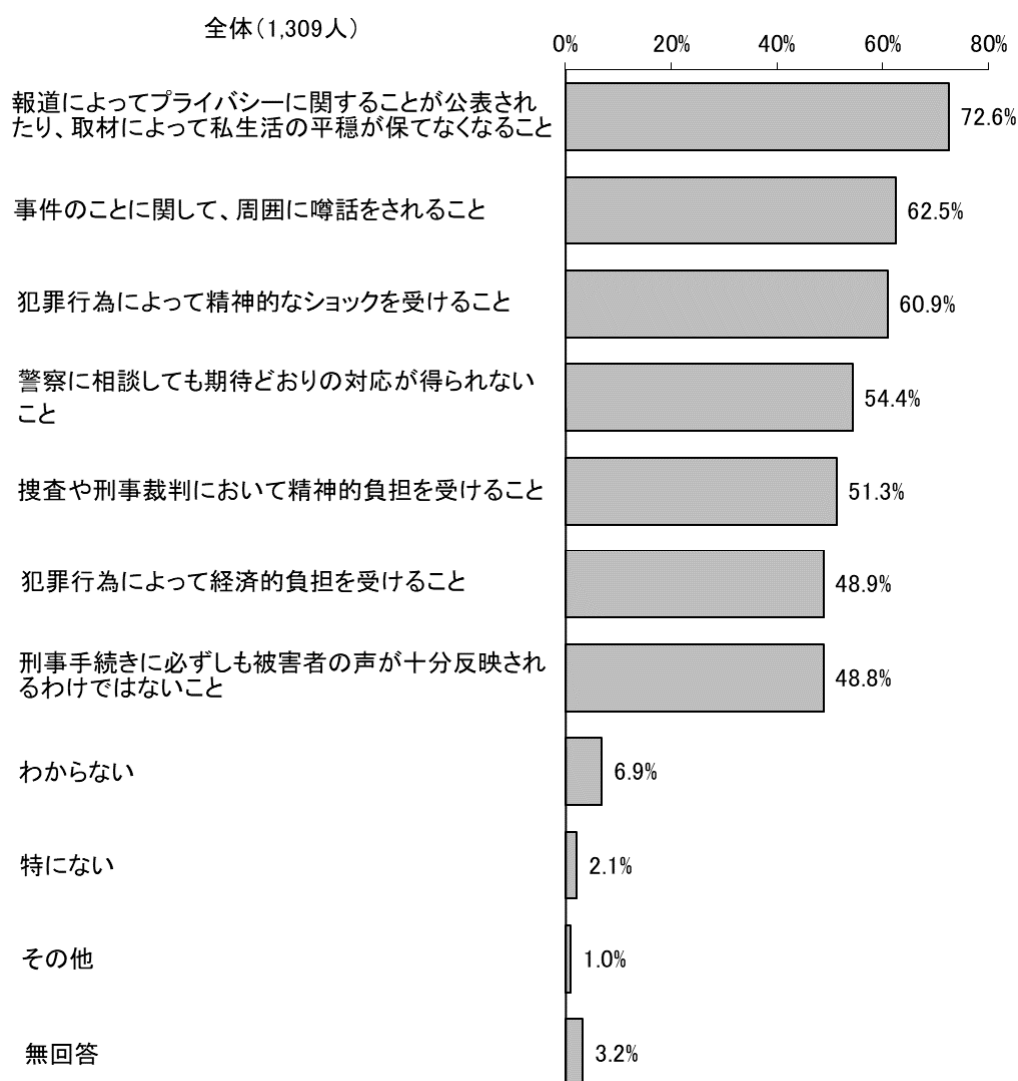
【問 28】 犯罪被害者等に関する人権上の問題点

犯罪被害者等に関する事柄で、あなたが人権上問題があると思われるのはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

「報道によってプライバシーに関することが公表されたり、取材によって私生活の平穩が保てなくなること」(72.6%)が最も高く、「事件のことにに関して、周囲に噂話をされること」(62.5%)、「犯罪行為によって精神的なショックを受けること」(60.9%)が続きます。

「その他」としては、「裁判等に莫大なお金がかかること」「嫌がらせ、職場復帰困難」などの回答がありました。

犯罪被害者等に関する人権上の問題点



犯罪被害者等に関する人権上の問題点【属性別】

属性	回答内容	回答内容							その他	特 に ない	わ か ら ない	無 回 答
		を精神的に 受けること による	犯罪行為 による	経済的負担 による	犯罪行為 による	事件の 周囲に 関する 話	期待ど おりに ないこと	警察に 相談し ても				
全体(1,309人)		60.9%	48.9%	62.5%	54.4%	51.3%	48.8%	72.6%	1.0%	2.1%	6.9%	3.2%
性別	男性(589人)	58.6%	50.4%	57.2%	53.8%	51.3%	48.7%	68.1%	0.5%	3.2%	7.3%	3.2%
	女性(695人)	63.5%	48.2%	67.5%	55.0%	52.1%	49.5%	77.1%	1.4%	1.3%	6.5%	2.6%
	その他(4人)	50.0%	25.0%	75.0%	100.0%	50.0%	50.0%	100.0%	—	—	—	—
	無回答(21人)	42.9%	33.3%	42.9%	42.9%	28.6%	28.6%	42.9%	—	—	9.5%	23.8%
年代別	29歳以下(127人)	59.1%	52.8%	64.6%	62.2%	46.5%	47.2%	64.6%	0.8%	5.5%	7.9%	2.4%
	30歳代(123人)	58.5%	56.1%	69.9%	62.6%	55.3%	59.3%	76.4%	2.4%	3.3%	4.1%	3.3%
	40歳代(217人)	63.6%	54.4%	67.7%	58.5%	58.1%	45.6%	76.5%	1.4%	0.9%	7.4%	0.5%
	50歳代(213人)	66.2%	53.5%	65.3%	58.7%	57.7%	54.9%	78.4%	0.9%	0.5%	7.5%	0.9%
	60歳代(247人)	63.6%	44.9%	61.5%	52.2%	55.1%	50.2%	73.7%	0.4%	2.8%	6.1%	2.8%
	70歳以上(364人)	56.3%	42.0%	55.8%	45.9%	42.0%	43.7%	68.7%	0.8%	1.9%	6.9%	6.0%
	無回答(18人)	50.0%	44.4%	50.0%	44.4%	38.9%	38.9%	50.0%	—	—	16.7%	16.7%
職業別	会社員・公務員など(405人)	63.5%	54.3%	65.7%	59.0%	54.6%	51.6%	74.8%	0.5%	3.0%	5.7%	1.2%
	契約・派遣社員など(224人)	63.4%	48.2%	65.6%	52.7%	54.5%	45.5%	75.9%	2.7%	1.3%	7.1%	1.3%
	自営業等(78人)	53.8%	48.7%	60.3%	48.7%	51.3%	47.4%	66.7%	2.6%	1.3%	6.4%	6.4%
	家事に従事(222人)	65.3%	49.1%	65.8%	51.8%	51.4%	50.9%	79.7%	0.5%	1.4%	4.5%	3.2%
	学生(42人)	61.9%	57.1%	76.2%	71.4%	52.4%	59.5%	61.9%	—	2.4%	2.4%	2.4%
	その他の職業(23人)	73.9%	52.2%	69.6%	73.9%	78.3%	65.2%	87.0%	—	—	4.3%	—
	仕事はしていない(294人)	54.1%	41.2%	52.4%	49.7%	43.2%	44.6%	65.3%	0.7%	2.7%	10.2%	5.8%
	無回答(21人)	42.9%	38.1%	47.6%	42.9%	38.1%	33.3%	47.6%	—	—	19.0%	19.0%
問3(コ: 犯罪被害者等)「差別や人権侵害の有無」の回答内容別	多く存在する(428人)	65.0%	57.0%	70.6%	60.5%	59.8%	57.9%	80.6%	1.2%	1.2%	4.7%	2.3%
	ある程度存在する(698人)	62.3%	46.8%	61.9%	55.0%	50.7%	47.0%	72.6%	0.9%	1.9%	6.0%	2.3%
	存在しない(128人)	50.0%	42.2%	51.6%	42.2%	38.3%	39.1%	57.8%	0.8%	7.0%	10.9%	6.3%
	無回答(55人)	36.4%	27.3%	32.7%	27.3%	23.6%	23.6%	43.6%	1.8%	1.8%	25.5%	14.5%

性別

7つの回答内容で女性が男性を上回っており、特に「事件のことにに関して、周囲に噂話をされること」では女性（67.5%）が男性（57.2%）を10ポイント上回っています。

年代別

5つの回答内容で30歳代が他の年代に比べて最も高くなっています。

職業別

4つの回答内容で《学生》が他の職業に比べて最も高くなっており、特に「警察に相談しても期待どおりの対応が得られないこと」では他の職業に比べて12ポイント以上高くなっています。

問3（コ：犯罪被害者等）「差別や人権侵害の存在の有無」の回答内容別

「捜査や刑事裁判において精神的負担を受けること」では人権侵害が《多く存在する》（59.8%）が《存在しない》（38.3%）を21ポイント上回っています。

また、「事件のことにに関して、周囲に噂話をされること」「報道によってプライバシーに関することが公表されたり、取材によって私生活の平穏が保てなくなること」では人権侵害が《存在しない》でも5割を超えています。

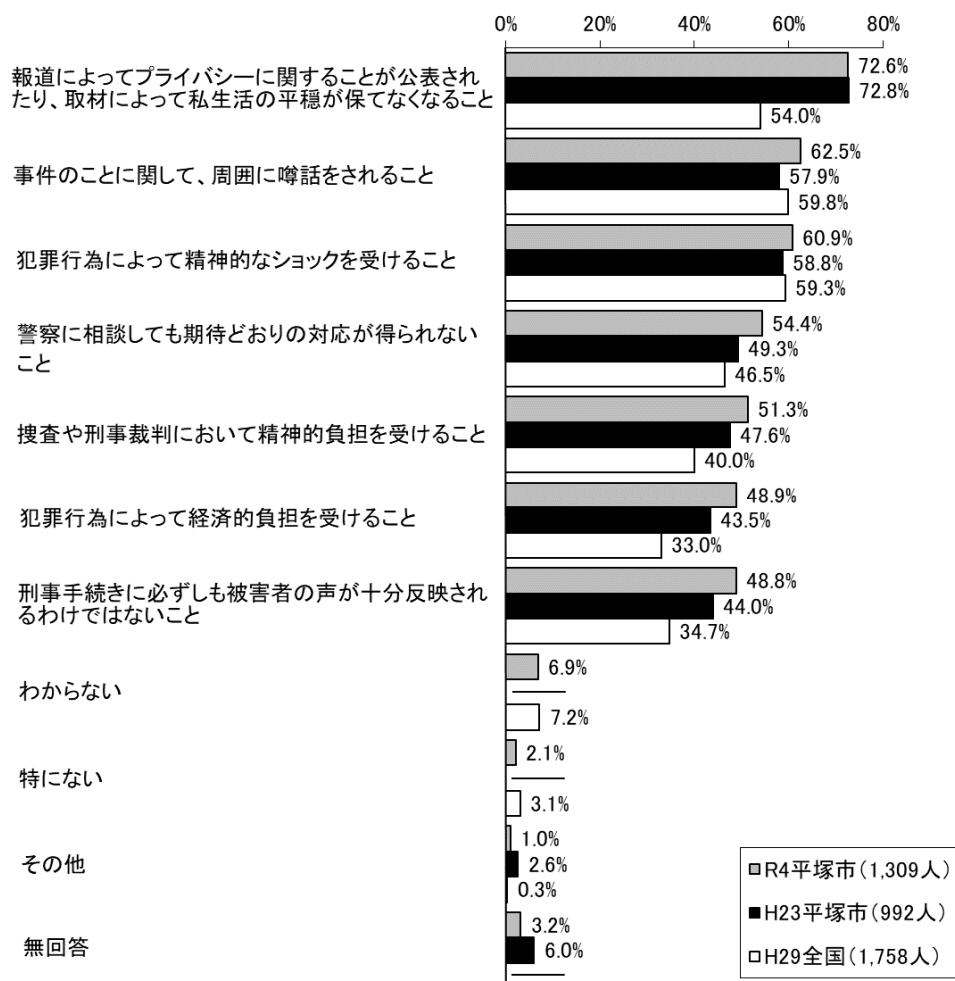


❖ 前回調査・全国調査との比較 ❖

犯罪被害者等に関する人権上の問題点について、前回調査と比較すると、「報道によってプライバシーに関することが公表されたり、取材によって私生活の平穏が保てなくなること」「その他」を除く全ての回答内容で前回から上がっています。

全国調査と比較すると、「特にない」を除く全ての回答内容で平塚市が全国を上回っており、特に「報道によってプライバシーに関することが公表されたり、取材によって私生活の平穏が保てなくなること」では平塚市が全国を18ポイント上回っています。

犯罪被害者等に関する人権上の問題点【比較】



※前回調査では「特にない」「わからない」という回答内容を設定していなかった。

(13) ホームレスの人権について

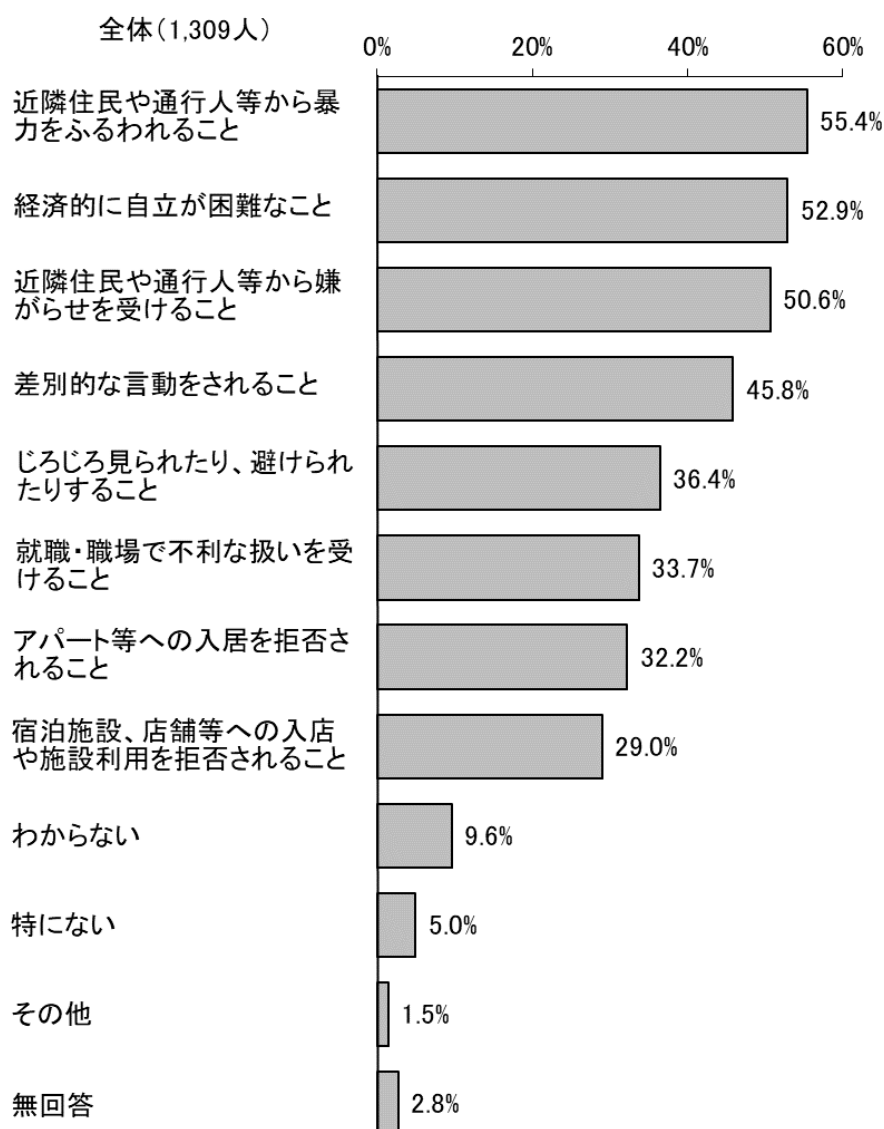
【問 29】 ホームレスに関する人権上の問題点

ホームレスに関する事柄で、あなたが人権上問題があると思われるのはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

「近隣住民や通行人等から暴力をふるわれること」(55.4%)が最も高く、「経済的に自立が困難なこと」(52.9%)、「近隣住民や通行人等から嫌がらせを受けること」(50.6%)が続きます。

「その他」としては、「ホームレスになる前に頼れる支援や制度を知らないこと」「行政による自立支援等が十分でないこと」などの回答がありました。

ホームレスに関する人権上の問題点



ホームレスに関する人権上の問題点【属性別】

属性		回答内容	近隣住民や通行人等から嫌がらせを受け	近隣住民や通行人等から暴力をふるわれ	近隣住民や通行人等から暴力をふるわれ	就業・職場で不利な扱いを受けること	差別的な言動をされること	アパート等への入居を拒否されること	宿泊施設、店舗等への入店や施設利用を拒否されること	宿泊施設、店舗等への入店や施設利用を拒否されること	り、避けられたりたす	な経済的に自立が困難	その他	特にな	わからない	無回答
全体(1,309人)			50.6%	55.4%	33.7%	45.8%	32.2%	29.0%	36.4%	52.9%	1.5%	5.0%	9.6%	2.8%		
性別	男性(589人)		49.6%	53.8%	35.5%	43.0%	32.9%	30.2%	34.3%	49.9%	1.0%	7.0%	10.2%	1.9%		
	女性(695人)		51.9%	57.1%	32.4%	48.5%	31.9%	28.2%	38.3%	55.5%	1.9%	3.5%	9.5%	2.6%		
	その他(4人)		100.0%	100.0%	50.0%	75.0%	50.0%	75.0%	100.0%	100.0%	—	—	—	—		
	無回答(21人)		28.6%	33.3%	23.8%	33.3%	19.0%	9.5%	23.8%	38.1%	—	—	—	33.3%		
年代別	29歳以下(127人)		57.5%	56.7%	34.6%	55.1%	29.9%	26.8%	48.0%	51.2%	1.6%	3.9%	9.4%	2.4%		
	30歳代(123人)		52.8%	58.5%	35.0%	51.2%	35.0%	31.7%	44.7%	56.9%	1.6%	6.5%	5.7%	2.4%		
	40歳代(217人)		53.0%	60.4%	34.6%	42.9%	29.0%	24.9%	33.2%	44.7%	2.3%	5.1%	11.5%	—		
	50歳代(213人)		48.8%	55.4%	30.5%	44.1%	25.8%	22.5%	33.3%	52.6%	1.9%	2.3%	12.2%	0.9%		
	60歳代(247人)		49.0%	55.9%	29.6%	45.3%	34.8%	29.1%	37.7%	54.7%	0.4%	5.7%	8.1%	1.2%		
	70歳以上(364人)		49.5%	51.6%	37.6%	44.5%	36.8%	35.7%	33.0%	56.6%	1.4%	6.0%	9.3%	5.5%		
	無回答(18人)		27.8%	33.3%	22.2%	33.3%	16.7%	11.1%	27.8%	38.9%	—	—	11.1%	27.8%		
職業別	会社員・公務員など(405人)		52.1%	56.5%	31.4%	44.4%	28.1%	23.7%	34.6%	49.1%	1.7%	6.7%	9.9%	1.0%		
	契約・派遣社員など(224人)		49.6%	57.6%	33.5%	46.4%	33.5%	29.9%	39.3%	49.6%	2.7%	3.1%	10.3%	0.4%		
	自営業等(78人)		43.6%	51.3%	30.8%	35.9%	30.8%	23.1%	33.3%	59.0%	1.3%	3.8%	7.7%	3.8%		
	家事に従事(222人)		50.5%	55.9%	31.1%	49.5%	31.1%	28.4%	38.3%	57.7%	—	3.6%	9.5%	2.7%		
	学生(42人)		69.0%	61.9%	42.9%	69.0%	35.7%	35.7%	57.1%	57.1%	—	—	4.8%	—		
	その他の職業(23人)		60.9%	78.3%	39.1%	60.9%	47.8%	52.2%	39.1%	69.6%	—	—	4.3%	—		
	仕事はしていない(294人)		49.7%	52.0%	39.1%	43.2%	37.1%	35.7%	33.3%	54.1%	1.4%	6.8%	10.9%	5.4%		
	無回答(21人)		28.6%	28.6%	19.0%	38.1%	23.8%	14.3%	33.3%	42.9%	4.8%	—	4.8%	28.6%		
問3(シ:ホームレス)「差別や人権侵害の存在の有無」の回答内容別	多く存在する(555人)		58.2%	59.1%	39.3%	53.3%	35.3%	34.6%	43.2%	60.4%	0.9%	3.1%	7.9%	1.4%		
	ある程度存在する(644人)		48.4%	55.9%	31.4%	42.4%	32.0%	26.2%	33.1%	49.4%	1.6%	5.4%	9.5%	1.9%		
	存在しない(65人)		32.3%	43.1%	20.0%	35.4%	18.5%	20.0%	27.7%	38.5%	4.6%	13.8%	16.9%	6.2%		
	無回答(45人)		15.6%	20.0%	17.8%	17.8%	17.8%	11.1%	13.3%	31.1%	2.2%	8.9%	22.2%	26.7%		

性別

6つの回答内容で女性が男性を上回っています。

年代別

「近隣住民や通行人等から嫌がらせを受けること」「差別的な言動をされること」「じろじろ見られたり、避けられたりすること」では29歳以下が、「就職・職場で不利な扱いを受けること」「アパート等への入居を拒否されること」「宿泊施設、店舗等への入店や施設利用を拒否されること」では70歳以上が他の年代に比べて最も高くなっています。

職業別

6つの回答内容で《学生》が他の職業に比べて高くなっており、特に「差別的な言動をされること」では他の職業に比べて19ポイント以上高くなっています。

問3（シ：ホームレス）「差別や人権侵害の存在の有無」の回答内容別

「近隣住民や通行人等から嫌がらせを受けること」では人権侵害が《多く存在する》（58.2%）が《存在しない》（32.3%）を25ポイント上回っています。

また、「近隣住民や通行人等から暴力をふるわれること」では人権侵害が《存在しない》（43.1%）でも4割を超えています。

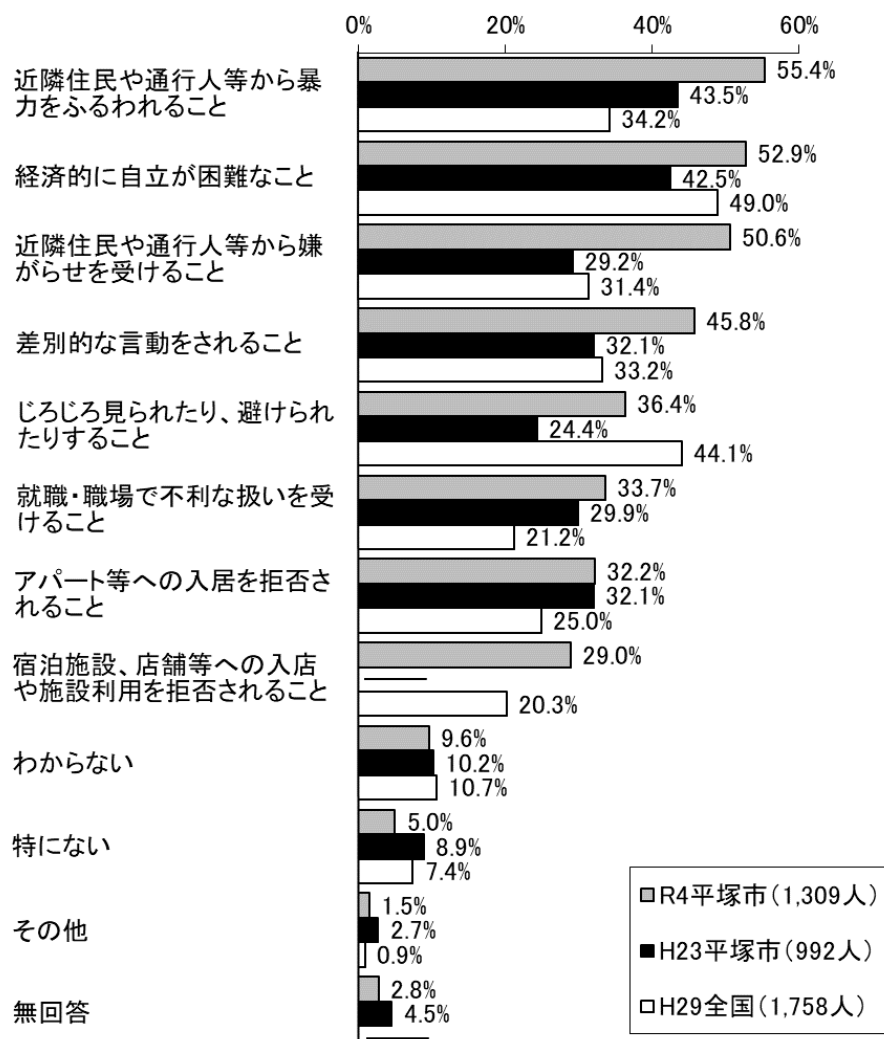


❖ 前回調査・全国調査との比較 ❖

ホームレスに関する人権上の問題点について、前回調査と比較すると、「特にない」「その他」を除く全ての回答内容で前回から上がっており、特に「近隣住民や通行人等から嫌がらせを受けること」では前回から21ポイント上がっています。

全国調査と比較すると、「じろじろ見られたり、避けられたりすること」「特にない」を除く全ての回答内容で平塚市が全国を上回っており、特に「近隣住民等から暴力をふるわれること」では平塚市が全国を21ポイント上回っています。

ホームレスに関する人権上の問題点【比較】



(14) 自殺・自死遺族の人権について

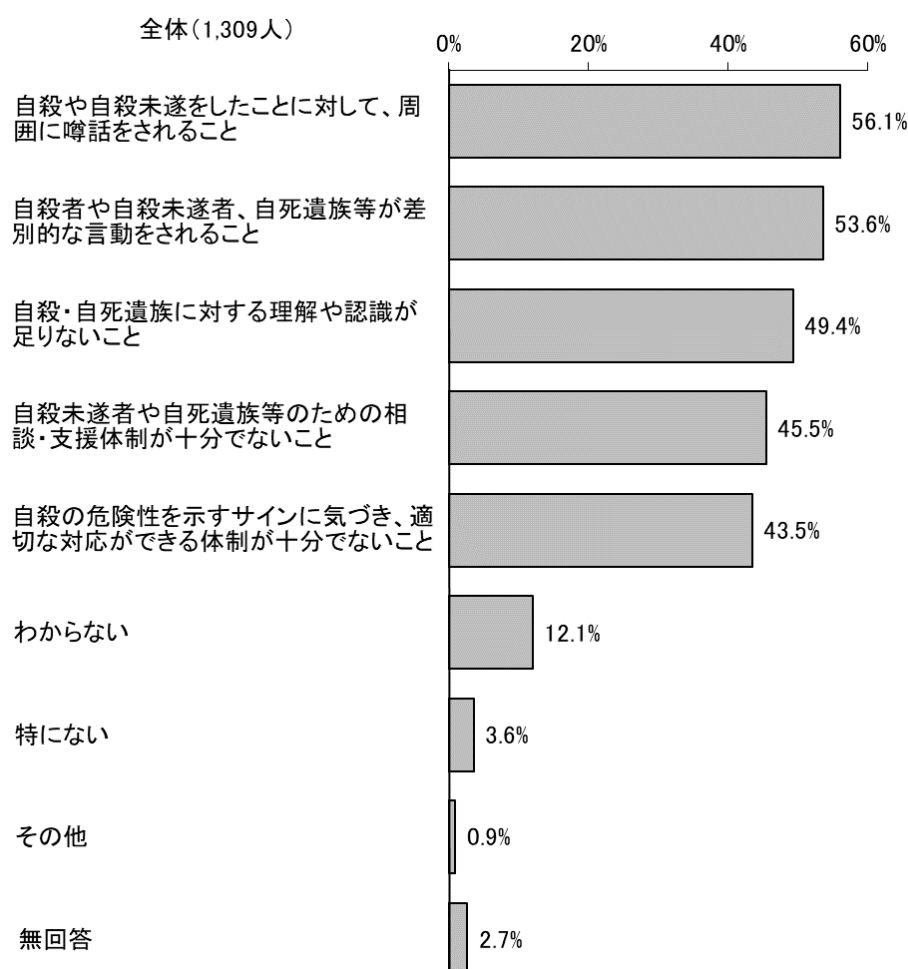
【問 30】 自殺・自死遺族に関する人権上の問題点

自殺・自死遺族に関する事柄で、あなたが人権上問題があると思われるのはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

「自殺や自殺未遂をしたことに対して、周囲に噂話をされること」(56.1%)が最も高く、「自殺者や自殺未遂者、自死遺族等が差別的な言動をされること」(53.6%)、「自殺・自死遺族に対する理解や認識が足りないこと」(49.4%)が続きます。

「その他」としては、「経済的に困窮していることが多い」「マスコミの自己本位な報道」などの回答がありました。

自殺・自死遺族に関する人権上の問題点



自殺・自死遺族に関する人権上の問題点【属性別】

属性		回答内容	と自殺や自死をされること	自殺者や遺族等が差別されること	自殺の危険性を示すサインが十分でないこと	自殺未遂者や自死遺族等との相談・支援体制が十分でないこと	自殺・自死遺族に対する理解や認識が足りないこと	その他	特になし	わからない	無回答
全体(1,309人)			56.1%	53.6%	43.5%	45.5%	49.4%	0.9%	3.6%	12.1%	2.7%
性別	男性(589人)		51.6%	53.0%	46.2%	46.5%	47.5%	0.7%	5.3%	12.1%	2.0%
	女性(695人)		60.9%	54.7%	41.0%	45.0%	50.9%	1.2%	2.3%	12.5%	2.3%
	その他(4人)		50.0%	75.0%	75.0%	25.0%	100.0%	—	—	—	—
	無回答(21人)		23.8%	33.3%	42.9%	38.1%	38.1%	—	—	4.8%	33.3%
年代別	29歳以下(127人)		57.5%	59.8%	48.8%	45.7%	55.1%	—	2.4%	14.2%	1.6%
	30歳代(123人)		61.8%	60.2%	44.7%	43.1%	52.0%	4.1%	4.1%	8.1%	2.4%
	40歳代(217人)		59.9%	52.1%	41.9%	37.3%	48.4%	0.5%	3.2%	14.3%	0.9%
	50歳代(213人)		56.3%	53.5%	44.1%	44.6%	50.7%	0.9%	2.8%	11.7%	0.9%
	60歳代(247人)		55.9%	51.8%	40.5%	50.2%	51.8%	0.4%	4.0%	12.1%	1.2%
	70歳以上(364人)		52.7%	52.2%	44.0%	48.6%	44.8%	0.8%	4.4%	11.8%	4.9%
	無回答(18人)		27.8%	38.9%	38.9%	44.4%	44.4%	—	—	11.1%	27.8%
職業別	会社員・公務員など(405人)		55.3%	53.1%	45.9%	44.7%	48.6%	0.7%	4.7%	11.4%	0.7%
	契約・派遣社員など(224人)		61.6%	55.8%	43.8%	46.4%	50.0%	1.3%	3.1%	11.6%	0.4%
	自営業等(78人)		44.9%	42.3%	34.6%	39.7%	52.6%	—	5.1%	11.5%	5.1%
	家事に従事(222人)		57.7%	54.5%	36.0%	41.4%	48.2%	0.9%	3.2%	14.0%	2.7%
	学生(42人)		66.7%	69.0%	59.5%	54.8%	57.1%	—	—	4.8%	—
	その他の職業(23人)		73.9%	73.9%	52.2%	65.2%	56.5%	—	—	8.7%	—
	仕事はしていない(294人)		54.1%	52.7%	45.6%	48.0%	48.6%	1.0%	3.4%	13.6%	5.1%
	無回答(21人)		23.8%	33.3%	33.3%	42.9%	42.9%	4.8%	—	14.3%	28.6%
問3(※:自殺・自死遺族)「差別や人権侵害の存在の有無」の回答内容別	多く存在する(294人)		65.3%	67.0%	58.2%	56.5%	63.6%	1.0%	1.7%	8.2%	1.0%
	ある程度存在する(783人)		58.4%	54.5%	42.7%	47.3%	49.6%	0.9%	2.0%	9.7%	2.3%
	存在しない(175人)		43.4%	36.6%	30.9%	29.1%	33.7%	0.6%	14.3%	21.7%	1.7%
	無回答(57人)		15.8%	24.6%	17.5%	15.8%	21.1%	1.8%	1.8%	36.8%	19.3%

性別

「自殺や自殺未遂をしたことに対して、周囲に噂話をされること」では女性（60.9%）が男性（51.6%）を9ポイント上回っています。

年代別

3つの回答内容で30歳代が他の年代に比べて最も高くなっています。

また、「自殺や自殺未遂をしたことに対して、周囲に噂話をされること」では30歳代（61.8%）が他の年代に比べて最も高く、年代が上がるとともに減少しています。

職業別

「その他」「特になし」を除く全ての回答内容で《学生》が他の職業に比べて最も高くなっており、特に「自殺者や自殺未遂者、自死遺族等が差別的な言動をされること」「自殺の危険性を示すサインに気づき、適切な対応ができる体制が十分でないこと」では他の職業に比べてそれぞれ13ポイント以上高くなっています。

問3（タ：自殺・自死遺族）「差別や人権侵害の存在の有無」の回答内容別

「自殺者や自殺未遂者、自死遺族等が差別的な言動をされること」では人権侵害が《多く存在する》（67.0%）が《存在しない》（36.6%）を30ポイント上回っています。



(15) 災害発生時における人権侵害について

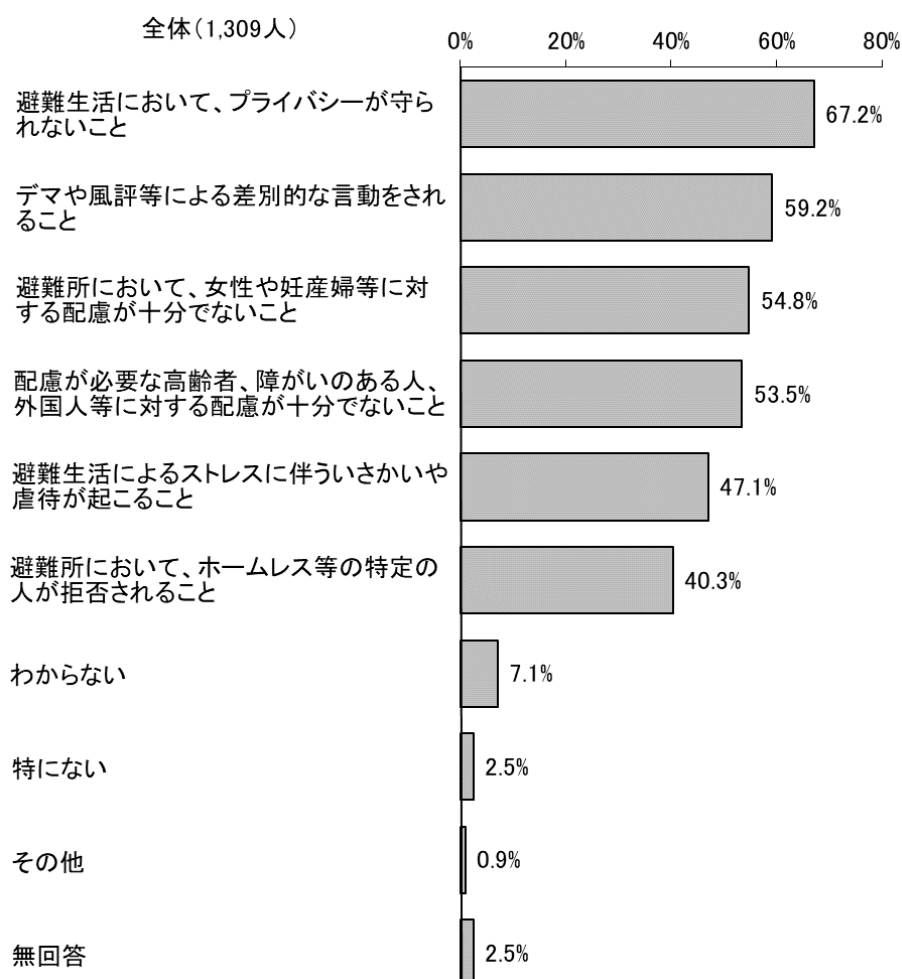
【問31】 災害発生時における人権侵害に関する問題点

災害発生時における人権侵害に関する事柄で、あなたが人権上問題があると思われるのはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

「避難生活において、プライバシーが守られないこと」(67.2%)が最も高く、「デマや風評等による差別的な言動をされること」(59.2%)、「避難所において、女性や妊産婦等に対する配慮が十分でないこと」(54.8%)が続きます。

「その他」としては、「避難所での性被害」「災害地を狙い犯罪をしようとする者がいること」などの回答がありました。

災害発生時における人権侵害に関する問題点



災害発生時における人権侵害に関する問題点【属性別】

属性		回答内容									
		とイ避 バ難 シ生 ー活 が 守 ら れ な い 、 プ ラ	的デ なマ 言や 動風 を評 さ等 れるによる こと差別	配の 慮あ がる が人 十分、 で外 ない国 こと人 等 に 対 す る	配の 慮あ が必 要な 高 齢 者 、 障 が い	十妊 分産 で婦 ない等 こと に 対 す る	避 難 所 に お い て 、 女 性 や	さレ れるス こと等の 特定 の人 が 拒 否	起に こ伴 る難 こと生 活 に よ る ス ト レ ス	その他	特 に な い
全体(1,309人)		67.2%	59.2%	53.5%	54.8%	40.3%	47.1%	0.9%	2.5%	7.1%	2.5%
性別	男性(589人)	63.5%	59.9%	50.8%	51.6%	39.4%	44.7%	0.7%	3.4%	8.3%	1.7%
	女性(695人)	71.2%	58.7%	56.1%	57.8%	41.3%	49.4%	1.2%	1.9%	6.3%	2.3%
	その他(4人)	75.0%	100.0%	75.0%	100.0%	75.0%	100.0%	—	—	—	—
	無回答(21人)	33.3%	47.6%	38.1%	33.3%	28.6%	28.6%	—	—	—	33.3%
年代別	29歳以下(127人)	60.6%	63.8%	46.5%	58.3%	38.6%	52.0%	—	2.4%	8.7%	2.4%
	30歳代(123人)	65.9%	71.5%	49.6%	58.5%	39.8%	53.7%	1.6%	2.4%	4.9%	1.6%
	40歳代(217人)	66.4%	66.4%	44.7%	53.9%	38.7%	44.7%	1.4%	2.3%	11.1%	0.5%
	50歳代(213人)	69.5%	59.2%	49.3%	57.3%	35.2%	52.6%	0.9%	0.5%	7.0%	1.4%
	60歳代(247人)	72.9%	59.5%	57.9%	55.9%	39.3%	43.7%	—	2.4%	5.7%	1.2%
	70歳以上(364人)	66.5%	49.2%	62.4%	51.1%	46.2%	44.2%	1.4%	4.1%	6.0%	4.4%
	無回答(18人)	38.9%	55.6%	44.4%	44.4%	33.3%	33.3%	—	—	5.6%	27.8%
職業別	会社員・公務員など(405人)	67.4%	64.4%	47.7%	53.8%	36.8%	48.4%	1.0%	2.5%	7.2%	1.0%
	契約・派遣社員など(224人)	67.0%	62.9%	47.8%	50.9%	39.3%	45.1%	1.8%	2.2%	8.0%	0.4%
	自営業等(78人)	60.3%	48.7%	53.8%	52.6%	33.3%	47.4%	—	3.8%	5.1%	3.8%
	家事に従事(222人)	73.4%	59.0%	61.3%	59.9%	41.4%	47.7%	—	2.3%	5.0%	2.7%
	学生(42人)	69.0%	69.0%	59.5%	69.0%	47.6%	54.8%	—	—	4.8%	—
	その他の職業(23人)	69.6%	60.9%	73.9%	65.2%	65.2%	65.2%	—	4.3%	—	—
	仕事はしていない(294人)	65.6%	51.4%	58.5%	54.1%	44.9%	44.6%	1.4%	3.1%	9.2%	4.4%
	無回答(21人)	38.1%	47.6%	38.1%	38.1%	28.6%	33.3%	—	—	9.5%	28.6%
問3(「災害発生時」差別や人権侵害の存在の有無)の回答内容別	多く存在する(300人)	77.7%	73.0%	64.3%	65.3%	48.0%	60.7%	1.3%	0.7%	4.0%	1.7%
	ある程度存在する(755人)	69.1%	59.6%	54.4%	56.3%	39.6%	46.5%	0.8%	1.6%	5.4%	2.1%
	存在しない(200人)	51.5%	48.0%	39.0%	40.5%	37.5%	35.5%	0.5%	8.0%	13.5%	2.0%
	無回答(54人)	38.9%	18.5%	33.3%	27.8%	18.5%	22.2%	1.9%	5.6%	24.1%	14.8%

性別

「デマや風評等による差別的な言動をされること」「特にない」を除く全ての回答内容で女性が男性を上回っており、特に「避難生活において、プライバシーが守られないこと」では女性（71.2%）が男性（63.5%）を7ポイント上回っています。

年代別

4つの回答内容で30歳代が他の年代に比べて最も高くなっています。

職業別

4つの回答内容で《学生》が他の職業に比べて最も高くなっており、特に「避難所において、女性や妊産婦等に対する配慮が十分でないこと」では他の職業に比べて9ポイント以上高くなっています。

問3（チ：災害発生時における人権侵害）「差別や人権侵害の存在の有無」の回答内容別

「避難生活において、プライバシーが守られないこと」では人権侵害が《多く存在する》（77.7%）が《存在しない》（51.5%）を26ポイント上回っています。

また、「避難生活において、プライバシーが守られないこと」では人権侵害が《存在しない》（51.5%）でも5割を超えています。



3. 人権課題の解決のための方策について

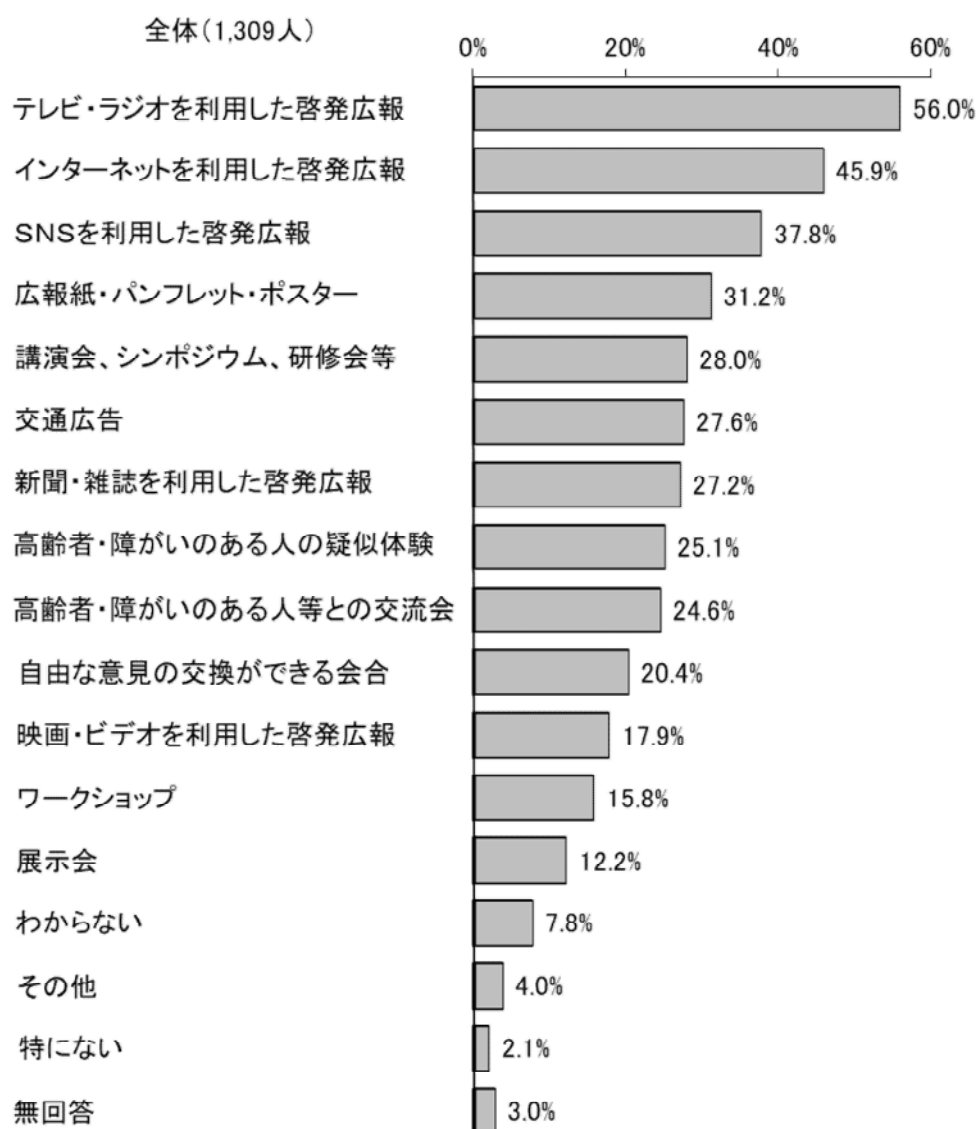
【問 32】 効果的な啓発広報活動

人権啓発を推進するためには、あなたはどのような啓発広報活動が効果的だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

「テレビ・ラジオを利用した啓発広報」（56.0%）が最も高く、「インターネットを利用した啓発広報」（45.9%）、「SNS（ラインやツイッター等）を利用した啓発広報」（37.8%）が続きます。

「その他」としては、「幼少期からの教育」「世代別の効果的な啓蒙」などの回答がありました。

効果的な啓発広報活動



効果的な啓発広報活動【属性別】

属性		回答内容																
		講演会、シンポジウム、研修会等	展示会	広報紙・パンフレット・ポスター	テレビ・ラジオを利用した啓発広報	映画・ビデオを利用した啓発広報	新聞・雑誌を利用した啓発広報	インターネットを利用した啓発広報	SNSを利用した啓発広報	交通広告	ワークショップ	高齢者・障がいのある人の疑似体験	高齢者・障がいのある人等との交流会	自由な意見の交換ができる会合	その他	特になし	わからない	無回答
全体(1,309人)		28.0%	12.2%	31.2%	56.0%	17.9%	27.2%	45.9%	37.8%	27.6%	15.8%	25.1%	24.6%	20.4%	4.0%	2.1%	7.8%	3.0%
性別	男性(589人)	32.8%	13.9%	27.0%	57.0%	16.3%	29.0%	47.5%	36.2%	23.4%	15.1%	22.1%	23.8%	19.4%	4.2%	2.9%	6.3%	2.9%
	女性(695人)	24.3%	11.1%	35.1%	56.4%	19.6%	25.9%	45.0%	39.4%	31.2%	16.3%	28.1%	25.5%	21.6%	3.7%	1.6%	8.9%	2.2%
	その他(4人)	50.0%	—	25.0%	25.0%	—	—	50.0%	75.0%	25.0%	75.0%	50.0%	25.0%	25.0%	—	—	—	—
	無回答(21人)	14.3%	4.8%	23.8%	19.0%	9.5%	23.8%	28.6%	23.8%	23.8%	9.5%	9.5%	19.0%	9.5%	4.8%	—	14.3%	33.3%
年代別	29歳以下(127人)	21.3%	6.3%	19.7%	56.7%	27.6%	19.7%	53.5%	63.8%	39.4%	8.7%	22.8%	20.5%	20.5%	4.7%	2.4%	12.6%	0.8%
	30歳代(123人)	22.0%	12.2%	20.3%	57.7%	35.0%	22.8%	59.3%	64.2%	35.8%	17.9%	27.6%	25.2%	18.7%	7.3%	3.3%	4.9%	0.8%
	40歳代(217人)	22.1%	12.9%	25.3%	47.9%	18.9%	20.7%	57.6%	46.1%	26.3%	18.4%	29.0%	29.0%	16.1%	4.1%	2.8%	9.7%	—
	50歳代(213人)	25.4%	12.7%	30.0%	56.3%	17.8%	25.4%	51.6%	39.0%	30.5%	14.6%	25.4%	22.1%	15.0%	4.7%	0.9%	7.0%	3.3%
	60歳代(247人)	32.0%	12.1%	30.8%	59.1%	12.6%	25.5%	44.5%	30.8%	28.3%	19.4%	25.1%	27.5%	24.3%	3.2%	2.0%	7.3%	0.8%
	70歳以上(364人)	35.4%	14.0%	43.7%	59.1%	12.1%	37.1%	29.9%	19.5%	19.2%	14.6%	23.1%	23.1%	24.5%	2.5%	2.2%	6.3%	6.0%
	無回答(18人)	16.7%	5.6%	27.8%	27.8%	11.1%	33.3%	33.3%	27.8%	27.8%	11.1%	16.7%	16.7%	11.1%	5.6%	—	16.7%	33.3%
職業別	会社員・公務員など(405人)	24.7%	10.4%	19.3%	56.0%	19.8%	20.7%	54.1%	47.4%	27.4%	14.3%	23.0%	23.2%	17.5%	4.4%	2.2%	7.7%	0.7%
	契約・派遣社員など(224人)	25.9%	12.5%	36.2%	58.0%	21.9%	25.0%	47.8%	37.1%	32.6%	16.5%	25.9%	29.0%	16.5%	5.4%	1.8%	8.9%	1.3%
	自営業等(78人)	19.2%	10.3%	32.1%	43.6%	11.5%	25.6%	43.6%	39.7%	20.5%	19.2%	23.1%	24.4%	26.9%	2.6%	1.3%	9.0%	—
	家事に従事(222人)	26.6%	12.6%	37.4%	60.8%	16.7%	33.8%	43.7%	33.3%	31.1%	16.2%	26.6%	22.1%	21.6%	3.2%	1.4%	7.2%	4.1%
	学生(42人)	31.0%	7.1%	28.6%	66.7%	33.3%	26.2%	64.3%	69.0%	45.2%	16.7%	31.0%	31.0%	21.4%	7.1%	2.4%	9.5%	—
	その他の職業(23人)	52.2%	17.4%	30.4%	60.9%	17.4%	30.4%	47.8%	30.4%	34.8%	39.1%	69.6%	52.2%	39.1%	4.3%	8.7%	—	—
	仕事はしていない(294人)	35.7%	15.6%	39.5%	53.7%	13.3%	33.0%	34.0%	25.2%	20.4%	13.9%	23.8%	22.4%	23.5%	2.7%	2.7%	7.5%	5.8%
	無回答(21人)	23.8%	4.8%	33.3%	33.3%	9.5%	28.6%	28.6%	23.8%	23.8%	19.0%	9.5%	19.0%	14.3%	4.8%	—	9.5%	33.3%
問4「人権侵害を受けた経験」の回答内容別	ある(462人)	27.3%	12.3%	30.7%	58.9%	20.8%	26.2%	48.9%	42.4%	30.1%	19.9%	31.2%	28.4%	26.0%	3.9%	1.5%	7.1%	1.7%
	ない(801人)	29.0%	12.2%	32.1%	55.6%	16.7%	28.2%	45.3%	35.7%	26.7%	13.6%	22.0%	23.1%	17.7%	4.1%	2.2%	8.2%	2.4%
	無回答(46人)	19.6%	10.9%	21.7%	34.8%	8.7%	19.6%	26.1%	28.3%	17.4%	13.0%	19.6%	13.0%	10.9%	2.2%	6.5%	6.5%	26.1%

性別

「講演会、シンポジウム、研修会等」では男性（32.8%）が女性（24.3%）を8ポイント上回っており、「広報紙・パンフレット・ポスター」では女性（35.1%）が男性（27.0%）を8ポイント上回っています。

年代別

6つの回答内容で70歳以上が他の年代に比べて最も高くなっており、特に「広報紙・パンフレット・ポスター」では他の年代に比べて12ポイント以上高くなっています。

また、「講演会、シンポジウム、研修会等」では年代が上がるとともに増加しており、70歳以上（35.4%）が他の年代に比べて最も高くなっています。

一方、「インターネットを利用した啓発広報」「SNS（ラインやツイッター等）を利用した啓発広報」では30歳代から年代が上がるとともに減少しています。

職業別

8つの回答内容で《学生》が他の職業に比べて最も高くなっており、特に「SNS（ラインやツイッター等）を利用した啓発広報」では他の職業に比べて21ポイント以上高くなっています。

問4「人権侵害を受けた経験」の回答内容別

「高齢者・障がいのある人の疑似体験」では人権侵害を受けた経験が《ある》（31.2%）が《ない》（22.0%）を9ポイント上回っています。

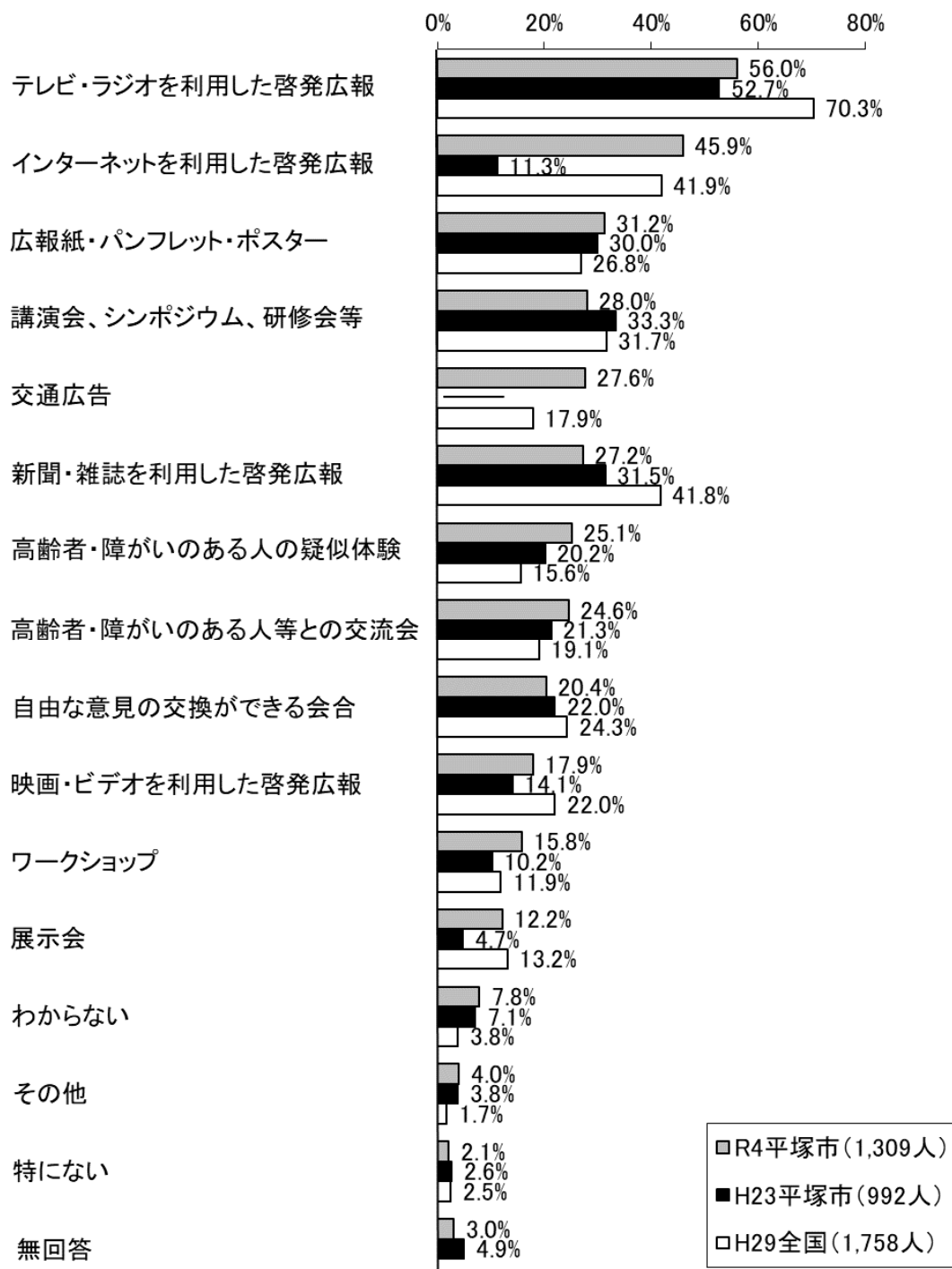


❖ 前回調査・全国調査との比較 ❖

効果的な啓発広報活動について、前回調査と比較すると、9つの回答内容で前回から上がっており、特に「インターネットを利用した啓発広報」では前回から34ポイント上がっています。

全国調査と比較すると、「テレビ・ラジオを利用した啓発広報」「新聞・雑誌を利用した啓発広報」では平塚市が全国を14ポイント下回っています。

効果的な啓発広報活動【比較】



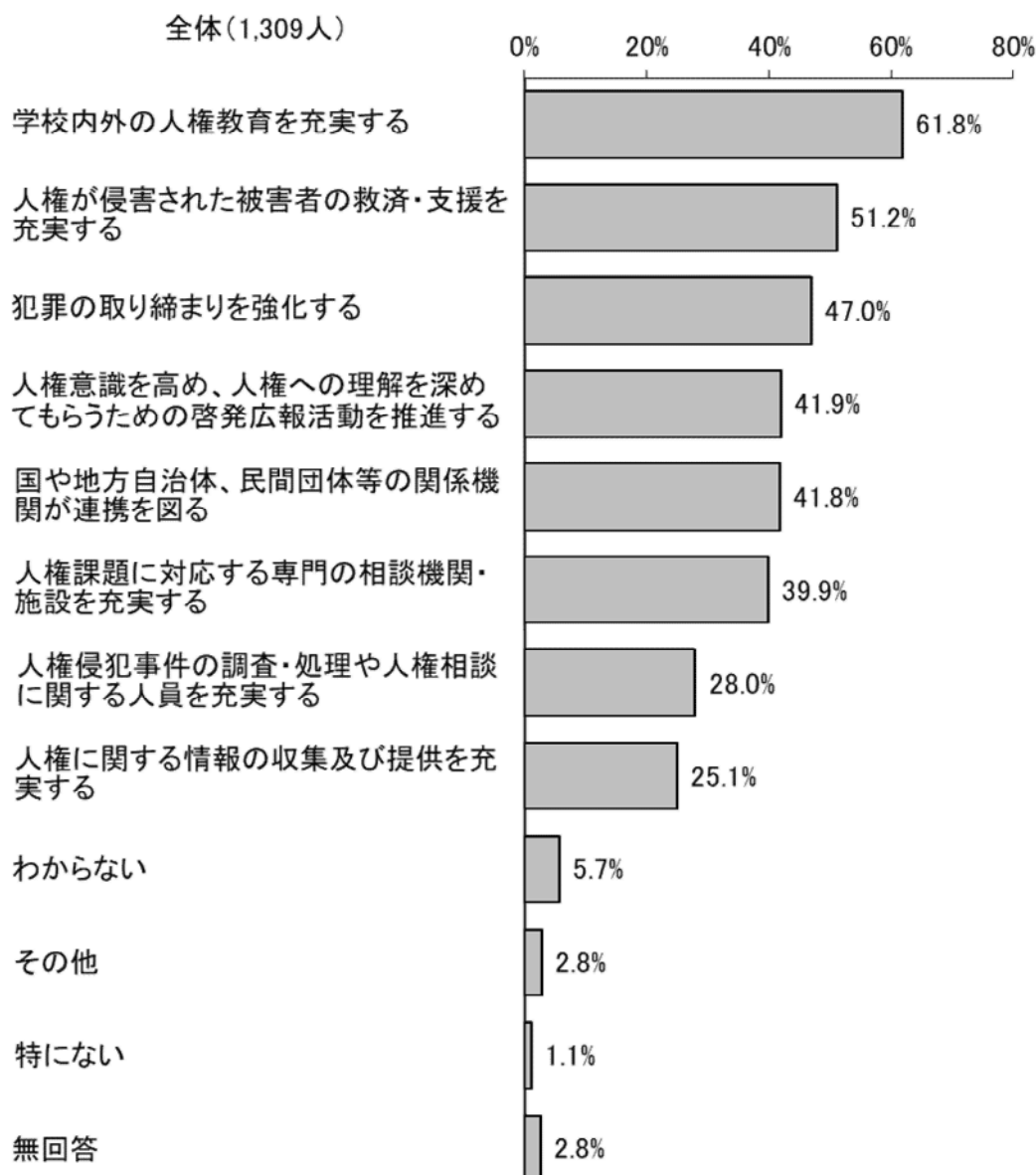
【問 33】 人権課題の解決のための方策

あらゆる人権課題の解決に向けて、あなたは、今後どのようなことに力を入れていけばよいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

「学校内外の人権教育を充実する」（61.8%）が最も高く、「人権が侵害された被害者の救済・支援を充実する」（51.2%）、「犯罪の取り締まりを強化する」（47.0%）が続きます。

「その他」としては、「海外での成功事例の導入」「人権問題に関心の少ない人にこそ、情報を届ける工夫」などの回答がありました。

人権課題の解決のための方策



人権課題の解決のための方策【属性別】

属性		回答内容	人権意識を高め、人権への理解を深めてもらうための啓発広報活動を推進する	学校内外の人権教育を充実する	人権課題に対応する専門の相談機関・施設を充実する	人権が侵害された被害者の救済・支援を充実する	犯罪の取り締まりを強化する	人権に関する情報の収集及び提供を充実する	人権侵害事件の調査・処理や人権相談に関する人員を充実する	国や地方自治体、民間団体等の関係機関が連携を図る	その他	特にない	わからない	無回答
性別	男性(589人)	44.1%	63.2%	39.9%	52.5%	48.6%	25.6%	30.9%	37.7%	2.4%	1.4%	4.2%	2.2%	
	女性(695人)	40.3%	61.2%	40.0%	50.6%	45.9%	24.7%	25.6%	44.9%	3.2%	1.0%	7.1%	2.3%	
	その他(4人)	75.0%	75.0%	75.0%	50.0%	75.0%	50.0%	50.0%	100.0%	25.0%	—	—	—	
	無回答(21人)	28.6%	42.9%	28.6%	33.3%	33.3%	14.3%	19.0%	42.9%	—	—	4.8%	33.3%	
年代別	29歳以下(127人)	25.2%	59.1%	37.8%	49.6%	52.0%	32.3%	31.5%	40.2%	3.1%	2.4%	8.7%	1.6%	
	30歳代(123人)	36.6%	70.7%	32.5%	47.2%	57.7%	27.6%	30.1%	42.3%	6.5%	0.8%	1.6%	0.8%	
	40歳代(217人)	38.7%	71.4%	32.7%	48.8%	55.8%	25.3%	27.2%	36.9%	2.3%	0.5%	6.0%	—	
	50歳代(213人)	39.4%	59.2%	39.4%	48.8%	46.5%	23.9%	27.2%	41.3%	2.8%	0.9%	8.0%	2.8%	
	60歳代(247人)	49.0%	61.1%	44.5%	53.8%	41.3%	20.2%	27.5%	43.7%	2.4%	2.0%	3.6%	1.2%	
	70歳以上(364人)	48.4%	56.3%	44.5%	54.7%	41.2%	25.8%	27.2%	44.2%	2.2%	0.8%	5.8%	5.2%	
	無回答(18人)	38.9%	55.6%	38.9%	38.9%	33.3%	16.7%	27.8%	38.9%	—	—	11.1%	27.8%	
職業別	会社員・公務員など(405人)	36.0%	66.9%	35.8%	47.9%	52.8%	22.7%	28.1%	36.0%	3.2%	1.0%	4.4%	0.7%	
	契約・派遣社員など(224人)	45.5%	60.7%	39.3%	49.6%	46.9%	20.5%	25.9%	39.3%	2.2%	2.2%	6.7%	1.3%	
	自営業等(78人)	33.3%	60.3%	39.7%	42.3%	44.9%	21.8%	17.9%	47.4%	1.3%	—	9.0%	2.6%	
	家事に従事(222人)	45.0%	61.7%	41.0%	55.9%	44.1%	29.7%	27.0%	46.4%	3.2%	1.4%	5.0%	3.2%	
	学生(42人)	40.5%	69.0%	40.5%	57.1%	52.4%	38.1%	45.2%	52.4%	7.1%	—	4.8%	—	
	その他の職業(23人)	56.5%	69.6%	43.5%	69.6%	52.2%	34.8%	52.2%	52.2%	—	—	4.3%	—	
	仕事はしていない(294人)	46.6%	54.4%	45.2%	55.1%	41.2%	27.2%	28.9%	44.6%	2.7%	1.0%	6.8%	5.1%	
	無回答(21人)	38.1%	61.9%	33.3%	28.6%	38.1%	14.3%	19.0%	38.1%	—	—	4.8%	28.6%	
問4「人権侵害を受けた経験」の回答内容別	ある(462人)	43.3%	67.7%	41.8%	54.8%	49.8%	28.4%	31.8%	45.7%	3.7%	1.3%	6.3%	1.9%	
	ない(801人)	41.6%	59.3%	39.5%	50.2%	46.1%	23.7%	26.3%	40.2%	2.4%	1.1%	5.5%	2.1%	
	無回答(46人)	34.8%	45.7%	28.3%	32.6%	34.8%	15.2%	17.4%	30.4%	2.2%	—	4.3%	21.7%	

性別

7つの回答内容で男性が女性を上回っています。

また、「国や地方自治体、民間団体等の関係機関が連携を図る」では女性（44.9%）が男性（37.7%）を7ポイント上回っています。

年代別

「人権に関する情報の収集及び提供を充実する」「人権侵犯事件の調査・処理や人権相談に関する人員を充実する」では29歳以下が、「人権が侵害された被害者の救済・支援を充実する」「国や地方自治体、民間団体等の関係機関が連携を図る」では70歳以上が他の年代に比べて最も高くなっています。

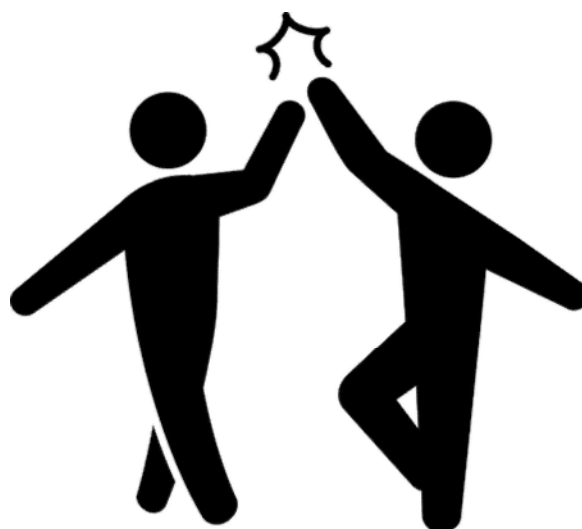
また、「人権意識を高め、人権への理解を深めてもらうための啓発広報活動を推進する」では年代が上がるとともに増加しており、60歳代（49.0%）が他の年代に比べて最も高くなっています。

職業別

6つの回答内容で《学生》が他の職業に比べて最も高くなっており、特に「人権侵犯事件の調査・処理や人権相談に関する人員を充実する」では他の職業に比べて16ポイント以上高くなっています。

問4「人権侵害を受けた経験」の回答内容別

「学校内外の人権教育を充実する」では人権侵害を受けた経験が《ある》（67.7%）が《ない》（59.3%）を8ポイント上回っています。

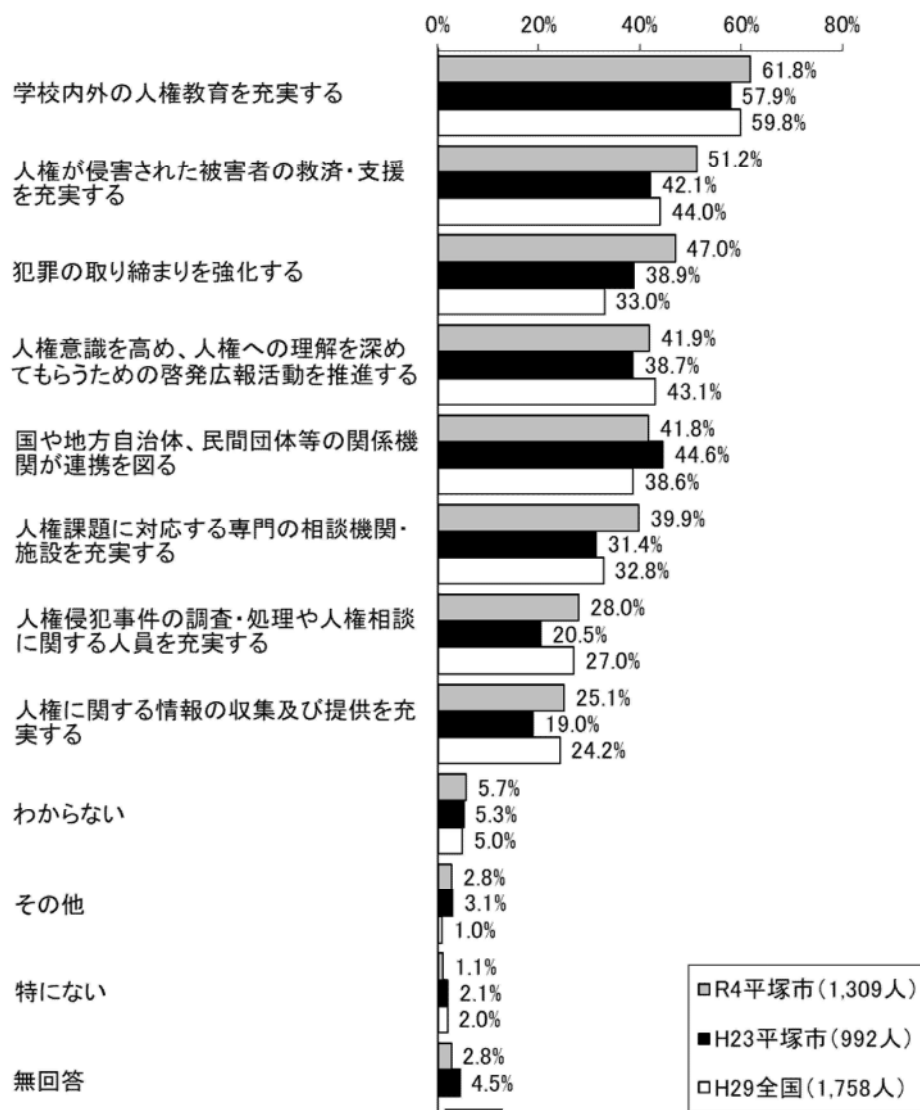


❖ 前回調査・全国調査との比較 ❖

人権課題の解決のための方策について、前回調査と比較すると、7つの回答内容で前回から上がっており、特に「人権が侵害された被害者の救済・支援を充実する」では前回から9ポイント上がっています。

全国調査と比較すると、「人権意識を高め、人権への理解を深めてもらうための啓発広報活動を推進する」「特にない」を除く全ての回答内容で平塚市が全国を上回っており、特に「犯罪の取り締まりを強化する」では平塚市が全国を14ポイント上回っています。

人権課題の解決のための方策【比較】

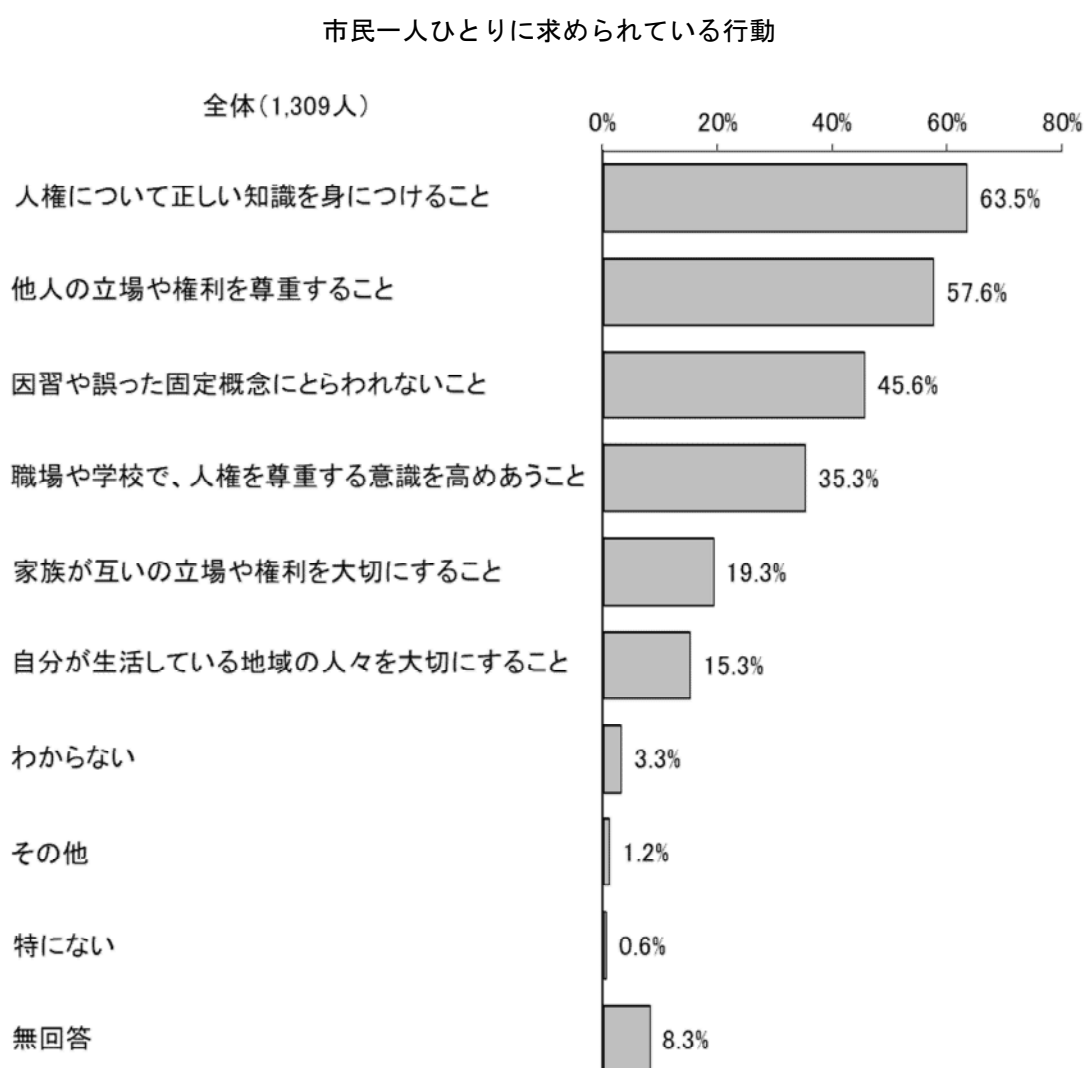


【問 34】 市民一人ひとりに求められている行動

市民一人ひとりが、人権を尊重しあうために、心がけて行動すべきこととして、あなたはどのようなことが求められると思いますか。(〇は3つまで)

「人権について正しい知識を身につけること」(63.5%)が最も高く、「他人の立場や権利を尊重すること」(57.6%)、「因習や誤った固定観念にとらわれないこと」(45.6%)が続きます。

「その他」としては、「時代に応じた多様化を理解すること」「お互いの得意分野、いい所を尊重できる環境づくり」などの回答がありました。



市民一人ひとりに求められている行動【属性別】

属性		回答内容									
		を人権につけて正しい知識	とらわれないこと	他人の立場や権利を尊重すること	自分が生活している地域の人々を大切にすること	家族が互いの立場や権利を大切にすること	職場や学校で、人権を尊重する意識を高めあうこと	その他	特にな	わからない	無回答
全体(1,309人)		63.5%	45.6%	57.6%	15.3%	19.3%	35.3%	1.2%	0.6%	3.3%	8.3%
性別	男性(589人)	67.6%	41.6%	62.1%	15.4%	17.7%	35.5%	1.0%	0.8%	2.9%	7.1%
	女性(695人)	60.9%	49.8%	54.5%	15.3%	21.0%	35.5%	1.4%	0.4%	3.6%	8.1%
	その他(4人)	75.0%	75.0%	75.0%	25.0%	—	50.0%	—	—	—	—
	無回答(21人)	33.3%	14.3%	28.6%	9.5%	9.5%	19.0%	—	—	4.8%	47.6%
年代別	29歳以下(127人)	53.5%	59.8%	62.2%	11.0%	18.1%	26.0%	1.6%	0.8%	7.1%	5.5%
	30歳代(123人)	63.4%	55.3%	49.6%	4.1%	22.8%	39.0%	4.9%	0.8%	0.8%	7.3%
	40歳代(217人)	67.3%	46.5%	59.4%	15.7%	27.2%	35.0%	0.5%	0.5%	2.8%	5.1%
	50歳代(213人)	62.4%	46.0%	49.3%	10.8%	18.8%	46.0%	1.4%	0.5%	4.2%	7.5%
	60歳代(247人)	68.0%	45.3%	61.9%	14.2%	14.6%	38.5%	0.4%	1.2%	3.2%	6.9%
	70歳以上(364人)	63.2%	38.5%	60.7%	23.9%	17.9%	29.7%	0.8%	0.3%	2.2%	11.3%
	無回答(18人)	44.4%	11.1%	33.3%	11.1%	5.6%	22.2%	—	—	11.1%	38.9%
職業別	会社員・公務員など(405人)	66.7%	47.7%	58.0%	11.4%	19.0%	41.2%	1.0%	0.5%	3.0%	5.7%
	契約・派遣社員など(224人)	62.5%	48.7%	56.3%	8.9%	21.9%	40.2%	1.8%	0.9%	4.9%	5.4%
	自営業等(78人)	57.7%	46.2%	59.0%	30.8%	21.8%	30.8%	2.6%	—	2.6%	5.1%
	家事に従事(222人)	64.4%	47.7%	59.0%	19.8%	22.1%	30.6%	0.5%	0.5%	1.4%	9.9%
	学生(42人)	59.5%	64.3%	66.7%	14.3%	14.3%	26.2%	—	—	2.4%	4.8%
	その他の職業(23人)	52.2%	52.2%	69.6%	17.4%	30.4%	34.8%	4.3%	—	—	8.7%
	仕事はしていない(294人)	62.9%	37.8%	56.1%	18.0%	15.3%	30.6%	1.4%	1.0%	4.4%	11.9%
	無回答(21人)	52.4%	14.3%	33.3%	14.3%	9.5%	19.0%	—	—	4.8%	38.1%
問4「人権侵害を受けた経験」の回答内容別	ある(462人)	60.0%	47.8%	53.0%	14.1%	21.0%	39.4%	1.9%	0.4%	3.2%	9.7%
	ない(801人)	66.7%	45.1%	61.4%	15.9%	18.2%	34.3%	0.7%	0.7%	3.2%	6.0%
	無回答(46人)	43.5%	32.6%	37.0%	17.4%	19.6%	10.9%	2.2%	—	4.3%	32.6%

性別

「因習や誤った固定観念にとらわれないこと」では、女性（49.8%）が男性（41.6%）を8ポイント上回っています。

年代別

「自分が生活している地域の人々を大切にすること」では70歳以上（23.9%）が他の年代に比べて8ポイント以上高くなっています。

職業別

「因習や誤った固定観念にとらわれないこと」では《学生》（64.3%）が他の職業に比べて15ポイント以上高くなっています。

問4「人権侵害を受けた経験」の回答内容別

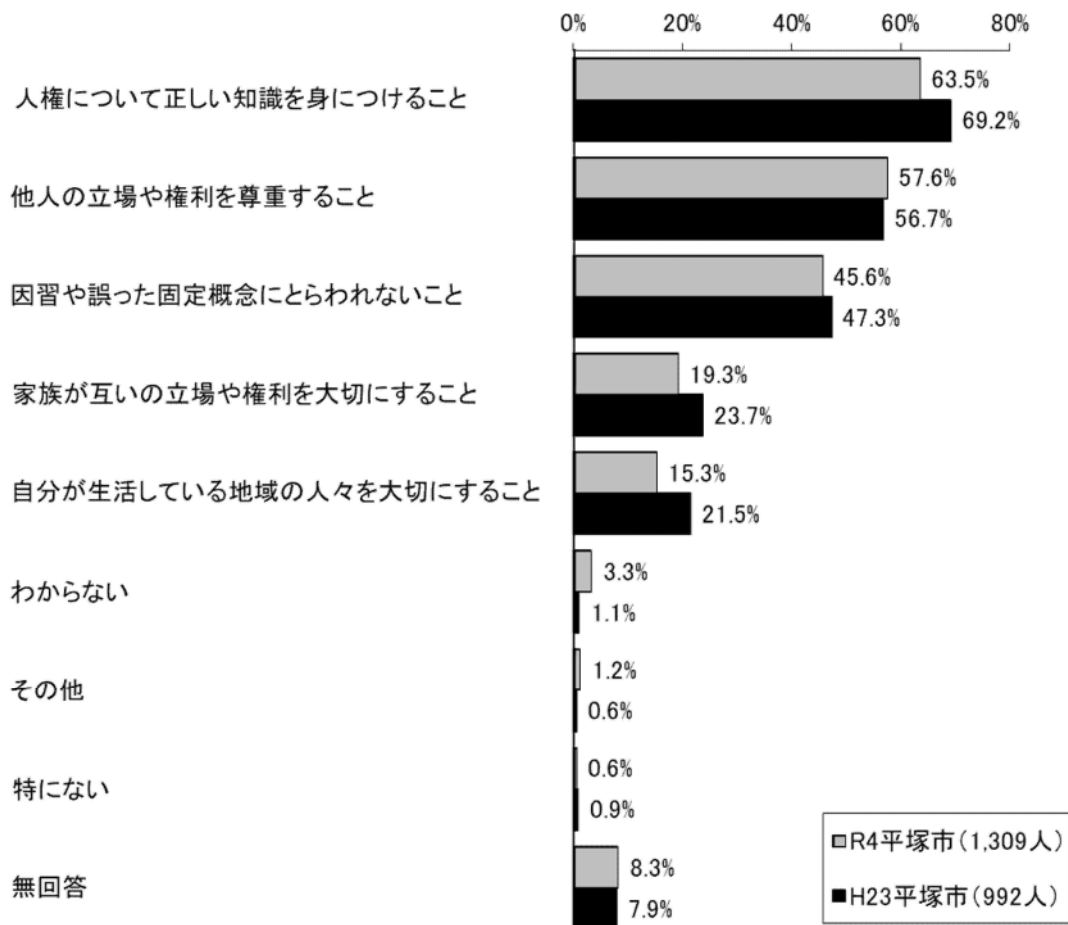
「他人の立場や権利を尊重すること」では人権侵害を受けた経験が《ない》（61.4%）が《ある》（53.0%）を8ポイント上回っています。



❖ 前回調査との比較 ❖

市民一人ひとりに求められている行動について、「他人の立場や権利を尊重すること」「その他」を除く全ての回答内容で前回から下がっており、特に「自分が生活している地域の人々を大切にすること」は前回から6ポイント下がっています。

市民一人ひとりに求められている行動【比較】



資料編

ひらつかしじんけん かん しみんいしきちょうさ 平塚市人権に関する市民意識調査

きょうりょく ねが ご協力のお願い

みなさま ひごろ しせい りかい きょうりょく れいちょう あ
皆様におかれましては、日頃から市政にご理解とご協力をいただき、お礼申し上げます。

ひらつかし すべ しみん じんけん そんちょう あ ころが かよう 明あか りしゃかい すす
平塚市では、全ての市民が人権を尊重し合い、心がかよう明るい社会づくりを進めています。

このたび、「平塚市人権施策推進指針」を改定するにあたり、「平塚市人権に関する市民意識調査」を実施することになりました。この調査票は、住民基本台帳から令和4年4月1日現在18歳以上の方を対象として3,000名を無作為抽出し、お送りしています。

かいとう ないよう どうけいてき しょり ほんちょうさちくできがい しよう かいとうしゅ
ご回答いただいた内容は統計的に処理し、本調査目的以外に使用いたしません。また、回答者個人が特定されたり、個々の回答内容が外部に知られたりすることも一切ございません。

いそが たいへんきょうしゅく ちょうさ しゅし りかい きょうりょく
お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

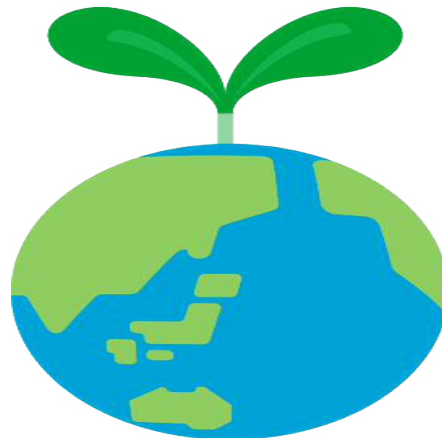
なお、調査票は外国籍の方にもお送りしているため、ルビ付きで作成しています。

れいわ ねん がつ
令和4年4月

ひらつかしちょう おちあい かつひろ
平塚市長 落合 克宏

かいとう ほうほう べっし さんしやう
ご回答の方法につきましては、別紙をご参照ください。

れいわ ねん がつ にち ど
令和4年4月30日（土）までに郵便ポストに投函又は電子申請システムでご回答をお願いいたします。



ちやうさ かん と あ さき
この調査に関するお問い合わせ先

ひらつかし しみんぶじんけん だんじよきやうどうきんかく か たんとう なかむら
平塚市市民部人権・男女共同参画課 担当：中村

〒254-8686 ひらつかしせんげんちやう ばんごう
平塚市浅間町9番1号 TEL. 0463-21-9861 FAX. 0463-21-9756

別紙（ご回答について）

- あてはまるものを選ぶ設問では、選択肢の番号に○をつけてください。なお、設問によって、ひとつだけ選ぶもの、あてはまるものすべてを選ぶものなどがありますのでご注意ください。
- 回答が「その他」にあてはまる場合には、その番号を○で囲み、（ ）内にその内容を記入してください。
- 調査票・返信用封筒・電子申請システムにお名前・ご住所を記入又は入力しないでください。
- 回答は郵送又は電子申請システムで受け付けています。

調査票（紙）でのご回答の場合

- ご記入は、黒の筆記用具（ボールペン・鉛筆など）でお願いします。
- ご記入が済みましたら、調査票のみ同封の返信用封筒（切手不要）に入れてポストに投函してください。

電子申請システムでのご回答の場合

※あなたのIDコードは **00000000** です。問1にご入力ください。

(1) 平塚市ホームページにアクセスしてください。

アドレスは <https://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/> です。

※下の二次元コードを読み取り、調査票の入力フォームに入ることもできます。



(2) 「オンラインで申請・届出できる手続」をクリックしてください。

(3) 「e-kanagawa^{でんししんせい}電子申請システム（申請方法が「電子申請」^{しんせいほうほう}の場合）」をクリックしてください。

(4) 検索キーワードで「平塚市人権に関する市民意識調査票」^{へんさく}を入力して検索いただくか、^{けんさく}手続き一覧から「平塚市人権に関する市民意識調査票」^{けんさく}の調査票入力フォームに入り、^{かいたう}回答してください。

(5) ご入力が済みましたら、^{かいたう}回答を送信してください。^{ちゆうさひよう}調査票はお手数ですが、^{てすう}破棄してください。^{へんしんぷよう}（返信不要です。）

～ ひらつかしじんけん かん しみんいしきちょうさ ちょうさひょう ～
 ～ 平塚市人権に関する市民意識調査 調査票 ～

1. 人権問題についておたずねします

問1. あなたは、基本的人権は侵すことのできない永久の権利として、憲法（第11条）で保障されていることを知っていますか。（○は1つ）

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

問2. あなたは、国民一人ひとりの人権意識は10年前に比べて高くなっていると思いますか。（○は1つ）

1. そう思う	2. いちがいには言えない	3. そう思わない
---------	---------------	-----------

問3. あなたは、現実の社会で、人権問題・差別による人権侵害が存在すると思いますか。

（ア）～（チ）の各項目についてお答えください。（それぞれあてはまるもの1つに○）

	多く存在する	ある程度存在する	存在しない
（ア）女性	1	2	3
（イ）子ども	1	2	3
（ウ）高齢者	1	2	3
（エ）障がいのある人	1	2	3
（オ）同和問題	1	2	3
（カ）アイヌの人々	1	2	3
（キ）外国人	1	2	3
（ク）疾病等※	1	2	3
（ケ）刑を終えて出所した人	1	2	3
（コ）犯罪被害者等	1	2	3
（サ）インターネットによる人権侵害	1	2	3
（シ）ホームレス	1	2	3
（ス）セクシュアルマイノリティ	1	2	3
（セ）北朝鮮当局によって拉致された被害者等	1	2	3
（ソ）人身取引	1	2	3
（タ）自殺・自死遺族	1	2	3
（チ）災害発生時における人権侵害	1	2	3

※疾病等：エイズ・HIV感染症、ハンセン病、新型コロナウイルス感染症の患者やその家族及び医療従事者等

問4. あなたは、今までにご自分の人権が侵害されたと思っただことがありますか。(〇は1つ)

1. ある → 問4-1へ

2. ない → 問5へ

問4-1. 問4で「1. ある」と回答した方のみにかがいます。それはどのような内容ですか。
(あてはまるものすべてに〇)

1. あらぬ噂、他人からの悪口、かけこ
2. 名誉・信用のき損、侮辱
3. 警察官等の公務員からの不当な取扱い
4. 暴力、強迫、強要(社会的地位、慣習、脅迫等により、本来義務のないことをやらされたり、権利の行使を妨害された)
5. 悪臭・騒音等の公害
6. 差別待遇(人種・信条・性別・社会的身分等により、就職や結婚等の社会生活の上で不平等又は不利益な取扱いをされた)
7. 地域社会での嫌がらせ
8. 学校でのいじめ
9. 職場での嫌がらせ
10. 使用者による時間外労働の強制等の不当な待遇
11. 社会福祉施設等での施設職員からの不当な取扱い
12. プライバシーの侵害
13. セクシュアル・ハラスメント(性的嫌がらせ)
14. ドメスティック・バイオレンス(配偶者やパートナーからの暴力)
15. 児童虐待
16. その他 ()
17. なんとなく
18. 答えたくない

問5. もし、あなたが差別をされたり人権を侵害されたりした場合、まずどのような対応をとりますか。(〇は1つ)

1. 黙って我慢する
2. 相手に抗議する
3. 身近な人に相談する
4. 弁護士に相談する
5. 市役所に相談する
6. 学校・職場に相談する
7. 町内会・自治会、民生委員等に相談する
8. 法務局又は人権擁護委員に相談する
9. 民間相談機関に相談する
10. 警察に相談する
11. その他 ()
12. わからない

問6. 「人権尊重が叫ばれる一方で、権利のみを主張して、他人の迷惑を考へない人が増えてきた」という意見について、あなたはどのように思いますか。(〇は1つ)

1. 非常にそう思う
2. かなりそう思う
3. あまりそうは思わない
4. 全くそうは思わない
5. わからない

2. 主な人権課題に関する意識についておたずねします

問7. 日本における人権課題について、あなたが関心があるものはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------|------------------------|
| 1. 女性 | 11. インターネットによる人権侵害 |
| 2. 子ども | 12. ホームレス |
| 3. 高齢者 | 13. セクシュアルマイノリティ |
| 4. 障がいのある人 | 14. 北朝鮮当局によって拉致された被害者等 |
| 5. 同和問題 | 15. 人身取引 |
| 6. アイヌの人々 | 16. 自殺・自死遺族 |
| 7. 外国人 | 17. 災害発生時における人権侵害 |
| 8. 疾病等 | 18. その他 () |
| 9. 刑を終えて出所した人 | 19. 特にない |
| 10. 犯罪被害者等 | |

女性の人権について

問8. 女性に関する事柄で、あなたが人権上問題があると思われるのはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---|
| 1. 男女の固定的な役割分担意識(「家事は女性」等)に基づく差別的取扱いを受けること |
| 2. 職場において差別待遇(女性が管理職になりにくい、マタニティ・ハラスメント等の妊娠、出産等を理由とする不利益取扱い等)を受けること |
| 3. セクシュアル・ハラスメント(性的嫌がらせ) |
| 4. ドメスティック・バイオレンス(配偶者やパートナーからの暴力) |
| 5. 売春・賞春 |
| 6. 「令夫人」、「婦人」、「未亡人」、「家内」のように女性だけに用いられる言葉が使われること |
| 7. アダルトビデオ等への出演強要 |
| 8. その他 () |
| 9. 特にない |
| 10. わからない |

問9. 女性の人権を守るために、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

1. 女性のための相談・支援体制を充実する
2. 男女ともに、働きながら、家事や育児・介護等を両立できる環境を整備する
3. さまざまな意思決定や方針決定の場への女性の参画を促進する
4. 女性の人権を守るための啓発広報活動等を進める
5. 男女平等や男女共同参画等に関する教育を充実する
6. マスコミ等が紙面、番組、広告等の内容に配慮する
7. 女性に対する犯罪の取り締まりを強化する
8. 女性に対する暴力の加害者への教育・相談体制を充実する
9. その他 ()
10. 特にな
11. わからない

子どもの人権について

問10. 子どもに関する事柄で、あなたが人権上問題があると思われるのはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに〇)

1. いじめを受けること
2. 体罰を受けること
3. 虐待を受けること
4. いじめ、体罰や虐待を見て見ぬふりをする
5. 学校や就職先の選択等の子どもの意見について、大人がその意見を無視すること
6. 児童買春・児童ポルノ等の対象となること
7. ヤングケアラー※とならざるを得ないこと
8. その他 ()
9. 特にな
10. わからない

※ヤングケアラー：本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話等を日常的に行っている子ども

問11. 子どもの人権を守るために、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

1. 子どものための相談・支援体制を充実する
2. 子どもの人権を守るための教育・啓発活動を推進する
3. 教師の資質や能力を高める
4. 親等への教育、相談・支援体制を充実する
5. 子どもに自分も人も大切であることを教える
6. 子どもの人格や考えを尊重する
7. 児童買春や児童ポルノ等の取り締まりを強化する
8. インターネット等の適正利用を促進する
9. その他 ()
10. 特にな
11. わからない

高齢者の人権について

問12. 高齢者に関する事柄で、あなたが人権上問題があると思われるのはどのようなことですか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 働ける能力を発揮する機会が少ないこと
2. 差別的な言動をされること
3. 悪徳商法・特殊詐欺の被害が多いこと
4. アパート等への入居を拒否されること
5. 家庭内での看護や介護において嫌がらせや虐待を受けること
6. 病院での看護や介護施設において劣悪な処遇や虐待を受けること
7. 高齢者が邪魔者扱いされ、つまはじきにされること
8. 高齢者の意見や行動が尊重されないこと
9. 経済的に自立が困難なこと
10. その他 ()
11. 特にない
12. わからない

問13. 高齢者の人権を守るために、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。(○は3つまで)

1. 高齢者が就労する場や能力を発揮できる機会を確保する
2. 高齢者のための相談・支援体制を充実する
3. 高齢者の人権を守るための教育・啓発活動を推進する
4. 地域の支援等により、高齢者の社会からの孤立を防ぎ、生活しやすい環境にする
5. 高齢者に対する犯罪の取り締まりを強化する
6. 高齢者和其他の世代との交流を促進する
7. 在宅サービスや福祉施設・病院を充実する
8. バリアフリーで暮らしやすいまちづくりを推進する
9. その他 ()
10. 特にない
11. わからない

障がいのある人の人権について

問14. 障がいのある人に関する事柄で、あなたが人権上問題があると思われるのはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること
2. 結婚問題で周囲の反対を受けること
3. 就職・職場で不利な扱いを受けること
4. 差別的な言動をされること
5. 悪徳商法の被害が多いこと
6. アパート等への入居を拒否されること
7. 家庭内での看護や介護において嫌がらせや虐待を受けること
8. 病院での看護や養護施設において劣悪な処遇や虐待を受けること
9. 宿泊施設や公共交通機関の利用、店舗等への入店を拒否されること
10. スポーツ・文化活動・地域活動に気軽に参加できないこと
11. じろじろ見られたり、避けられたりすること
12. その他 ()
13. 特にない
14. わからない

問15. 障がいのある人の人権を守るために、あなたはどのようなことが必要だと思えますか。(○は3つまで)

1. 障がいのある人のための相談・支援体制を充実する
2. 障がいのある人の人権を守るための教育・啓発活動を推進する
3. 在宅サービスや福祉施設・病院を充実する
4. 障がいのある人が自立して生活しやすい環境にする
5. 障がいに応じた教育を行う
6. 障がいのある人の雇用を確保する
7. 障がいのある人とない人の交流を促進する
8. 障がいのある人が審議会等へ参加し、意見を反映させる機会を増やす
9. 人権侵害があった場合に救済するための法整備を行う
10. バリアフリーで暮らしやすいまちづくりを推進する
11. その他 ()
12. 特にない
13. わからない

どうわもんだい
同和問題について

とい 問16. あなたは、同和問題を知っていますか。(○は1つ)

1. 知っている → 問16-1 へ 2. 知らない → 問17 へ

とい 問16-1. 問16で「1. 知っている」と回答した方のみにかがいます。同和問題に関する事柄
で、あなたが人権上問題があると思われるのはどのようなことですか。(あてはまるもの
すべてに○)

- | | |
|--------------------------|---------------------------------|
| 1. 結婚問題で周囲の反対を受けること | 6. インターネットを利用して差別的な |
| 2. 就職・職場で不利な扱いを受ける
こと | 情報に掲載されること |
| 3. 差別的な言動をされること | 7. その他 () |
| 4. 差別的な落書きをされること | 8. 特にない |
| 5. 身元調査をされること | 9. わからない |

がいこくじん じんけん
外国人の人権について

とい 問17. 外国人に関する事柄で、あなたが人権上問題があると思われるのはどのようなことですか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること
2. 結婚問題で周囲の反対を受けること
3. 就職・職場で不利な扱いを受けること
4. 差別的な言動をされること
5. アパート等への入居を拒否されること
6. 宿泊施設、店舗等への入店や施設利用を拒否されること
7. 風習や習慣等の違いが受け入れられないこと
8. じろじろ見られたり、避けられたりすること
9. その他 ()
10. 特にない
11. わからない

とい 問18. あなたは、ヘイトスピーチ*を知っていますか。(○は1つ)

1. 言葉も意味も知っていた
2. 言葉は知っていたが、意味は知らなかった
3. 知らなかった

*ヘイトスピーチ：特定の国の出身者であること又はその子孫であることのみを理由に、日本社会から
追い出そうとしたり危害を加えようとするなどの一方的な内容の言動

問19. 外国人の人権を守るために、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

1. 互いが、ともに暮らす市民であることの理解を深める啓発を推進する
2. 外国語による情報提供を充実させる
3. 外国語による相談の場を増やす
4. 外国人のための日本語教室を設ける
5. 外国人も、日本人と同等のサービス(医療、福祉、教育等)を受けられるようにする
6. 外国人と日本人の相互理解と交流を進める
7. いわゆるヘイトスピーチを含む、差別的言動への取り締まりを強化する
8. その他 ()
9. 特にない
10. わからない

疾病等にかかる人権侵害について

問20. エイズ患者やHIV(エイズウイルス)感染者、ハンセン病患者等に関する事柄で、あなたが人権上問題があると思われるのはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに〇)

- | | |
|--------------------------------|------------------------------|
| 1. 職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること | 8. アパート等への入居を拒否されること |
| 2. 結婚問題で周囲の反対を受けること | 9. 宿泊施設、店舗等への入店や施設利用を拒否されること |
| 3. 就職・職場で不利な扱いを受けること | 10. じろじろ見られたり、避けられたりすること |
| 4. 治療や入院を断られること | 11. その他 () |
| 5. 無断でエイズ検査等をされること | 12. 特にない |
| 6. 差別的な言動をされること | 13. わからない |
| 7. ハンセン病療養所の外で自立した生活を営むのが困難なこと | |

問21. 新型コロナウイルス感染症に関する事柄で、あなたが人権上問題があると思われるのはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに〇)

- | | |
|-----------------------------|--------------------------------------|
| 1. 職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること | 7. 患者やその家族等のための相談・支援体制が十分に整備されていないこと |
| 2. 就職・職場で不利な扱いを受けること | 8. マスメディア等で不確かな情報が拡散されること |
| 3. 治療や入院を断られること | 9. その他 () |
| 4. 無断で検査等をされること | 10. 特にない |
| 5. 患者やその家族等が差別的な言動をされること | 11. わからない |
| 6. 医療従事者やその家族等が差別的な言動をされること | |

問22. 疾病等にかかる人権侵害を防ぐために、あなたはどのようなことが必要だと思えますか。
(〇は3つまで)

1. プライバシーに配慮した医療体制や検査体制を充実する
2. 患者や感染者、その家族等への偏見や差別をなくすための啓発活動等を行う
3. 医療従事者やその家族等への偏見や差別をなくすための啓発活動等を行う
4. 疾病等に関する正しい知識についての教育を充実する
5. 患者や感染者、その家族等を支援するため、行政・医療機関・民間団体等の連携を推進する
6. 患者や感染者、その家族等の生活を支援する
7. 患者や感染者の医療費を援助する
8. その他 ()
9. 特にない
10. わからない

インターネットによる人権侵害について

問23. インターネットによる人権侵害に関する事柄で、あなたが人権上問題があると思われるのはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 他人を誹謗中傷する表現が掲載されること
2. 他人に差別をしようとする気持ちを起こさせたり、それを助長するような表現が掲載されること
3. SNS（ラインやツイッター等）による交流が犯罪を誘発する場となっていること
4. 捜査の対象となっている未成年者の実名や顔写真が掲載されること
5. ネットポルノが存在していること
6. プライバシーに関する情報が掲載されること
7. リベンジポルノ（元交際相手等の性的な画像等を、相手の同意を得ることなく、インターネットの掲示板等に公表する行為）が行われていること
8. その他 ()
9. 特にない
10. わからない

問24. インターネットによる人権侵害を防ぐために、あなたはどのようなことが必要だと思えますか。(〇は3つまで)

1. インターネット上で人権侵害を受けた人のための相談・支援体制を充実する
2. インターネットの利用者やプロバイダ等に対して、個人のプライバシーや名誉に関する正しい理解を深めるための教育・啓発活動を推進する
3. 情報の提供停止や削除等に関する法的規制を強化する
4. 違法な情報発信者に対する監視や取り締まりを強化する
5. その他 ()
6. 特にない
7. わからない

セクシュアルマイノリティの人権について

問25. セクシュアルマイノリティに関する事柄で、あなたが人権上問題があると思われるのはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること
2. 就職・職場で不利な扱いを受けること
3. 差別的な言動をされること
4. アウティング※をされること
5. アパート等への入居を拒否されること
6. 宿泊施設、店舗等への入店や施設利用を拒否されること
7. じろじろ見られたり、避けられたりすること
8. トイレや入浴施設等の設備への配慮が十分でないこと
9. その他 ()
10. 特にない
11. わからない

※アウティング：本人の了解を得ずに性的指向や性自認等を他者に暴露すること

問26. セクシュアルマイノリティの人権を守るために、あなたはどのようなことが必要だと思えますか。(○は3つまで)

1. セクシュアルマイノリティのための相談・支援体制を充実する
2. セクシュアルマイノリティへの偏見や差別をなくすための啓発活動等を行う
3. セクシュアルマイノリティに関する正しい知識についての教育を充実する
4. セクシュアルマイノリティが自分らしく生活しやすい環境にする
5. セクシュアルマイノリティを支援するため、行政や民間団体等の連携を推進する
6. セクシュアルマイノリティの人格や考えを尊重する
7. その他 ()
8. 特にない
9. わからない

刑を終えて出所した人の人権について

問27. 罪や非行を犯した後に、罪をつぐなって社会の一員として立ち直ろうとしている人に関する
事柄で、あなたが人権上問題があると思われるのはどのようなことですか。(あてはまるもの
のすべてに○)

1. 更生した人たちに対する誤った認識や偏見が存在していること
2. 結婚問題で周囲の反対を受けること
3. 就職・職場で不利な扱いを受けること
4. アパート等への入居を拒否されること
5. じろじろ見られたり、避けられたりすること
6. 悪質な書き込みや嫌がらせをされること
7. その他 ()
8. 特にない
9. わからない

犯罪被害者やその家族の人権について

問28. 犯罪被害者等に関する事柄で、あなたが人権上問題があると思われるのはどのようなこと
ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 犯罪行為によって精神的なショックを受けること
2. 犯罪行為によって経済的負担を受けること
3. 事件のことに関して、周囲に噂話をされること
4. 警察に相談しても期待どおりの対応が得られないこと
5. 捜査や刑事裁判において精神的負担を受けること
6. 刑事手続に必ずしも被害者の声が十分反映されるわけではないこと
7. 報道によってプライバシーに関することが公表されたり、取材によって私生活の平穏
が保てなくなること
8. その他 ()
9. 特にない
10. わからない

ホームレスの人権について

問29. ホームレスに関する事柄で、あなたが人権上問題があると思われるのはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 近隣住民や通行人等から嫌がらせを受けること
2. 近隣住民や通行人等から暴力をふるわれること
3. 就職・職場で不利な扱いを受けること
4. 差別的な言動をされること
5. アパート等への入居を拒否されること
6. 宿泊施設、店舗等への入店や施設利用を拒否されること
7. じろじろ見られたり、避けられたりすること
8. 経済的に自立が困難なこと
9. その他 ()
10. 特になし
11. わからない

自殺・自死遺族の人権について

問30. 自殺・自死遺族に関する事柄で、あなたが人権上問題があると思われるのはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自殺や自殺未遂をしたことに対して、周囲に噂話をされること
2. 自殺者や自殺未遂者、自死遺族等が差別的な言動をされること
3. 自殺の危険性を示すサインに気づき、適切な対応ができる体制が十分でないこと
4. 自殺未遂者や自死遺族等のための相談・支援体制が十分でないこと
5. 自殺・自死遺族に対する理解や認識が足りないこと
6. その他 ()
7. 特になし
8. わからない

災害発生時における人権侵害について

問31. 災害発生時における人権侵害に関する事柄で、あなたが人権上問題があると思われるのはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 避難生活において、プライバシーが守られないこと
2. デマや風評等による差別的な言動をされること
3. 配慮が必要な高齢者、障がいのある人、外国人等に対する配慮が十分でないこと
4. 避難所において、女性や妊産婦等に対する配慮が十分でないこと
5. 避難所において、ホームレス等の特定の人が拒否されること
6. 避難生活によるストレスに伴ういさかみや虐待が起こること
7. その他 ()
8. 特になし
9. わからない

3. 人権課題の解決のための方策についておたずねします

問32. 人権啓発を推進するためには、あなたはどのような啓発広報活動が効果的であると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------------------|---|
| 1. 講演会、シンポジウム、研修会等 | 10. ワークショップ(参加者による小人数の討論会や参加体験型の研修プログラム等) |
| 2. 展示会(資料、写真等) | 11. 高齢者・障がいのある人の疑似体験 |
| 3. 広報紙・パンフレット・ポスター | 12. 高齢者・障がいのある人等との交流会 |
| 4. テレビ・ラジオを利用した啓発広報 | 13. 自由な意見の交換ができる会合 |
| 5. 映画・ビデオを利用した啓発広報 | 14. その他() |
| 6. 新聞・雑誌を利用した啓発広報 | 15. 特にない |
| 7. インターネットを利用した啓発広報 | 16. わからない |
| 8. SNS(ラインやツイッター等)を利用した啓発広報 | |
| 9. 交通広告(電車やバス等の車内広告や車体広告、駅での広告等) | |

問33. あらゆる人権課題の解決に向けて、あなたは、今後どのようなことに力を入れていけばよいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--|
| 1. 人権意識を高め、人権への理解を深めてもらうための啓発広報活動を推進する |
| 2. 学校内外の人権教育を充実する |
| 3. 人権課題に対応する専門の相談機関・施設を充実する |
| 4. 人権が侵害された被害者の救済・支援を充実する |
| 5. 犯罪の取り締まりを強化する |
| 6. 人権に関する情報の収集及び提供を充実する |
| 7. 人権侵害事件の調査・処理や人権相談に関する人員を充実する |
| 8. 国や地方自治体、民間団体等の関係機関が連携を図る |
| 9. その他() |
| 10. 特にない |
| 11. わからない |

問34. 市民一人ひとりが、人権を尊重しあうために、心がけて行動すべきこととして、あなたはどのようなことが求められると思いますか。(○は3つまで)

- | |
|----------------------------|
| 1. 人権について正しい知識を身につけること |
| 2. 因習や誤った固定観念にとらわれないこと |
| 3. 他人の立場や権利を尊重すること |
| 4. 自分が生活している地域の人々を大切にする |
| 5. 家族が互いの立場や権利を大切にする |
| 6. 職場や学校で、人権を尊重する意識を高めあうこと |
| 7. その他() |
| 8. 特にない |
| 9. わからない |

4. あなた自身についておたずねします（令和4年4月1日現在）

F 1. あなたの性別を教えてください。（○は1つ）

- | | | |
|-------|-------|---------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他* |
|-------|-------|---------|

※性別の「3. その他」とは、セクシュアルマイノリティに配慮した選択肢です。戸籍上の区分とは別にご自身の主観によりご記入ください。

F 2. あなたの年齢を教えてください。（○は1つ）

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. 19歳以下 | 5. 50～59歳 |
| 2. 20～29歳 | 6. 60～69歳 |
| 3. 30～39歳 | 7. 70歳以上 |
| 4. 40～49歳 | |

F 3. あなたの職業を教えてください。（○は1つ）

- | | |
|----------------------|--------------|
| 1. 会社員・公務員・団体職員 | 5. 学生 |
| 2. 契約・派遣社員・パート・アルバイト | 6. その他の職業（ ） |
| 3. 自営業・個人事業主 | 7. 仕事はしていない |
| 4. 家事に従事 | |

.....以上で質問は終わりです。ご協力ありがとうございました。.....

ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れて、

令和4年4月30日（土）までに郵便ポストに投函してください。

なお、切手は不要です。

※この調査票・返信用封筒にはお名前、ご住所を記入しないでください。

平塚市人権に関する市民意識調査報告書

令和4年7月

平塚市市民部人権・男女共同参画課

平塚市浅間町9番1号

TEL : 0463-21-9861 FAX : 0463-21-9756